令和８年（２０２６年）度
伊 丹 市 民 意 識 調 査
報　　告　　書

令和８年１１月

伊　丹　市

まえがき

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

伊丹市では、市民の皆様の声をこれからのまちづくりや市政運営に生かすため、「伊丹市民意識調査」を実施いたしました。

今回の調査では、「住みやすさ」や「定住志向」、「これからの市の取組」などについて、１８歳以上の市民約３，０００人の皆様にお伺いしました。また、「これからの子どもたちを支える教育について」など、市の取組に関するご意見もお聞きしました。

ご多用のところ、調査にご協力いただきました皆様に、心よりお礼申し上げます。お寄せいただいた貴重なご意見は、今後のまちづくりや市政運営に生かしてまいります。

令和８年（２０２６年）１１月

伊丹市総合政策部政策室

目　次

Ⅰ　調査の概要 1
　1　調査の目的 1
　2　調査対象 1
　3　調査期間 1
　4　調査方法 1
　5　配布・回収状況 1
　6　調査結果の表示方法 1
Ⅱ　調査回答者の属性 2
Ⅲ　単純集計結果 7
　1　住みやすさ・定住志向について 7
　2　これからの市の取組について 9
　3　これからの子どもたちを支える教育について 11
　4　交通規範意識と自転車レーンについて 13
　5　施設の利用状況などについて 15
　6　その他、みどり・自然や防災などについて 19
Ⅳ　調査結果 21
　1　住みやすさ・定住志向について 21
　2　これからの市の取組について 32
　3　これからの子どもたちを支える教育について 56
　4　交通規範意識と自転車レーンについて 60
　5　施設の利用状況などについて 67
　6　その他、みどり・自然や防災などについて 75
　7　自由記述について 81
資料編 83
　調査票 83

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

市民のみなさまの暮らしに対するご意見を幅広くお伺いし、今後のまちづくりや行政運営の参考にさせていただくことを目的として、調査を実施しました。

2　調査対象

伊丹市内在住の満１８歳以上の市民を対象に
住民基本台帳から小学校区ごとに偏りがないよう無作為抽出

3　調査期間

令和８年７月８日（水）～令和８年７月２４日（金）

4　調査方法

郵送による配布・回収（礼状兼督促状を１回送付）
パソコン・スマートフォン等によりＷＥＢで回答（調査票にＷＥＢ回答フォーム記載）

5　配布・回収状況

配布数	到達標本数※	回収数（回収率）
3,150件	3,141件	1,684件（53.6%）

※到達標本数とは、配布数から転居先不明等により市に返却された９件を除いた数。

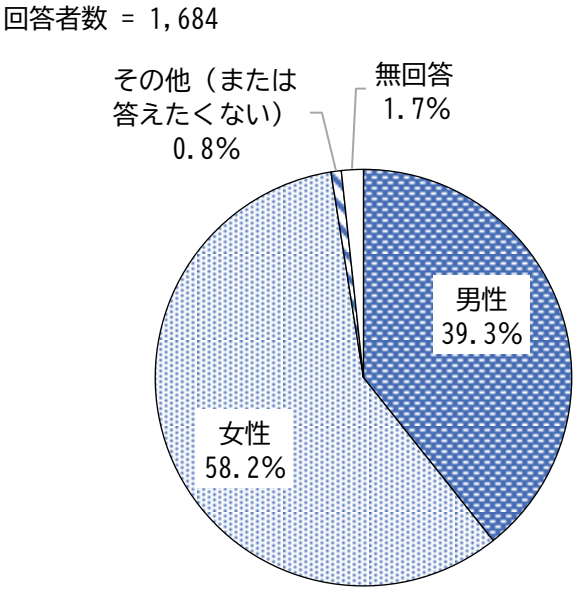
6　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答者数の合計と単純集計（全体）の有効回答者数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・記述意見につきましては、多くの声をいただきました。本報告書には主なご意見を抜粋して掲載しています。掲載していないご意見も含め、皆様からいただいた声を、今後の市政運営やまちづくりの参考とさせていただきます。

Ⅱ　調査回答者の属性

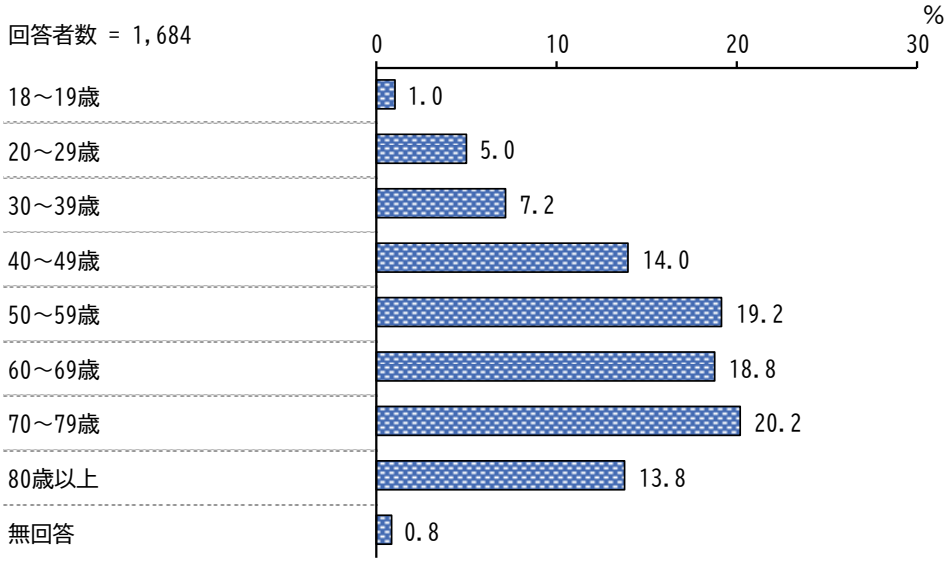
問１　あなたの性別をお知らせください。（○は１つ）

「男性」の割合が 39.3%、「女性」の割合が 58.2%となっています。



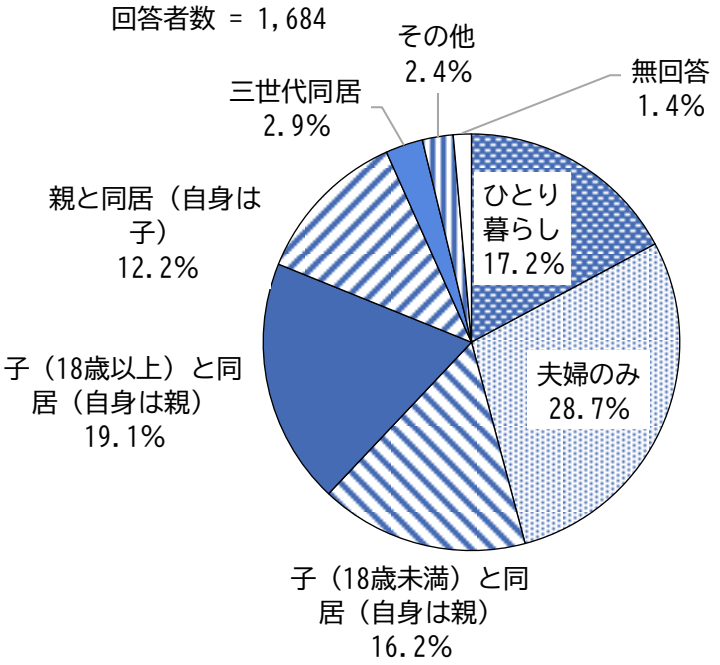
問２　あなたの年齢をお知らせください。（○は１つ）

「70～79 歳」の割合が 20.2%と最も高く、次いで「50～59 歳」の割合が 19.2%、「60～69 歳」の割合が 18.8%となっています。



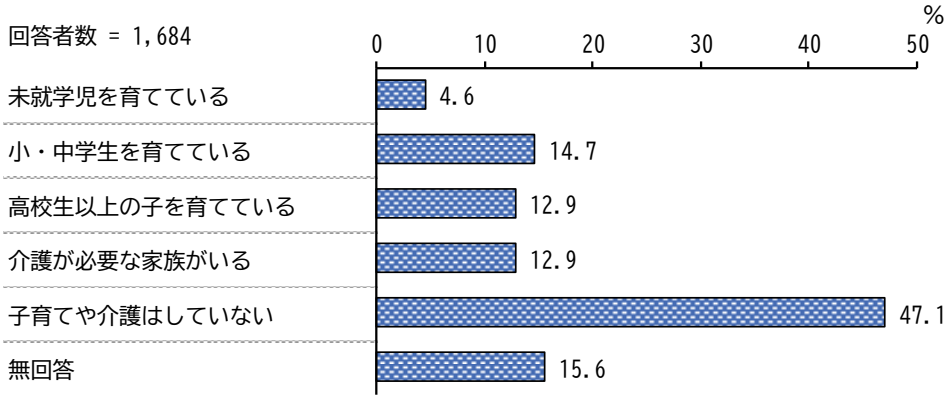
問 27　あなたの世帯構成をお知らせください。（○は１つ）

「夫婦のみ」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「子（18 歳以上）と同居（自身は親）」の割合が 19.1%、「ひとり暮らし」の割合が 17.2%となっています。



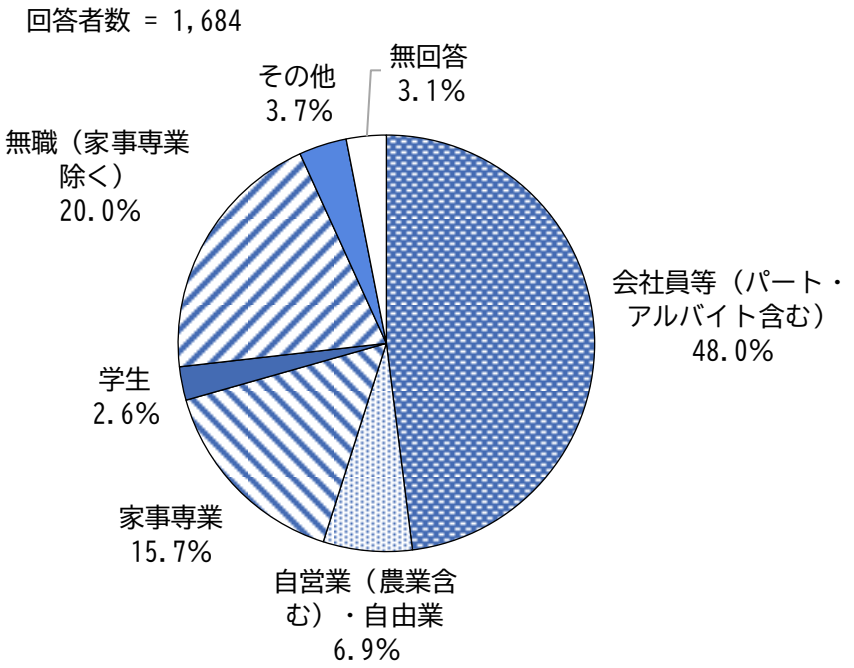
問 28　あなたのご家庭の状況についておたずねします。（○はいくつでも）

「子育てや介護はしていない」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「小・中学生を育てている」の割合が 14.7%、「高校生以上の子を育てている」、「介護が必要な家族がいる」の割合が 12.9%となっています。



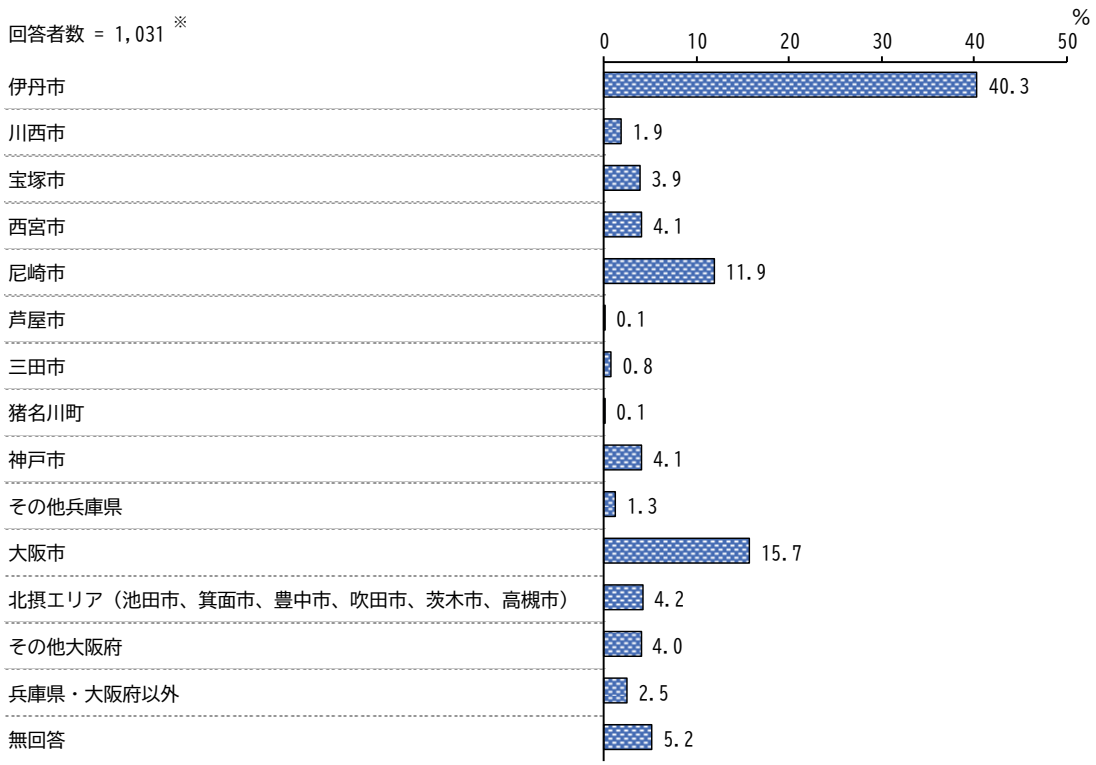
問 29　あなたの職業をお知らせください。（○は１つ）

「会社員等（パート・アルバイト含む）」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「無職（家事専業除く）」の割合が 20.0%、「家事専業」の割合が 15.7%となっています。



問 30　あなたの通学・通勤先を教えてください。（○は１つ）

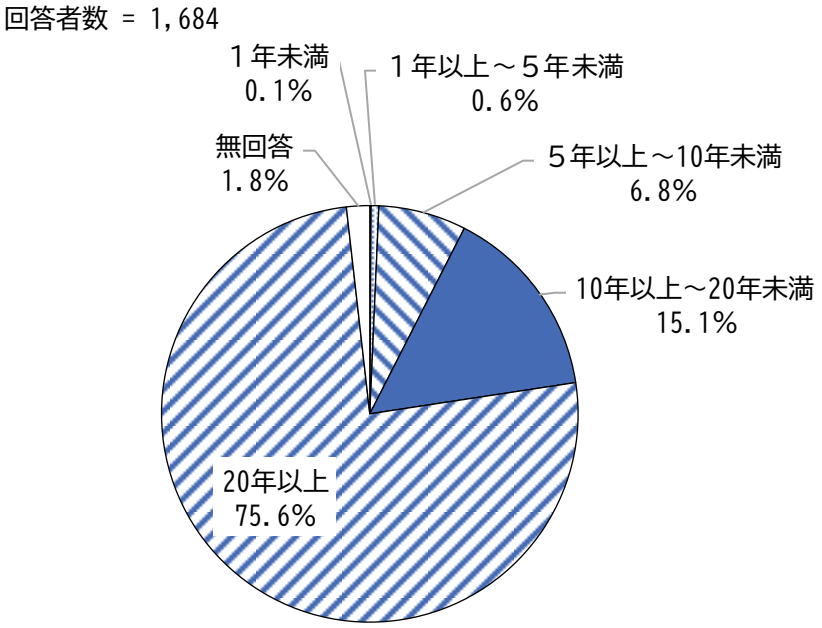
「伊丹市」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「大阪市」の割合が 15.7%、「尼崎市」の割合が 11.9%となっています。



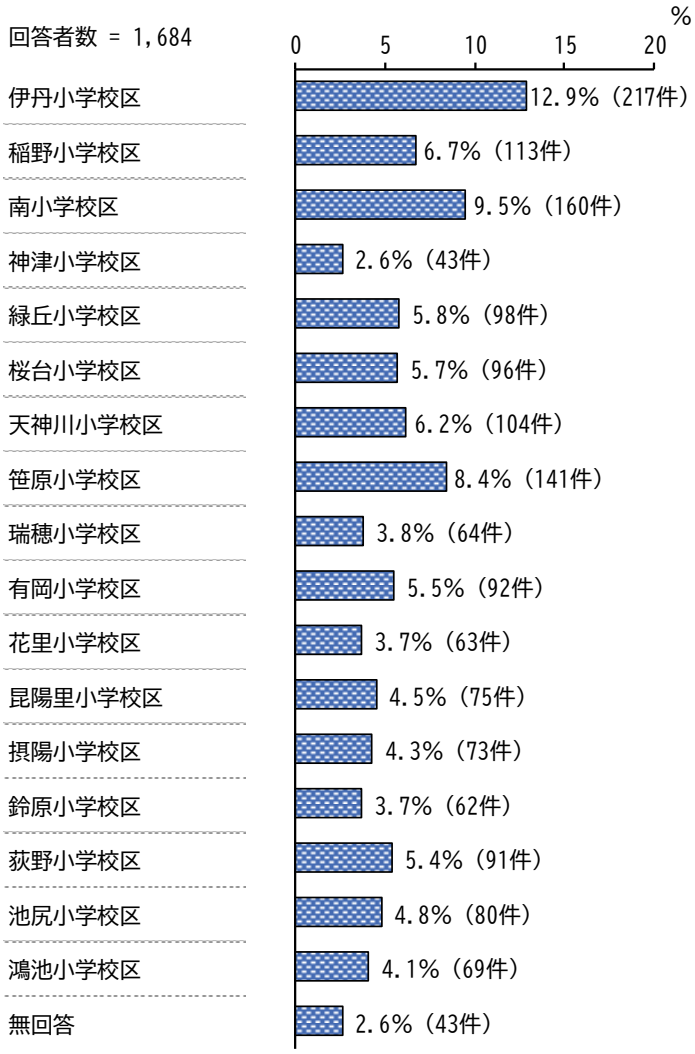
※回答者数 1,031 人は、問 29 で「家事専業」「無職（家事専業除く）」「無回答」を選択した人を除いた人数

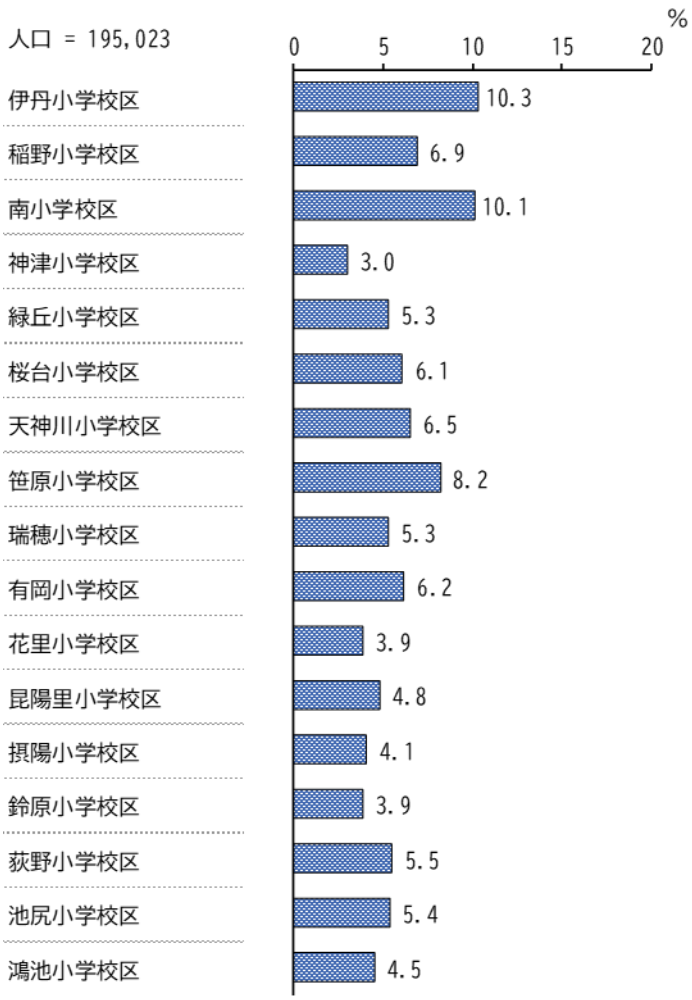
問 31　あなたは、伊丹市に通算して何年間住んでいますか。（○は１つ）

「20 年以上」の割合が 75.6%と最も高く、次いで「10 年以上～20 年未満」の割合が 15.1%となっています。



問 32　あなたは、どの小学校区にお住まいですか。なお、お住まいの小学校区がわからない場合は、下の欄に町丁名をご記入ください。（○は１つ）





〔参考：伊丹市小学校区別総人口（令和８年(2026 年)７月１日)〕

Ⅲ　単純集計結果

1　住みやすさ・定住志向について

問3　あなたは伊丹市が住みやすいまちだと思いますか。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
非常に住みやすい	466	27.7
住みやすい	1,038	61.6
どちらともいえない	147	8.7
住みにくい	12	0.7
非常に住みにくい	2	0.1
無回答	19	1.1

問4　あなたは今後も伊丹市に住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
伊丹市内に住み続けたい	1,401	83.2
市外へ移りたい	57	3.4
どちらでもない	214	12.7
無回答	12	0.7

問4－1　「住み続けたい」理由について、次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,401※	—
安全・安心なまちである	882	63.0
子育てしやすい環境がある	242	17.3
教育環境が充実している	132	9.4
保健・医療サービスが充実している	364	26.0
高齢者向けサービスが充実している	277	19.8
地域のつながりがある	261	18.6
日常の買い物が便利である	1,047	74.7
歴史・文化を感じるまちなみがある	336	24.0
自然環境が豊かである	350	25.0
通勤・通学などの交通の便が良い	583	41.6
多様な生き方・価値観が尊重される	48	3.4
その他	71	5.1
無回答	12	0.9

※回答者数 1,401 人は、問 4 で「伊丹市内に住み続けたい」と選択した人数

問４－２　「市外へ移りたい」理由について、次の中からあてはまるものを選んでください。
（〇はいくつでも）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	57※	—
安全・安心なまちだと感じない	9	15.8
子育てしやすい環境がない	5	8.8
教育環境が充実していない	3	5.3
保健・医療サービスが充実していない	8	14.0
高齢者向けサービスが充実していない	4	7.0
地域のつながりがない	9	15.8
日常の買い物が不便である	9	15.8
歴史・文化を感じるまちなみがない	2	3.5
自然環境が豊かでない	9	15.8
通勤・通学などの交通の便が悪い	26	45.6
多様な生き方・価値観が尊重されない	3	5.3
その他	15	26.3
無回答	－	－

※回答者数 57 人は、問 4 で「市外へ移りたい」と選択した人数

２　これからの市の取組について

問５　伊丹市では、６つの大綱を軸に様々な施策にチャレンジしています。各分野において、優先的に取り組んで欲しいと思う取り組み（番号）を１つご記入ください。

大綱１　安全・安心

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
災害対策	575	34.1
消防・救急	393	23.3
交通安全・地域防犯	600	35.6
無回答	116	6.9

大綱２　育ち・学び・共生社会

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
子育て・子育ち	348	20.7
青少年の健全育成	185	11.0
幼児教育・保育	56	3.3
学校教育	179	10.6
教育環境	108	6.4
生涯学習・スポーツ	243	14.4
人権	187	11.1
男女共同参画	107	6.4
多文化共生・平和	111	6.6
無回答	160	9.5

大綱３　健康・医療・福祉

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
健康づくり	242	14.4
地域医療	539	32.0
地域福祉	104	6.2
高齢者福祉	595	35.3
障がい者福祉	93	5.5
無回答	111	6.6

大綱４　市民力・にぎわい・活力

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
市民力・地域力	300	17.8
都市ブランド	227	13.5
歴史・文化	144	8.6
商工業	214	12.7
都市農業	115	6.8
雇用と労働	432	25.7
空港との共生	117	6.9
無回答	135	8.0

大綱５　環境・都市基盤

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
環境保全	181	10.7
循環型社会の形成	126	7.5
公園・緑地・生物多様性	257	15.3
都市計画・住環境	221	13.1
交通	330	19.6
道路	218	12.9
水道・下水道	240	14.3
無回答	111	6.6

大綱６　参画と協働・行政経営

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
参画と協働	258	15.3
広報・広聴	548	32.5
ICT の活用	287	17.0
行財政運営	436	25.9
無回答	155	9.2

3　これからの子どもたちを支える教育について

問6　社会が大きく変化する中、子どもたちが将来にわたって学び続けていくために、特に重要だと思う力は何ですか。（あてはまるもの３つまで〇）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
基礎的な学力	675	40.1
自分で考え、挑戦しようとする力	807	47.9
人と協力し、多様な人を尊重する力	739	43.9
自分の思いや考えを伝える力	475	28.2
社会性や基本的な生活習慣	588	34.9
情報を正しく理解し、活用する力	645	38.3
体力や健康	446	26.5
その他	16	1.0
無回答	51	3.0

問7　子どもたちの状況や価値観が多様化する中、一人ひとりの子どもを支える教育として、特に重要だと思うことは何ですか。（あてはまるもの３つまで〇）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
一人ひとりに応じた学びや支援	700	41.6
安心して過ごせる居場所づくり	1,056	62.7
不登校の子どもへの支援	312	18.5
特別な支援を必要とする子どもへの対応	415	24.6
ICT を活用した学び	300	17.8
地域と連携した学習や体験活動	564	33.5
子ども同士が学び合える環境づくり	648	38.5
その他	40	2.4
無回答	53	3.1

問８　学校と地域との関わりについて重要だと思うことは何ですか。
（あてはまるもの３つまで○）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	―
地域全体で子どもの成長を支えること	960	57.0
学校と地域行事との連携が促進されること	551	32.7
地域の人が学習や体験活動を支えること	394	23.4
学校施設を地域で活用すること	464	27.6
多世代が交流できる場になること	586	34.8
災害時などに地域の拠点となること	811	48.2
その他	24	1.4
無回答	58	3.4

問９　少子化や社会環境の変化が進む中、これからの子どもたち一人ひとりの育ちや学びを支えるため、教育に必要だと思う取組は何ですか。（あてはまるもの３つまで○）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	―
小中一貫による９年間のつながりのある学びを進めること	341	20.2
子ども一人ひとりに応じた多様な学びや支援を充実すること	676	40.1
放課後などに安心して過ごし学べる居場所を充実すること	880	52.3
多様な学び方に対応できる学習環境を充実させること	639	37.9
学校以外でも学びや体験ができる機会の充実の支援をすること	635	37.7
学校において民間企業や NPO 等と連携した学びや体験の場を充実させること	358	21.3
学校施設を拠点とした地域活動を支援すること	309	18.3
その他	25	1.5
無回答	62	3.7

4　交通規範意識と自転車レーンについて

問 10　普段どのくらい自転車を利用しますか。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
ほぼ毎日	551	32.7
週に数日	381	22.6
ほとんど利用しない	283	16.8
まったく利用しない	227	13.5
自転車を持っていない	205	12.2
無回答	37	2.2

問 11　主に、どのようなときに自転車を利用しますか。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,215※	100.0
買い物・飲食	592	48.7
通勤・通学	354	29.1
業務・仕事	42	3.5
子どもの送迎	24	2.0
余暇	97	8.0
その他	52	4.3
無回答	54	4.4

※回答者数 1,215 人は、問 10 で「まったく利用しない」「自転車を持っていない」「無回答」と選択した人を除いた人数

問 12　本市の自転車利用者のマナーについて伺います。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
大変良い	15	0.9
良い	136	8.1
普通	926	55.0
悪い	451	26.8
非常に悪い	113	6.7
無回答	43	2.6

問 13　令和８年４月１日より開始された自転車に対する交通反則通告制度（いわゆる「青切符」）では、113 種類の違反行為が対象となりましたが、どの程度知っていますか。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
すべて知っている	98	5.8
およそ半分知っている	555	33.0
数件くらいなら知っている	878	52.1
まったくわからない	79	4.7
青切符制度がわからない	37	2.2
無回答	37	2.2

問 14　交通反則通告制度をはじめ自転車を取り巻く環境やルールが変化していく中、「交通安全」についてどのような手段で周知・啓発することが有効だと考えますか。（○は３つまで）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	―
VR 機器等による仮想体験	308	18.3
街頭での啓発活動	728	43.2
教室等の座学	627	37.2
チラシ配布	692	41.1
SNS などでの情報発信	678	40.3
市 HP への掲載	441	26.2
無回答	58	3.4

問 15　本市では自転車専用通行帯（自転車レーン等）の整備（歩行者と分離）を進めており、安全性について教えてください。

①自転車利用者の立場でお答えください。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
安全になった	148	8.8
どちらかというと安全になった	538	31.9
どちらともいえない	646	38.4
どちらかというと危険になった	144	8.6
危険になった	59	3.5
その他	55	3.3
無回答	94	5.6

②歩行者の立場でお答えください。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
安全になった	172	10.2
どちらかというと安全になった	588	34.9
どちらともいえない	764	45.4
どちらかというと危険になった	63	3.7
危険になった	32	1.9
その他	28	1.7
無回答	37	2.2

５　施設の利用状況などについて

問 16　各施設を知っていますか、また利用頻度について教えてください。
（施設ごとに○は１つ）

こども文化科学館

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
よく利用する	30	1.8
利用したことがある	746	44.3
名前も場所も知っているが利用したことはない	447	26.5
名前は知っているが場所は知らない	213	12.6
名前も場所も知らない	187	11.1
無回答	61	3.6

昆虫館

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
よく利用する	63	3.7
利用したことがある	1,083	64.3
名前も場所も知っているが利用したことはない	403	23.9
名前は知っているが場所は知らない	67	4.0
名前も場所も知らない	31	1.8
無回答	37	2.2

みどりのプラザ

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
よく利用する	24	1.4
利用したことがある	342	20.3
名前も場所も知っているが利用したことはない	265	15.7
名前は知っているが場所は知らない	258	15.3
名前も場所も知らない	737	43.8
無回答	58	3.4

問 17　施設を利用した目的はなんですか。（施設ごとに○はいくつでも）

こども文化科学館

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
展示	264	15.7
講座・イベント	134	8.0
プラネタリウム	720	42.8
天体観察会	95	5.6
利用したことがない	732	43.5
無回答	135	8.0

昆虫館

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
展示	866	51.4
講座・イベント	189	11.2
昆虫に関する相談	91	5.4
チョウ温室	670	39.8
利用したことがない	437	26.0
無回答	93	5.5

みどりのプラザ

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
展示	170	10.1
講座・イベント	71	4.2
みどりに関する相談	26	1.5
荒牧バラ公園散策時の休憩	321	19.1
利用したことがない	1,136	67.5
無回答	127	7.5

問 18　施設に期待することはなんですか。（施設ごとに○はいくつでも）

こども文化科学館

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
学びや教養を高める	860	51.1
レジャーや娯楽	489	29.0
交流の場	151	9.0
特にない	207	12.3
わからない	288	17.1
無回答	113	6.7

昆虫館

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
学びや教養を高める	880	52.3
レジャーや娯楽	585	34.7
交流の場	192	11.4
特にない	222	13.2
わからない	195	11.6
無回答	84	5.0

みどりのプラザ

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
学びや教養を高める	248	14.7
レジャーや娯楽	284	16.9
交流の場	317	18.8
特にない	267	15.9
わからない	685	40.7
無回答	112	6.7

問 19　充実した方が良いと感じる機能（サービス）はなんですか。
（施設ごとに○はいくつでも）

こども文化科学館

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
施設での展示や講座・イベントなど	532	31.6
学校や商業施設等での展示や講座・イベントなど	362	21.5
オンラインによる展示や講座・イベントなど	149	8.8
現状のままで良い	232	13.8
わからない	556	33.0
無回答	113	6.7

昆虫館

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
施設での展示や講座・イベントなど	557	33.1
学校や商業施設等での展示や講座・イベントなど	379	22.5
オンラインによる展示や講座・イベントなど	164	9.7
現状のままで良い	344	20.4
わからない	430	25.5
無回答	93	5.5

みどりのプラザ

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
施設での展示や講座・イベントなど	289	17.2
学校や商業施設等での展示や講座・イベントなど	180	10.7
オンラインによる展示や講座・イベントなど	96	5.7
現状のままで良い	177	10.5
わからない	946	56.2
無回答	123	7.3

6　その他、みどり・自然や防災などについて

問 21　伊丹市の「みどり・自然」には満足していますか。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
満足	347	20.6
やや満足	389	23.1
普通	795	47.2
やや不満	83	4.9
不満	38	2.3
無回答	32	1.9

問 22　生物多様性という言葉の意味についてご存じですか。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
知っている	507	30.1
意味は知らないが、聞いたことがある	623	37.0
知らない	496	29.5
無回答	58	3.4

問 23　緑化活動や自然の保護活動に参加したことはありますか。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
よく参加している（月数回程度）	13	0.8
参加している（年数回程度）	28	1.7
参加したことがある	241	14.3
参加したことはないが、機会があれば参加したいと思う	752	44.7
参加しようとは思わない	553	32.8
無回答	97	5.8

問 24　あなたは、災害に備えてどのような取組をしていますか。（○はいくつでも）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
水・食料等を備蓄している	1,009	59.9
非常持出品を準備している	602	35.7
家具の固定などをしている	540	32.1
避難場所を確認している	749	44.5
家族で連絡方法を決めている	440	26.1
特に何もしていない	260	15.4
その他	20	1.2
無回答	28	1.7

問 25　あなたは、災害時どの手段で情報を入手するか教えてください。（○はいくつでも）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	—
市ホームページ	480	28.5
屋外拡声器	321	19.1
地上波テレビ	949	56.4
ケーブルテレビ	160	9.5
いたみ防災 LINE	370	22.0
緊急速報メール	925	54.9
FM いたみ	92	5.5
ひょうご防災ネット	200	11.9
いたみ公式X	56	3.3
考えていない	95	5.6
その他	67	4.0
無回答	36	2.1

問 26　あなたは、何か困ったことが起きた際、実際に助けを求めたり、相談したりできる人が身近にいますか。（○は１つ）

カテゴリ	回答者数	割合
全　体	1,684	100.0
十分いる	308	18.3
ある程度いるので、いまは困っていない	943	56.0
あまりいないので、たまに困ることがある	259	15.4
まったくいないので、よく困っている	54	3.2
わからない／答えたくない	89	5.3
無回答	31	1.8

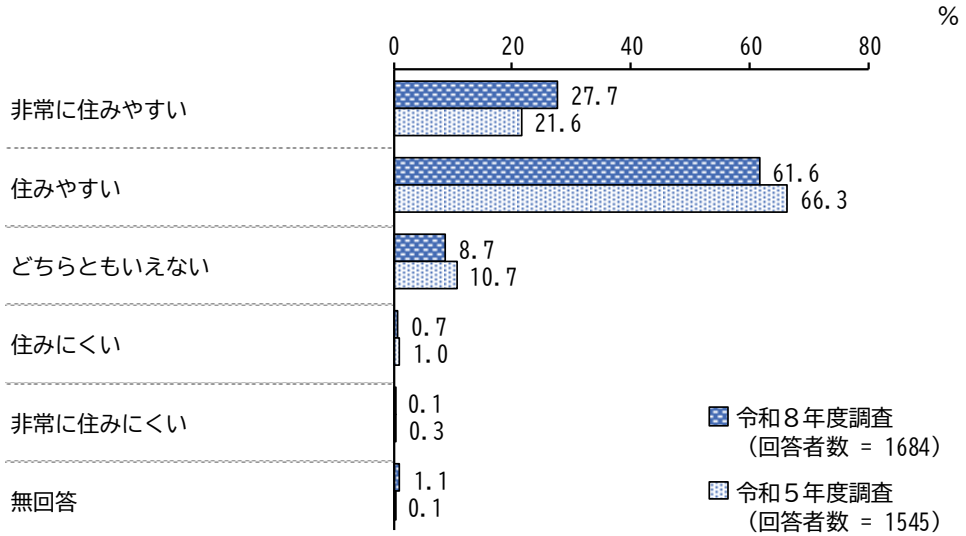
Ⅳ　調査結果

１　住みやすさ・定住志向について

問３　あなたは伊丹市が住みやすいまちだと思いますか。（○は１つ）

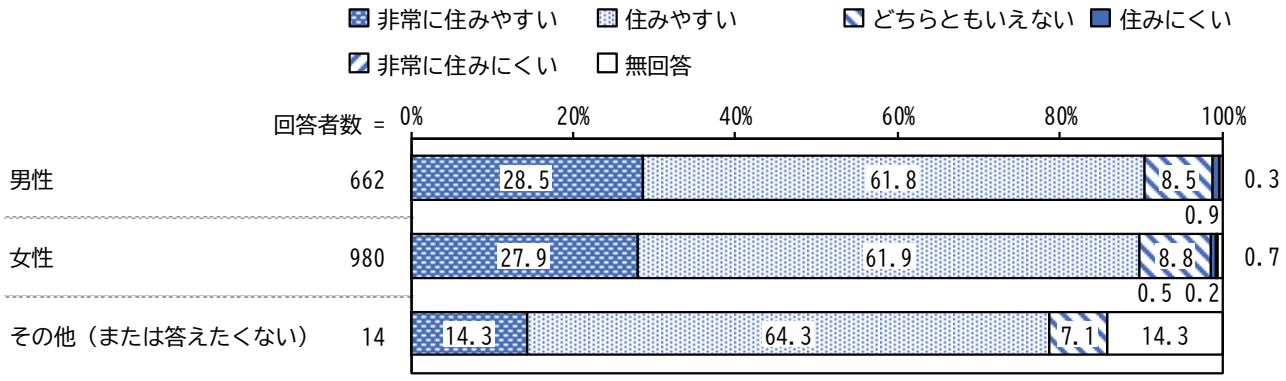
「非常に住みやすい」「住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合が 89.3%、「住みにくい」「非常に住みにくい」を合わせた“住みにくい”の割合が 0.8%となっています。

令和５年度調査と比較すると、「非常に住みやすい」の割合が 6.1 ポイント増加しています。



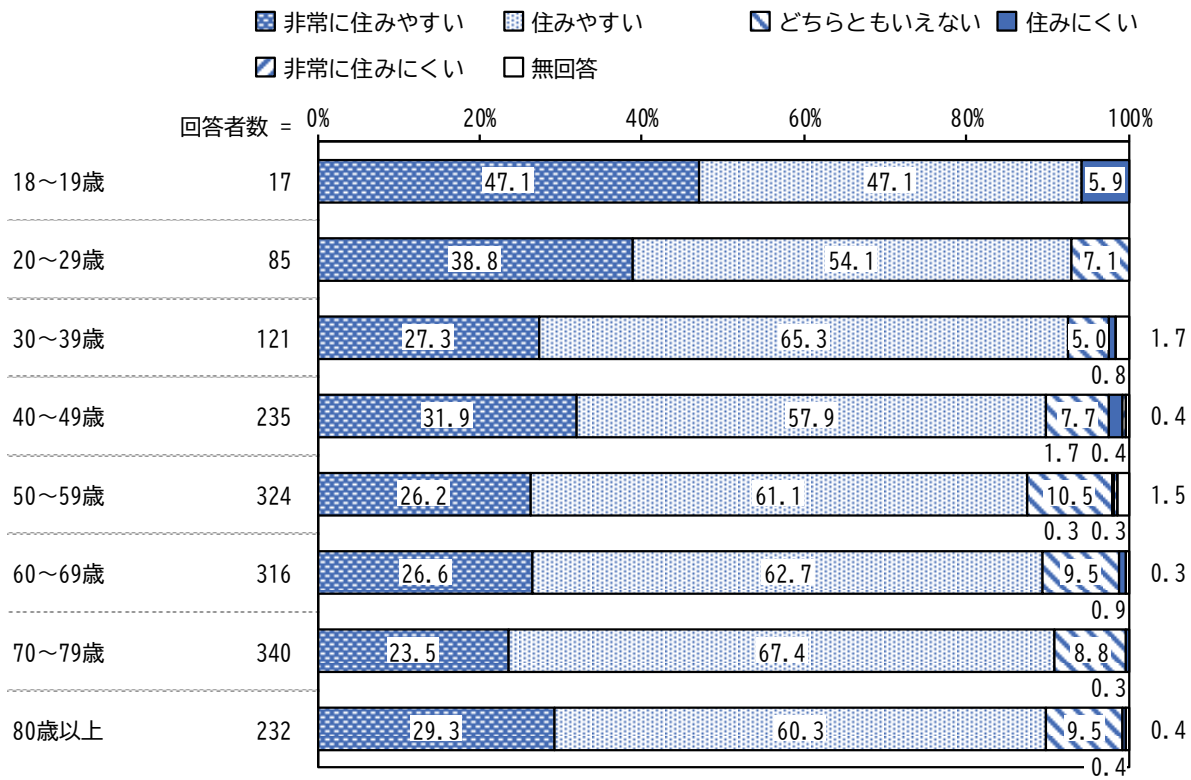
【性別】

性別にみると、「非常に住みやすい」と「住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合は、男性が 90.3%、女性が 89.8%になっています。



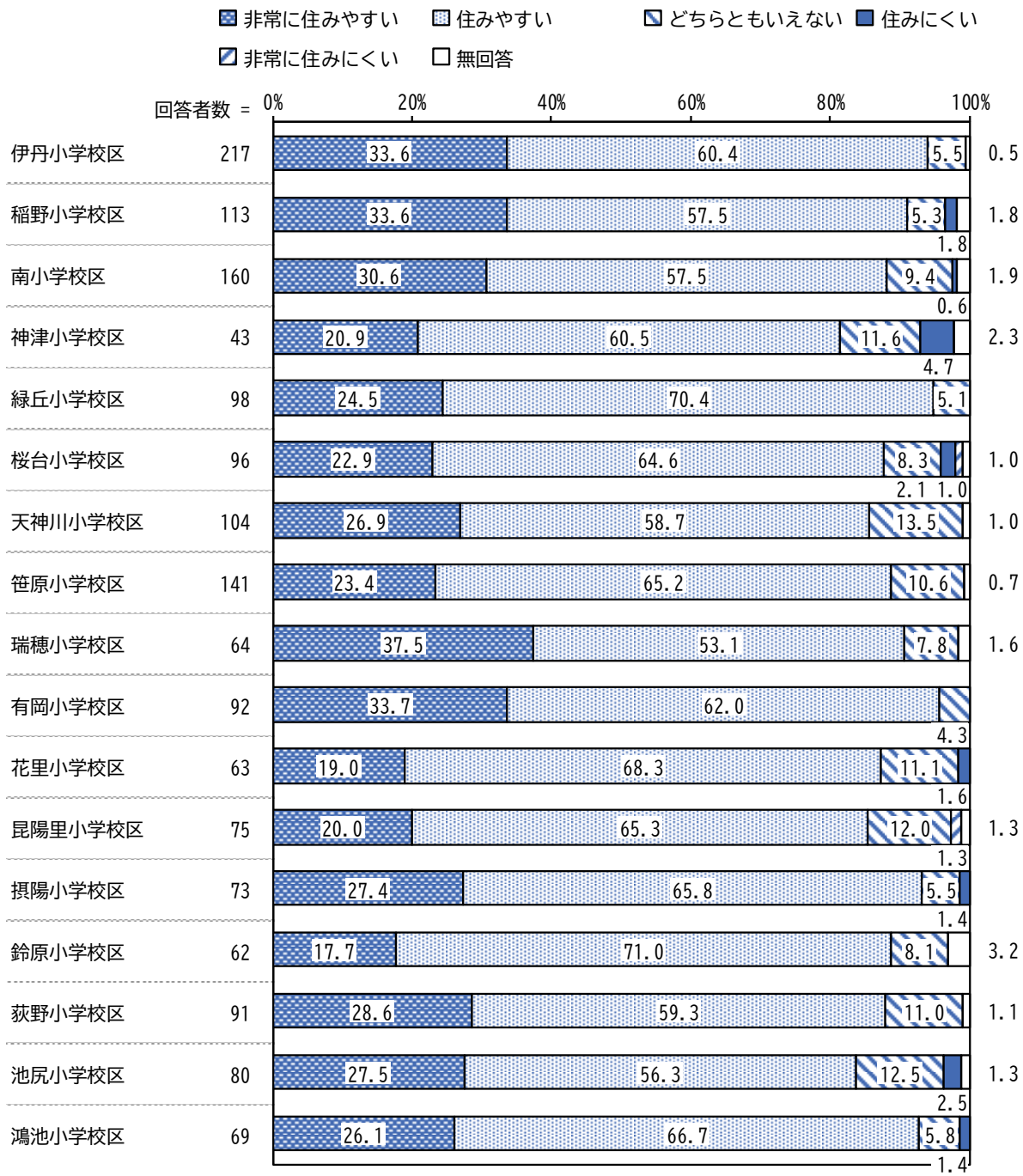
【年代別】

年代別にみると、「非常に住みやすい」の割合は 18～19 歳が最も高く、次いで 20～29 歳となっています。



【居住地域別】

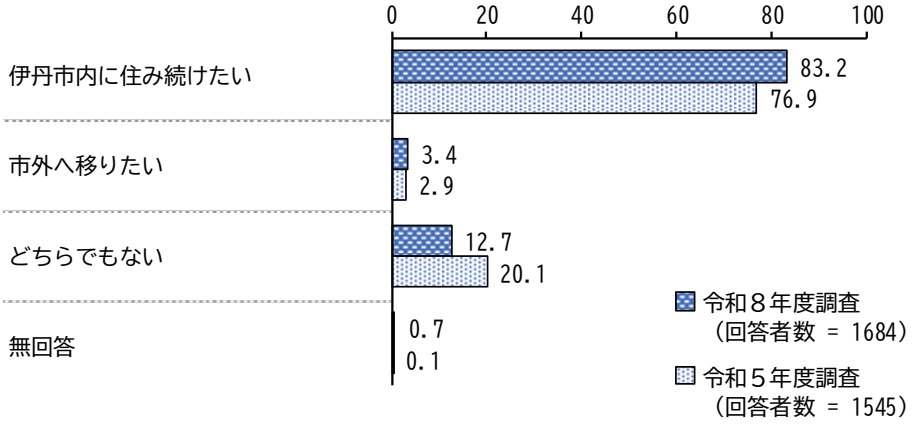
居住地域別にみると、「非常に住みやすい」の割合は瑞穂小学校区が最も高く、次いで有岡小学校区、伊丹小学校区、稲野小学校区となっています。



問４　あなたは今後も伊丹市に住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

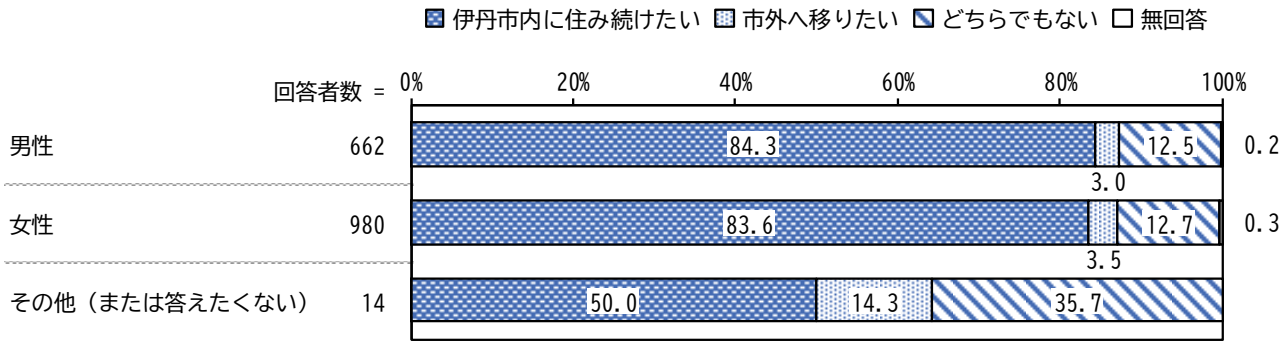
「伊丹市内に住み続けたい」の割合が 83.2%、「市外へ移りたい」の割合が 3.4%、「どちらでもない」の割合が 12.7%となっています。

令和５年度調査と比較すると、「伊丹市内に住み続けたい」の割合が 6.3 ポイント増加しています。一方、「どちらでもない」の割合が 7.4 ポイント減少しています。



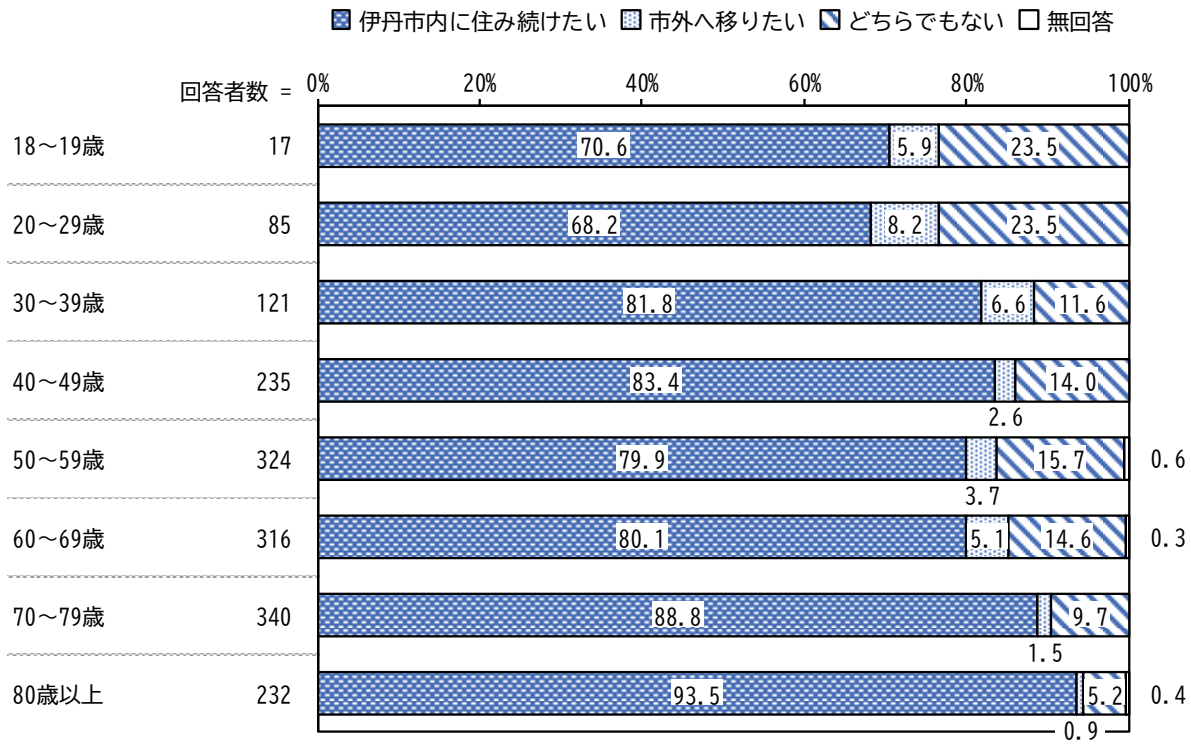
【性別】

性別にみると、「伊丹市内に住み続けたい」の割合が男性では 84.3%、女性では 83.6%となっています。



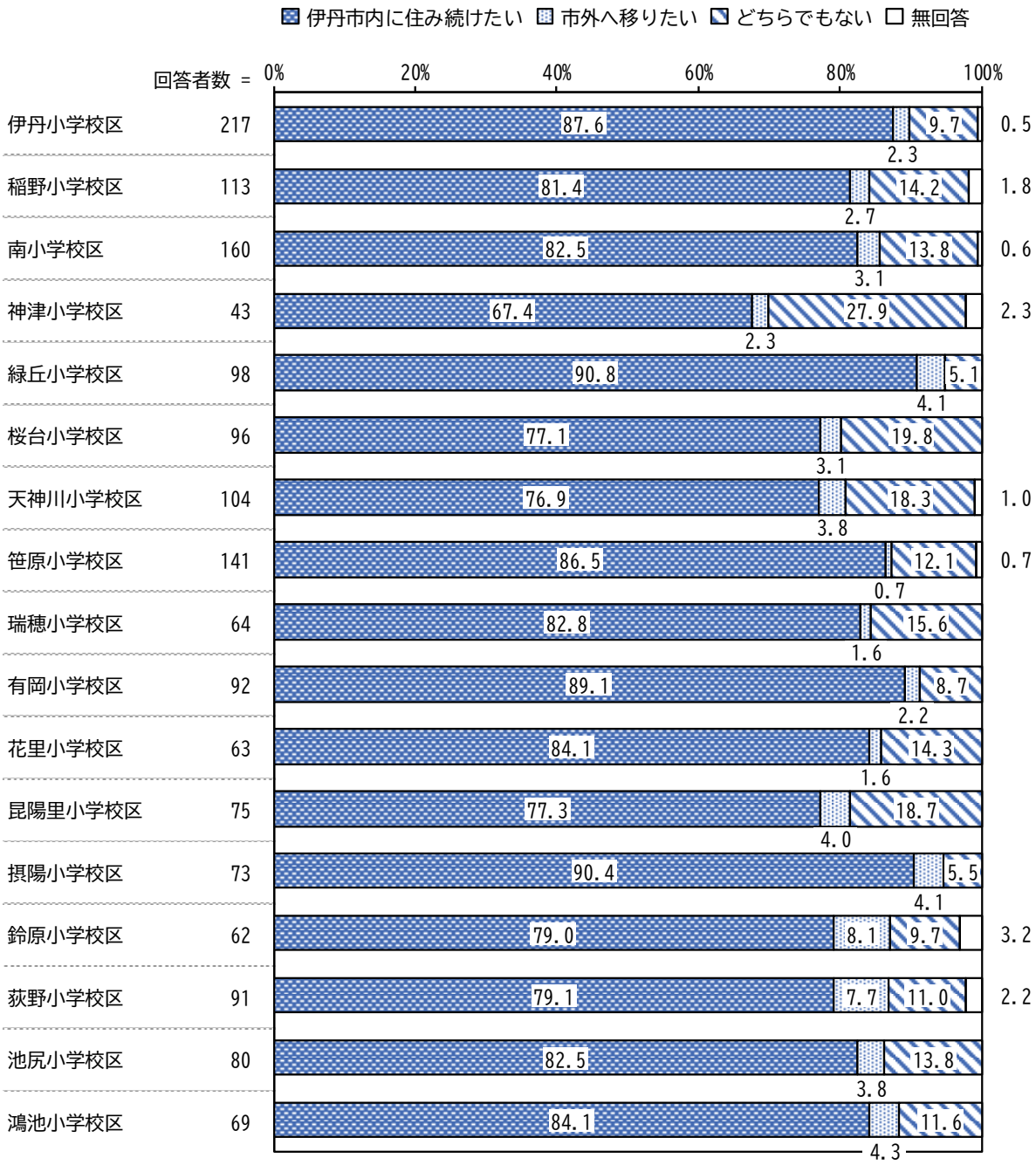
【年代別】

年代別にみると、全体的に「伊丹市内に住み続けたい」の割合が高くなっています。一方で、「市外へ移りたい」の割合は 20～29 歳で最も高く、次いで 30～39 歳、18～19 歳となっています。



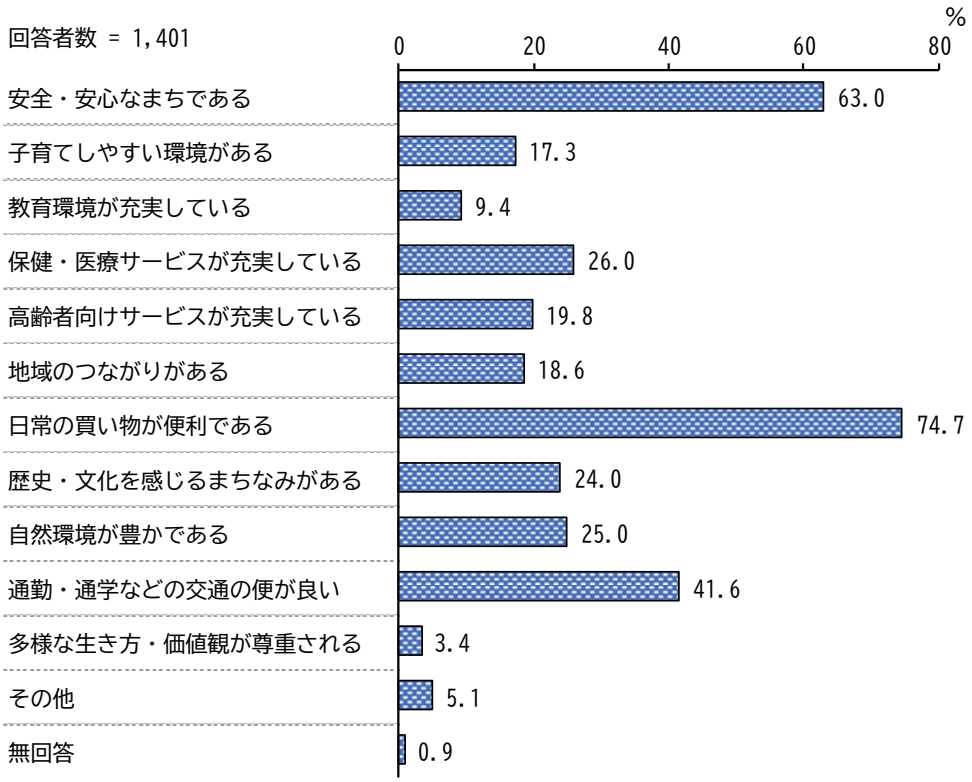
【居住地域別】

居住地域別にみると、「伊丹市内に住み続けたい」の割合は、緑丘小学校区が最も高く、次いで摂陽小学校区、有岡小学校区の順で高くなっています。



問４－１　「住み続けたい」理由について、次の中からあてはまるものを選んでください。
（○はいくつでも）

「日常の買い物が便利である」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「安全・安心なまちである」の割合が 63.0%、「通勤・通学などの交通の便が良い」の割合が 41.6%となっています。



【性別】

性別にみると、男女とも「日常の買い物が便利である」の割合が最も高く、次いで「安全・安心なまちである」が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	安全・安心なまちである	子育てしやすい環境がある	教育環境が充実している	保健・医療サービスが充実している	高齢者向けサービスが充実している	地域のつながりがある	日常の買い物が便利である	歴史・文化を感じるまちなみがある	自然環境が豊かである	通勤・通学などの交通の便が良い	多様な生き方・価値観が尊重される	その他	無回答
全　体	1,401	63.0	17.3	9.4	26.0	19.8	18.6	74.7	24.0	25.0	41.6	3.4	5.1	0.9
男性	558	64.7	15.6	9.3	26.2	19.5	17.7	71.5	21.9	22.6	44.1	2.9	6.8	0.4
女性	819	62.0	18.7	9.3	26.1	19.7	19.4	77.2	25.8	26.9	40.4	3.8	3.8	1.1
その他（または答えたくない）	7	71.4	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	57.1	14.3	14.3	42.9	0.0	14.3	0.0

比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

【年代別】

年代別にみると、80 歳以上で「安全・安心なまちである」が最も高く、その他の年代では「日常の買い物が便利である」の割合が最も高くなっています。２番目に割合の高い項目は、80 歳以上で「日常の買い物が便利である」、20～29 歳・40～49 歳で「通勤・通学などの交通の便が良い」、その他の年代では「安全・安心なまちである」となっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	安全・安心なまちである	子育てしやすい環境がある	教育環境が充実している	保健・医療サービスが充実している	高齢者向けサービスが充実している	地域のつながりがある	日常の買い物が便利である	歴史・文化を感じるまちなみがある	自然環境が豊かである	通勤・通学などの交通の便が良い	多様な生き方・価値観が尊重される	その他	無回答
全　体	1,401	63.0	17.3	9.4	26.0	19.8	18.6	74.7	24.0	25.0	41.6	3.4	5.1	0.9
18～19歳	12	58.3	8.3	8.3	25.0	8.3	8.3	75.0	16.7	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	58	55.2	10.3	8.6	13.8	0.0	8.6	75.9	6.9	10.3	63.8	1.7	5.2	3.4
30～39歳	99	52.5	45.5	12.1	23.2	6.1	11.1	73.7	18.2	13.1	47.5	1.0	8.1	0.0
40～49歳	196	47.4	36.2	15.3	22.4	3.1	13.8	80.1	22.4	26.0	52.6	1.5	4.6	1.0
50～59歳	259	61.8	14.3	6.9	20.8	11.6	11.2	76.8	25.1	19.3	51.7	1.5	6.9	0.8
60～69歳	253	64.4	11.9	6.3	20.2	14.2	15.8	80.2	22.9	24.5	44.7	2.8	4.7	1.2
70～79歳	302	69.2	7.9	8.3	31.5	31.8	25.8	71.5	27.2	29.5	30.5	5.3	4.0	0.7
80歳以上	217	75.6	12.9	11.5	39.2	46.5	32.3	66.8	28.6	34.1	23.5	7.4	3.7	0.5

比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

【居住地域別】

居住地域別にみると、瑞穂小学校区、鈴原小学校区、荻野小学校区で「安全・安心なまちである」が最も高く、神津小学校区で「日常の買い物が便利である」・「通勤・通学などの交通の便が良い」が最も高く、その他の小学校区で「日常の買い物が便利である」が最も高くなっています。２番目に割合の高い項目としては、「安全・安心なまちである」「日常の買い物が便利である」「通勤・通学などの交通の便が良い」の３つに分かれています。

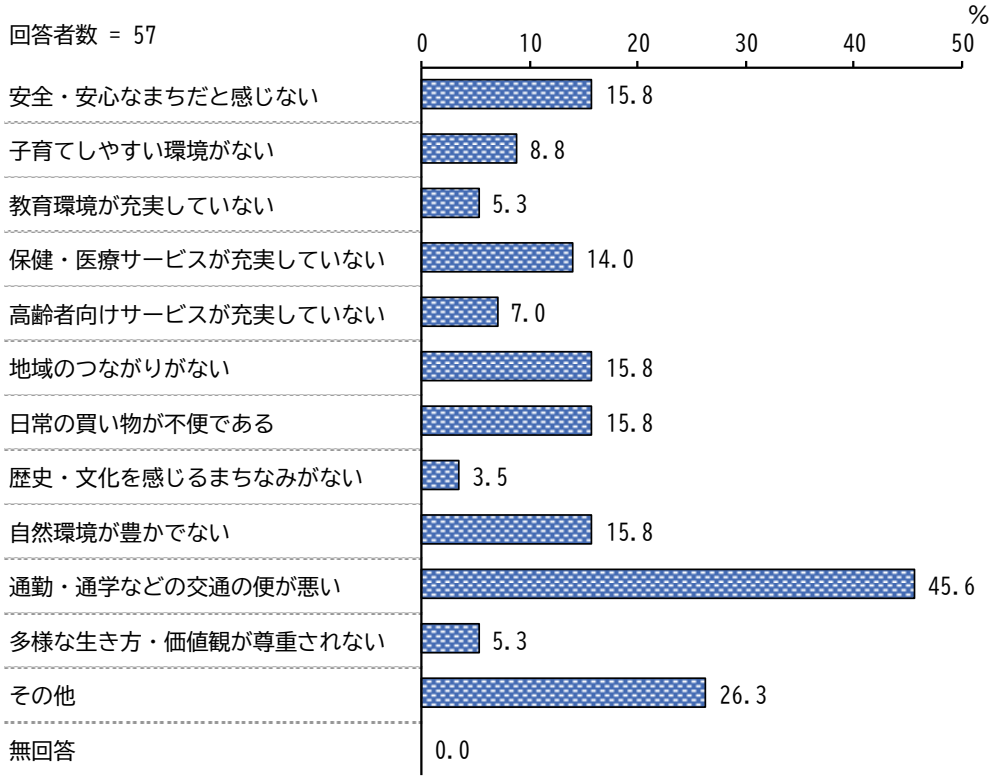
単位：％

区分	回答者数（件）	安全・安心なまちである	子育てしやすい環境がある	教育環境が充実している	保健・医療サービスが充実している	高齢者向けサービスが充実している	地域のつながりがある	日常の買い物が便利である	歴史・文化を感じるまちなみがある	自然環境が豊かである	通勤・通学などの交通の便が良い	多様な生き方・価値観が尊重される	その他	無回答
全　体	1,401	63.0	17.3	9.4	26.0	19.8	18.6	74.7	24.0	25.0	41.6	3.4	5.1	0.9
伊丹小学校区	190	57.4	20.0	8.9	25.3	14.2	15.8	87.4	31.1	20.0	62.1	2.1	4.7	1.1
稲野小学校区	92	69.6	19.6	8.7	33.7	20.7	22.8	79.3	22.8	37.0	47.8	4.3	5.4	1.1
南小学校区	132	61.4	15.9	8.3	21.2	12.1	15.2	75.8	22.0	11.4	65.2	3.0	6.8	0.0
神津小学校区	29	44.8	13.8	6.9	20.7	24.1	27.6	51.7	20.7	24.1	51.7	3.4	3.4	0.0
緑丘小学校区	89	60.7	21.3	10.1	24.7	18.0	14.6	61.8	30.3	28.1	33.7	5.6	5.6	2.2
桜台小学校区	74	58.1	12.2	6.8	25.7	28.4	13.5	73.0	13.5	37.8	25.7	4.1	8.1	1.4
天神川小学校区	80	53.8	18.8	13.8	28.8	22.5	17.5	85.0	17.5	27.5	28.8	2.5	2.5	0.0
笹原小学校区	122	69.7	13.1	10.7	20.5	15.6	26.2	73.0	18.9	13.9	32.8	0.8	5.7	1.6
瑞穂小学校区	53	73.6	22.6	9.4	34.0	30.2	26.4	60.4	30.2	58.5	28.3	3.8	1.9	0.0
有岡小学校区	82	58.5	19.5	14.6	30.5	18.3	20.7	91.5	40.2	12.2	63.4	2.4	4.9	1.2
花里小学校区	53	75.5	22.6	7.5	28.3	30.2	13.2	83.0	24.5	28.3	28.3	1.9	3.8	0.0
昆陽里小学校区	58	56.9	10.3	10.3	22.4	22.4	17.2	75.9	22.4	24.1	31.0	1.7	3.4	0.0
摂陽小学校区	66	62.1	9.1	6.1	33.3	27.3	16.7	65.2	18.2	19.7	36.4	4.5	3.0	0.0
鈴原小学校区	49	79.6	32.7	8.2	20.4	10.2	16.3	67.3	20.4	22.4	55.1	4.1	4.1	0.0
荻野小学校区	72	65.3	15.3	9.7	19.4	26.4	19.4	63.9	19.4	25.0	23.6	5.6	4.2	1.4
池尻小学校区	66	65.2	15.2	9.1	24.2	16.7	16.7	66.7	16.7	25.8	25.8	6.1	9.1	3.0
鴻池小学校区	58	56.9	19.0	12.1	29.3	22.4	20.7	79.3	31.0	36.2	19.0	3.4	5.2	0.0

比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

問４－２　「市外へ移りたい」理由について、次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

「通勤・通学などの交通の便が悪い」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「安全・安心なまちだと感じない」、「地域のつながりがない」、「日常の買い物が不便である」、「自然環境が豊かでない」の割合が 15.8%となっています。



【性別】

性別にみると、男女とも「通勤・通学などの交通の便が悪い」が最も高く、次いで女性では「地域のつながりがない」が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	安全・安心なまちだと感じない	子育てしやすい環境がない	教育環境が充実していない	保健・医療サービスが充実していない	高齢者向けサービスが充実していない	地域のつながりがない	日常の買い物が不便である	歴史・文化を感じるまちなみがない	自然環境が豊かでない	通勤・通学などの交通の便が悪い	多様な生き方・価値観が尊重されない	その他	無回答
全　体	57	15.8	8.8	5.3	14.0	7.0	15.8	15.8	3.5	15.8	45.6	5.3	26.3	0.0
男性	20	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	15.0	5.0	10.0	40.0	0.0	35.0	0.0
女性	34	14.7	8.8	8.8	14.7	11.8	20.6	17.6	2.9	17.6	47.1	5.9	20.6	0.0
その他（または答えたくない）	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0

比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

【年代別】

年代別にみると、60～69 歳では「地域のつながりがない」が最も高く、50～59 歳では「通勤・通学などの交通の便が悪い」が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	安全・安心なまちだと感じない	子育てしやすい環境がない	教育環境が充実していない	保健・医療サービスが充実していない	高齢者向けサービスが充実していない	地域のつながりがない	日常の買い物が不便である	歴史・文化を感じるまちなみがない	自然環境が豊かでない	通勤・通学などの交通の便が悪い	多様な生き方・価値観が尊重されない	その他	無回答
全　体	57	15.8	8.8	5.3	14.0	7.0	15.8	15.8	3.5	15.8	45.6	5.3	26.3	0.0
18～19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20～29歳	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3	14.3	0.0
30～39歳	8	0.0	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	12.5	37.5	0.0
40～49歳	6	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	66.7	0.0	16.7	0.0
50～59歳	12	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	16.7	0.0
60～69歳	16	18.8	0.0	0.0	12.5	18.8	37.5	18.8	6.3	12.5	25.0	6.3	37.5	0.0
70～79歳	5	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	60.0	0.0	60.0	40.0	0.0	20.0	0.0
80歳以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

【居住地域別】

各小学校区の回答者数が１～７件と少ないため、地域別の特徴は記述していません。

単位：％

区分	回答者数（件）	安全・安心なまちだと感じない	子育てしやすい環境がない	教育環境が充実していない	保健・医療サービスが充実していない	高齢者向けサービスが充実していない	地域のつながりがない	日常の買い物が不便である	歴史・文化を感じるまちなみがない	自然環境が豊かでない	通勤・通学などの交通の便が悪い	多様な生き方・価値観が尊重されない	その他	無回答
全　体	57	15.8	8.8	5.3	14.0	7.0	15.8	15.8	3.5	15.8	45.6	5.3	26.3	0.0
伊丹小学校区	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0
稲野小学校区	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
南小学校区	5	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
神津小学校区	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
緑丘小学校区	4	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0
桜台小学校区	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
天神川小学校区	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
笹原小学校区	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
瑞穂小学校区	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
有岡小学校区	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
花里小学校区	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
昆陽里小学校区	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	33.3	0.0	0.0
摂陽小学校区	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
鈴原小学校区	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0
荻野小学校区	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	57.1	0.0	28.6	0.0
池尻小学校区	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
鴻池小学校区	3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0

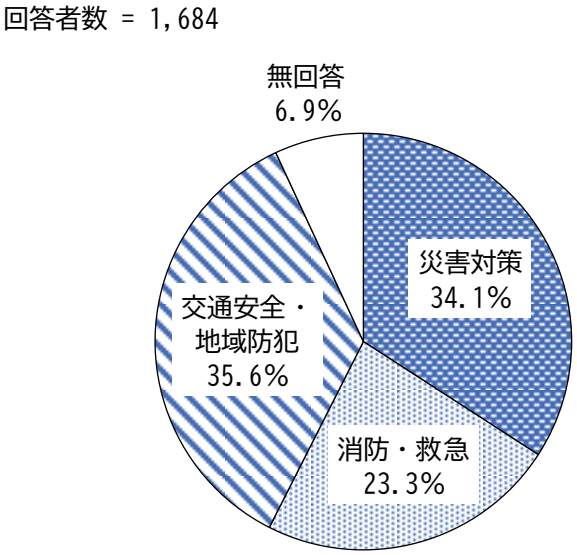
比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

２　これからの市の取組について

問５　伊丹市では、６つの大綱を軸に様々な施策にチャレンジしています。各分野において、優先的に取り組んで欲しいと思う番号を１つご記入ください。

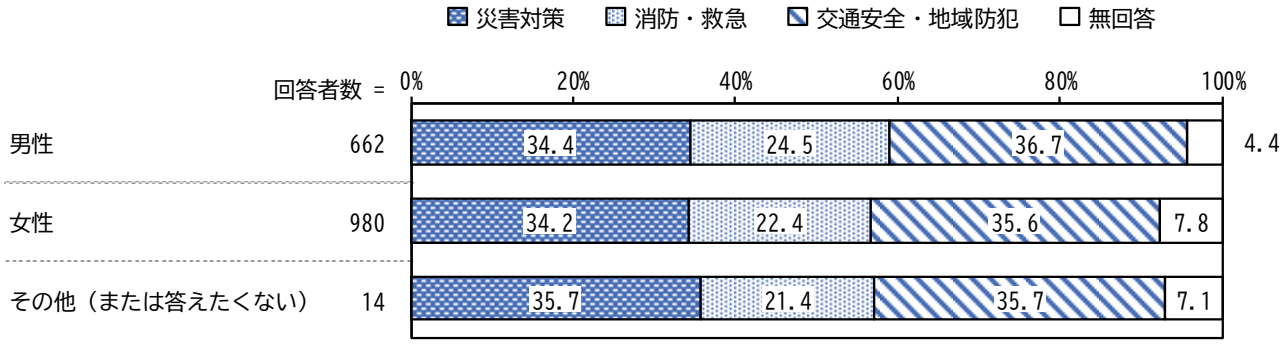
大綱１　安全・安心

「災害対策」の割合が 34.1%、「消防・救急」の割合が 23.3%、「交通安全・地域防犯」の割合が 35.6%となっています。



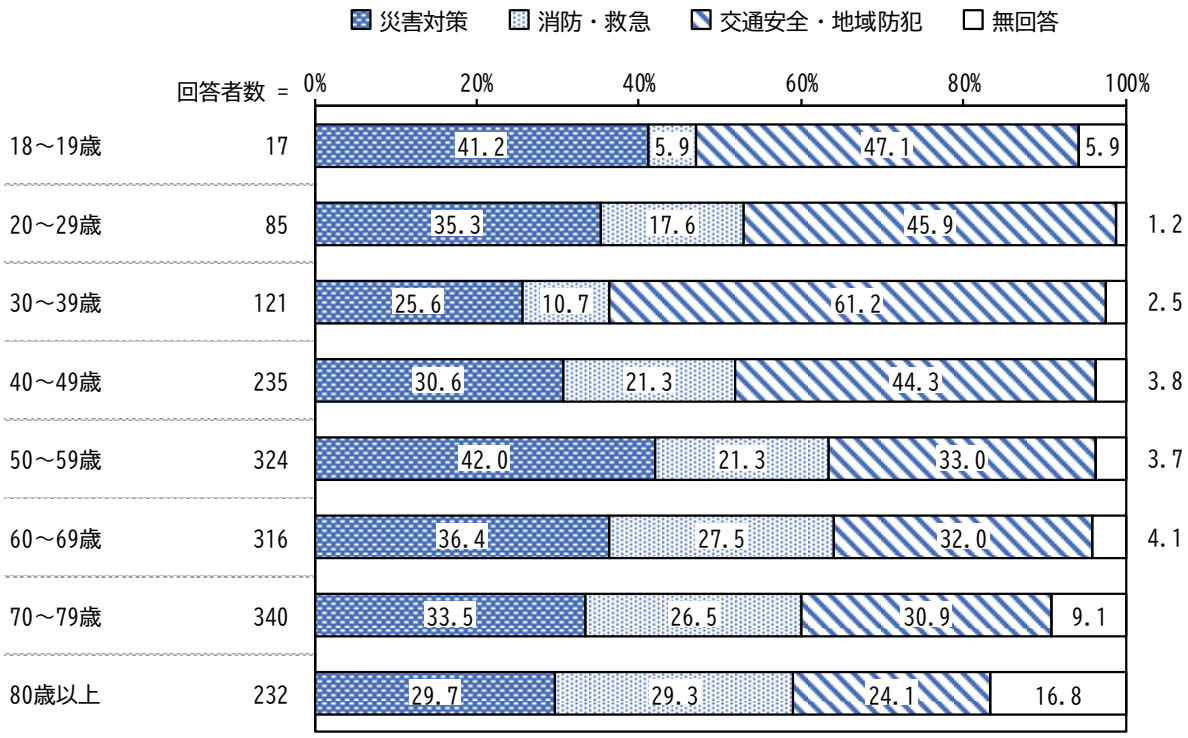
【性別】

性別にみると、男女とも「交通安全・地域防犯」が最も高く、次いで「災害対策」、「消防・救急」の順で高くなっています。



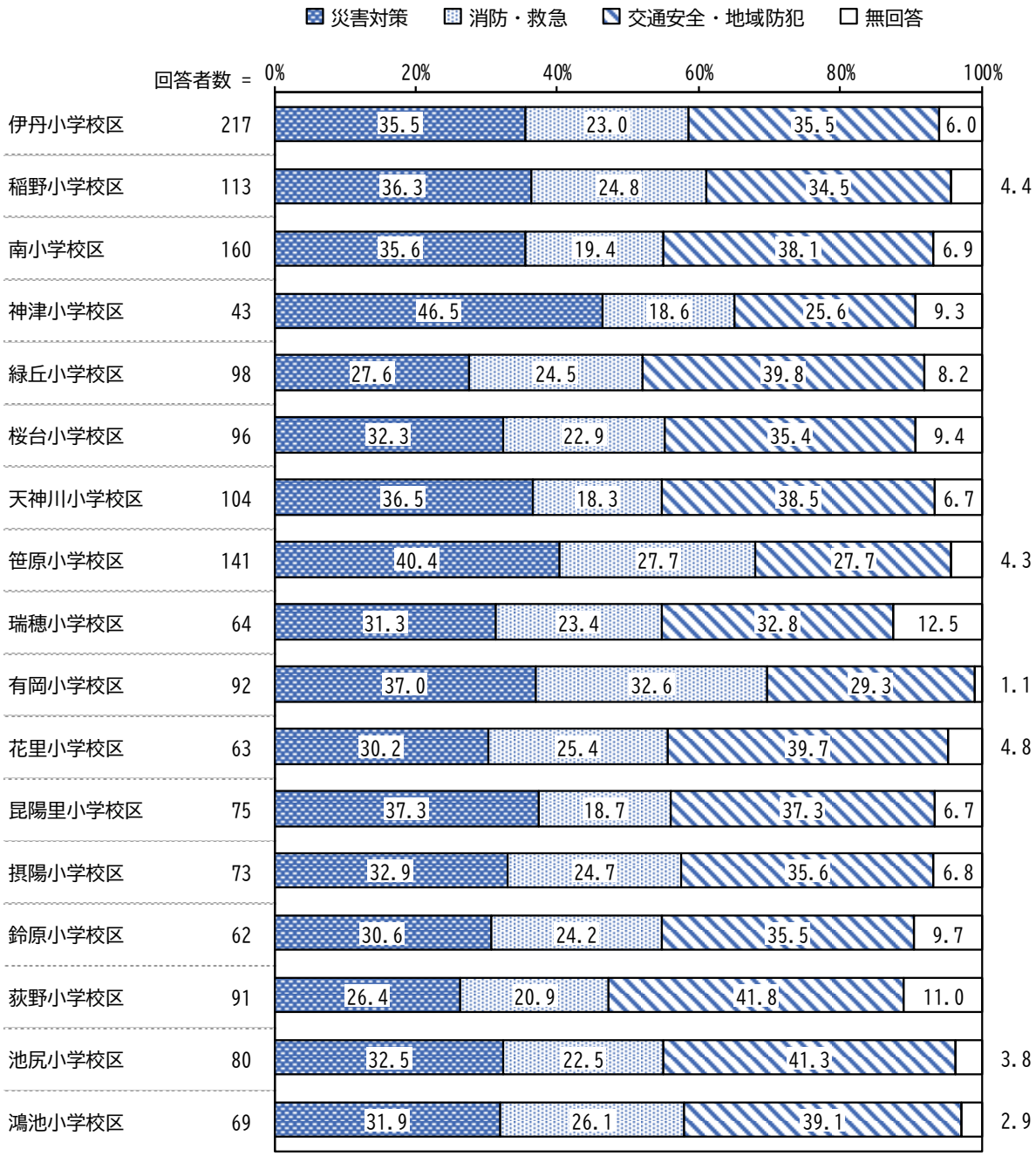
【年代別】

年代別にみると、「災害対策」は 50～59 歳、「消防・救急」は 80 歳以上、「交通安全・地域防犯」は 30～39 歳で最も高くなっています。



【居住地域別】

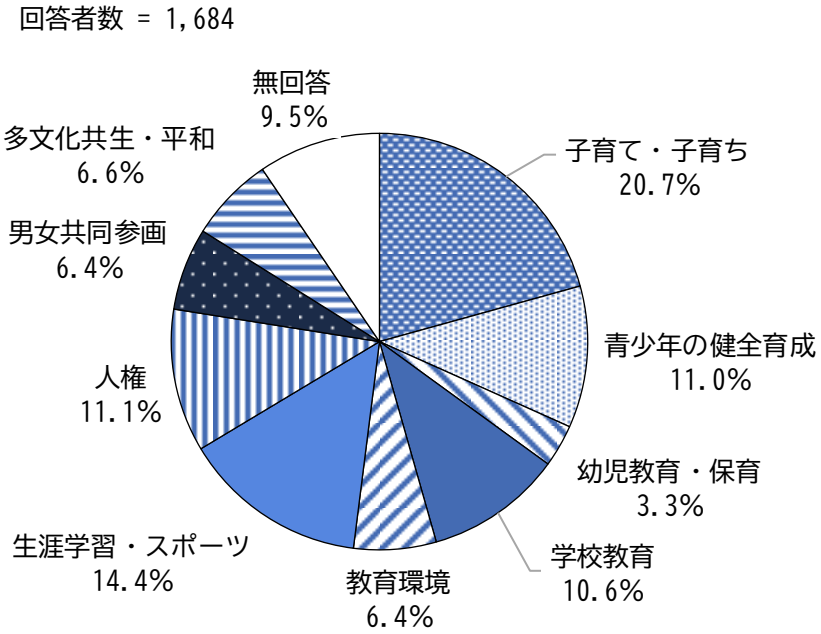
居住地域別にみると、「災害対策」は神津小学校区、「消防・救急」は有岡小学校区、「交通安全・地域防犯」は荻野小学校区が最も高くなっています。



【主な意見】
＜災害対策＞
「あと数十年の間に南海トラフ地震が発生すると言われているから。」
「避難所までの安全な経路が分からない人が多いから。」
「川が近くにたくさんあるので災害時には心配になるので。」
＜消防・救急＞
「近畿中央病院がなくなり、市民病院に集中するので。」
「救急車を呼んだ時受け入れ先が決まるまでに時間がかかった。」
「一人暮らしのため、急病などの不安がある。」
＜交通安全・地域防犯＞
「自転車のルールが厳しくなったが、住んでいる地域ではあまり変化を感じない。本当に危ない。」
「騒音を出す(特にバイク)車両の通行が多い。」
「理解できない地域犯罪が増えている。」

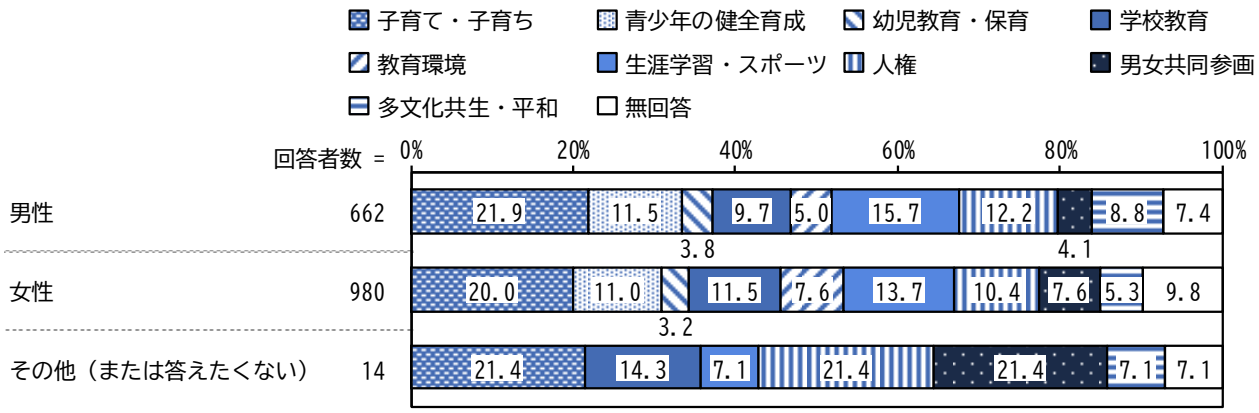
大綱２　育ち・学び・共生社会

「子育て・子育ち」の割合が 20.7%と最も高く、次いで「生涯学習・スポーツ」の割合が 14.4%、「人権」の割合が 11.1%となっています。



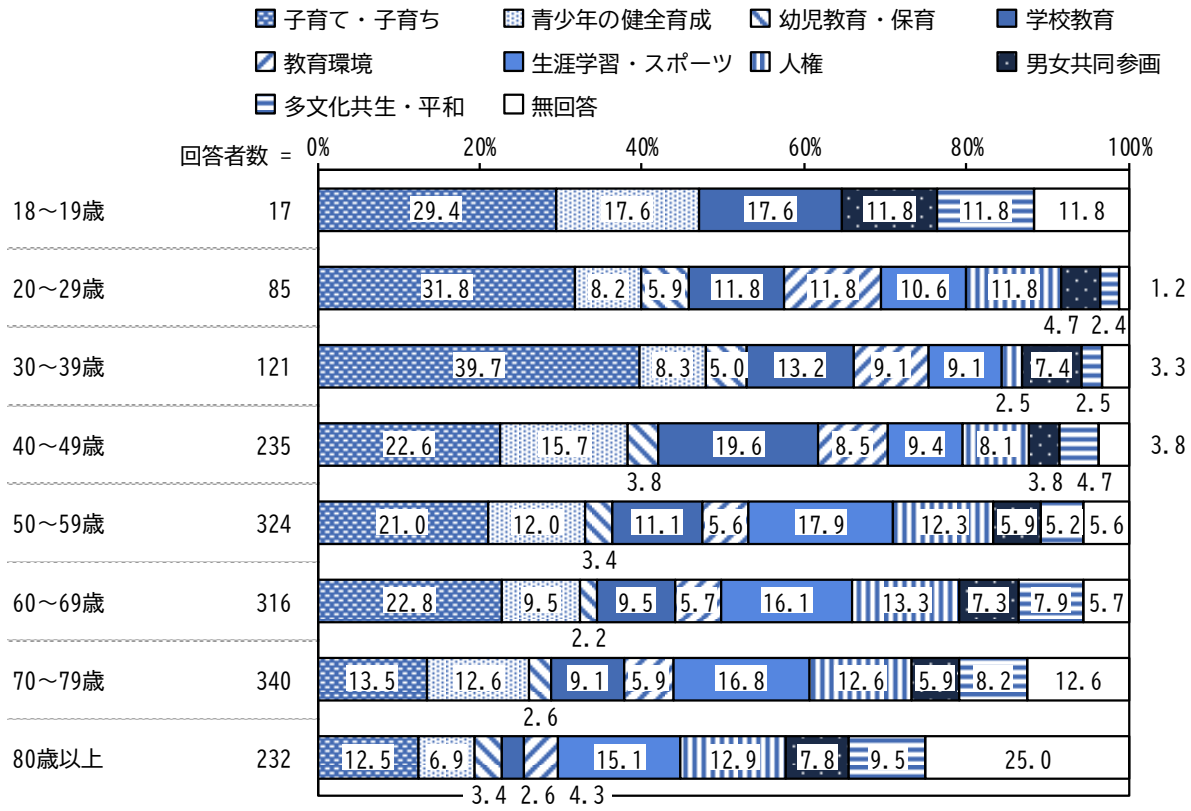
【性別】

性別にみると、男女ともに「子育て・子育ち」が最も高く、次いで「生涯学習・スポーツ」が高くなっています。



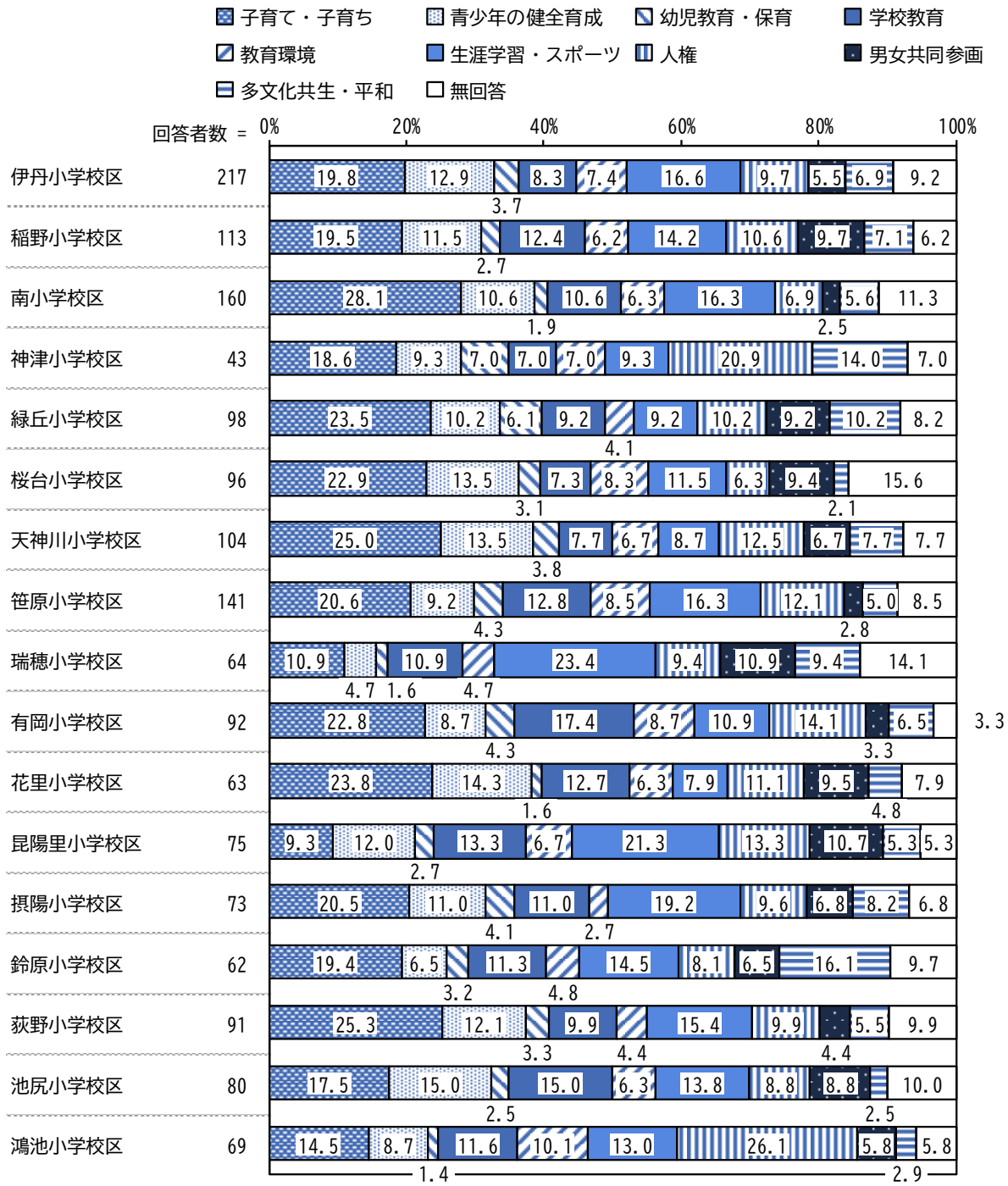
【年代別】

年代別にみると、「子育て・子育ち」は 30～39 歳、「青少年の健全育成」は 18～19 歳、「幼児教育・保育」は 20～29 歳で最も高くなっています。「学校教育」は 40～49 歳、「教育環境」は 20～29 歳、「生涯学習・スポーツ」は 50～59 歳で最も高くなっています。また、「人権」は 60～69 歳、「男女共同参画」は 18～19 歳、「多文化共生・平和」は 18～19 歳で最も高くなっています。



【居住地域別】

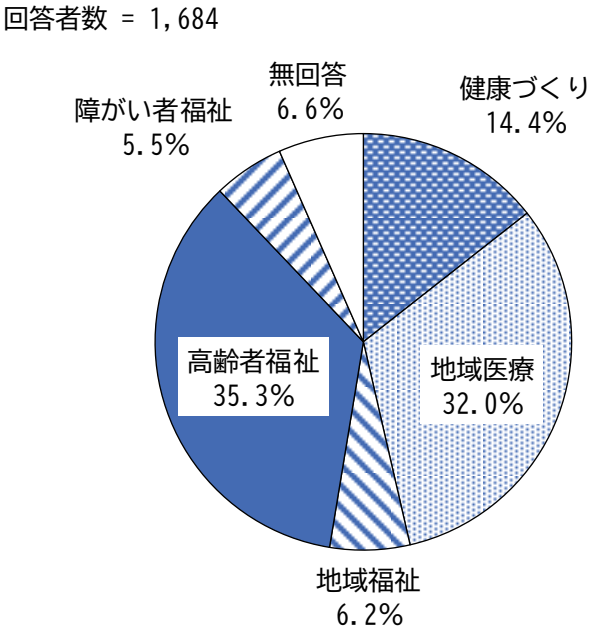
居住地域別にみると、「子育て・子育ち」は南小学校区、「青少年の健全育成」は池尻小学校区、「幼児教育・保育」は神津小学校区で高くなっています。「学校教育」は有岡小学校区、「教育環境」は鴻池小学校区、「生涯学習・スポーツ」は瑞穂小学校区で高くなっており、「人権」は鴻池小学校区、「男女共同参画」は瑞穂小学校区、「多文化共生・平和」は鈴原小学校区で高くなっています。



【主な意見】
＜子育て・子育ち＞
「地域の子どもたちが減っている気がするので。」
「子育てに費用がかかりすぎる為。」
「保育所に入れないという声をよく聞くから。」
＜青少年の健全育成＞
「いろいろ事件が多く健やかに成長してほしい。」
「中学の部活がなくなることが不安だから。健やかに成長できる機会をなくしてる気がするから。」
「若い人の犯罪が多いと感じる。」
＜幼児教育・保育＞
「まずは幼児教育が土台、教育のスタート。」
「幼児期は、大人になる上での大きな基盤となるためそこで学ぶことが成長につながると感じるから。」
「幼児に取り組むことが後々の発展になる。」
＜学校教育＞
「学校教育を充実させ全ての子どもたちの教育水準を上げてほしい。」
「公立小中高校の教育の質の向上を望みます。」
「学生もだが教師の働きやすい環境を。」
＜教育環境＞
「社会全体で育ちを支える意識の醸成が大切だと思うから。」
「学童を充実させて塾に行けなくても 勉強できる環境が欲しい。」
「いわゆる「小１の壁」を解消して欲しい。」
＜生涯学習・スポーツ＞
「高齢者が増えて、老人の孤立を防ぐ。」
「地域のつながりのきっかけとして、機会を増やしてほしい。」
「親子で楽しめるスポーツ施設が増えたらいいなと思います。」
＜人権＞
「差別のない社会を希望しているため。」
「まだ差別がある。」
「すべての人が自分らしく能力を発揮できる環境を整えることで多様な視点やアイデアが生まれるから。」
＜男女共同参画＞
「まだまだ男女差はあると思うから。」
「男女共同参画の場をもっと多くしてほしい。」
「気軽に女性の起業支援の相談場所があれば嬉しい。」
＜多文化共生・平和＞
「外国の方を受け入れる環境整備やコミュニティをもう少し充実させてほしいです。」
「伊丹には多国の方も住んでいるので相互理解が進み共生できるように。」
「伊丹は外国人も多く住んでいると思うから。」

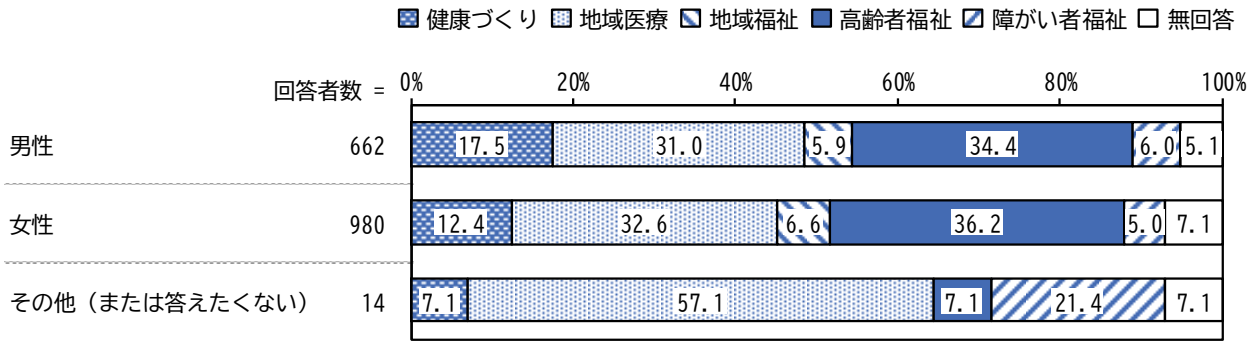
大綱３　健康・医療・福祉

「高齢者福祉」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「地域医療」の割合が 32.0%、「健康づくり」の割合が 14.4%となっています。



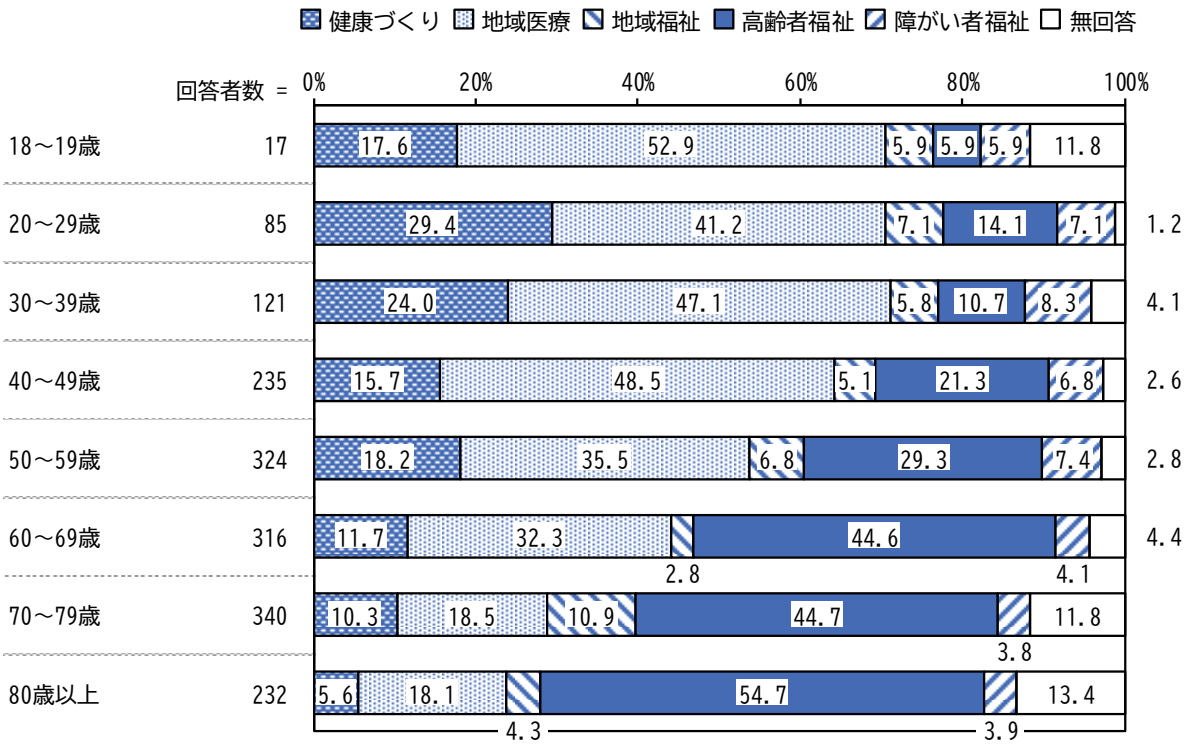
【性別】

性別にみると、男女ともに「高齢者福祉」の割合が最も高く、次いで「地域医療」が高くなっています。



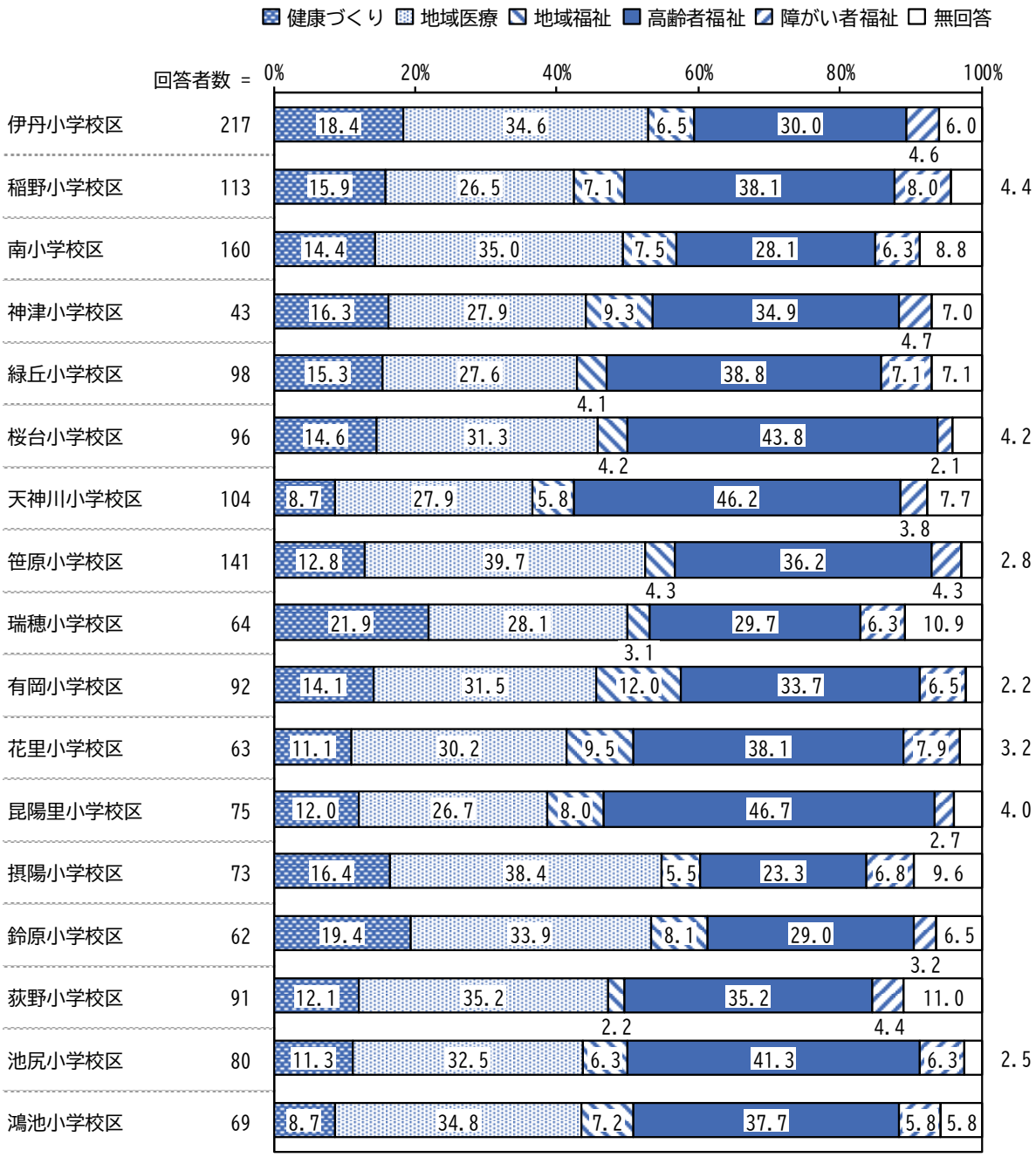
【年代別】

年代別にみると、「健康づくり」は 20～29 歳、「地域医療」は 18～19 歳、「地域福祉」は 70～79 歳で高くなっています。また、「高齢者福祉」は 80 歳以上、「障がい者福祉」は 30～39 歳で高くなっています。



【居住地域別】

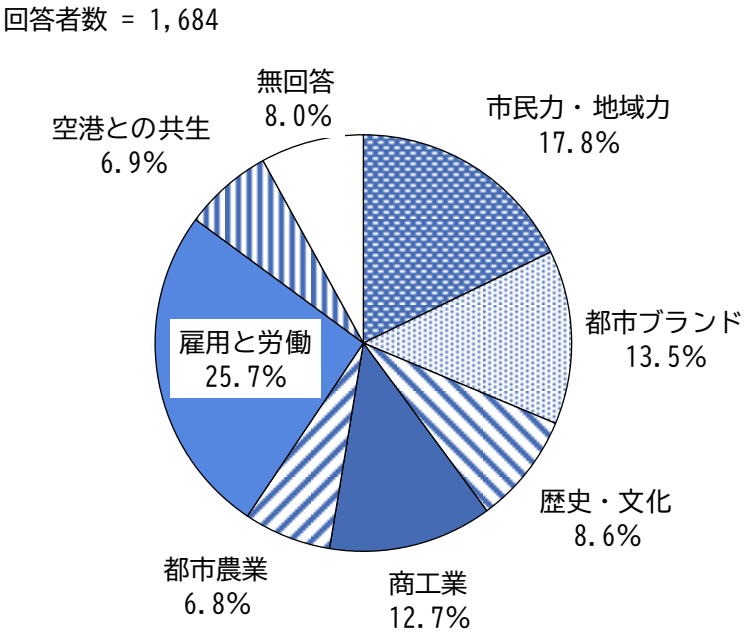
居住地域別にみると、「健康づくり」は瑞穂小学校区、「地域医療」は笹原小学校区、「地域福祉」は有岡小学校区で高くなっています。また、「高齢者福祉」は昆陽里小学校区、「障がい者福祉」は稲野小学校区で高くなっています。



【主な意見】
＜健康づくり＞
「予防こそが、負担を減らすと思うから。」
「健康にすごすことが大切だと感じるから。」
「子どもから大人まで参加できる健康づくりのイベント等。」
＜地域医療＞
「大きい病院ほど予約または紹介などがないと診察できない状態の上、待ち時間が長いので、配慮をお願いしたい。」
「市民病院の充実、医療の高度化望みます。」
「高齢になり近い所で医療を受けたいから。」
＜地域福祉＞
「私も含め、人との交流を大切にしたい。」
「地域の交流が無くなってきている。災害時など、地域で助け合う土壌作りをお願いしたい。」
「できる人ができる時にできる事を当たり前にする地域になれば良いなと思うから。」
＜高齢者福祉＞
「自分たちが高齢者なので、これからが不安なので。」
「高齢者なので住み慣れた地域で暮らしたいので。」
「年金ぐらしなので心配です。」
＜障がい者福祉＞
「安心して歩ける歩道づくり。」
「まだまだバリアフリーが少なく感じる。」
「障がいがある人の親が亡くなった後の支援をお願いします。」

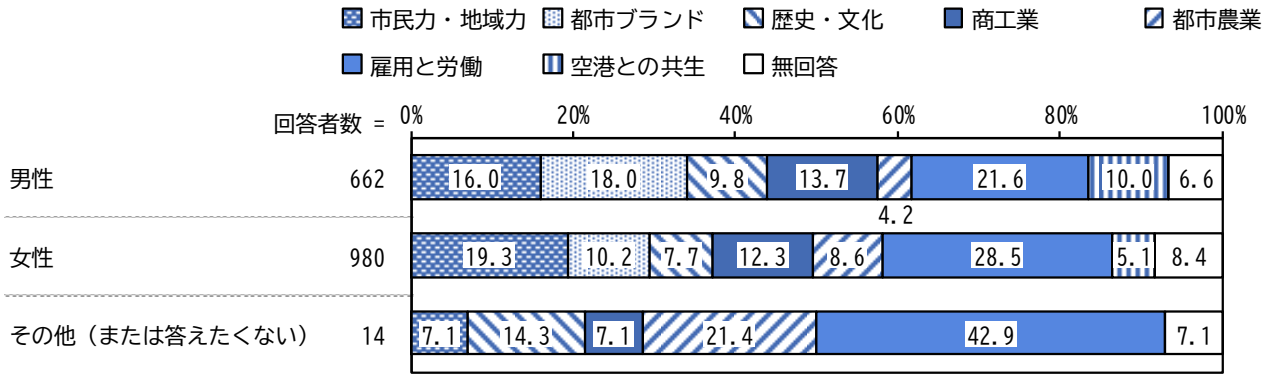
大綱４　市民力・にぎわい・活力

「雇用と労働」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「市民力・地域力」の割合が 17.8%、「都市ブランド」の割合が 13.5%となっています。



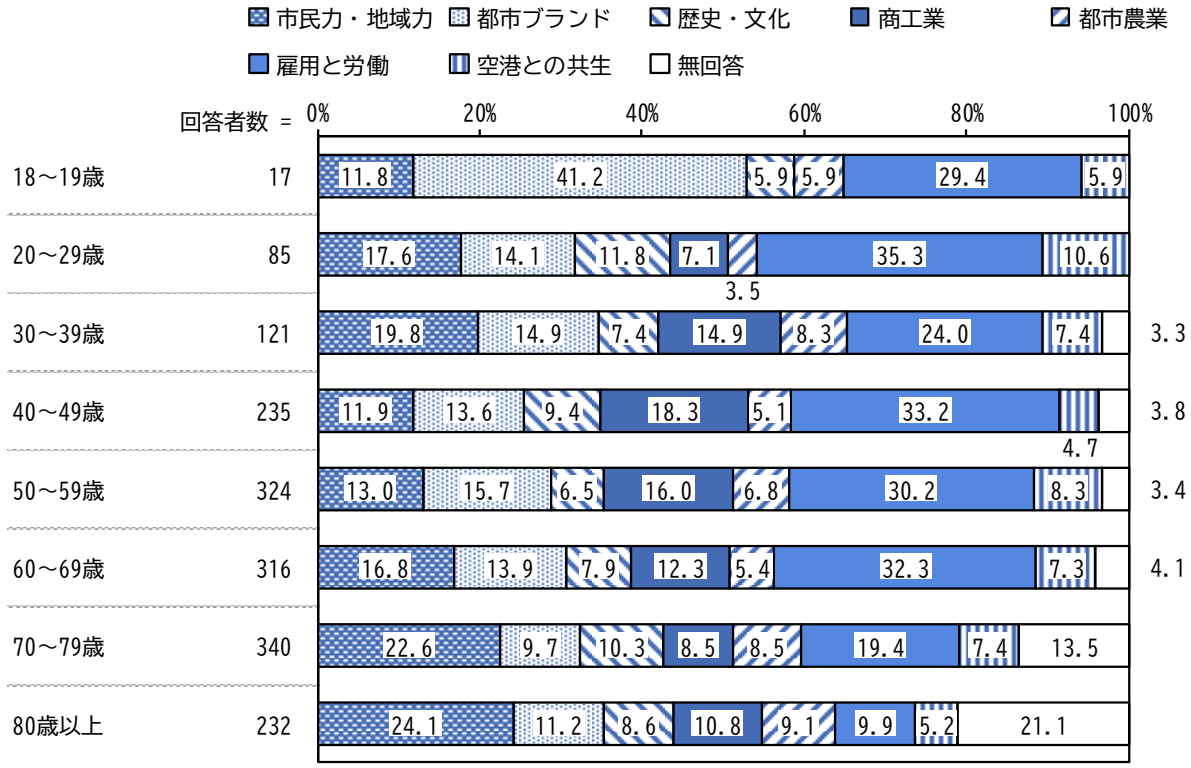
【性別】

性別にみると、男女ともに「雇用と労働」の割合が最も高く、次いで男性では「都市ブランド」、女性では「市民力・地域力」が高くなっています。



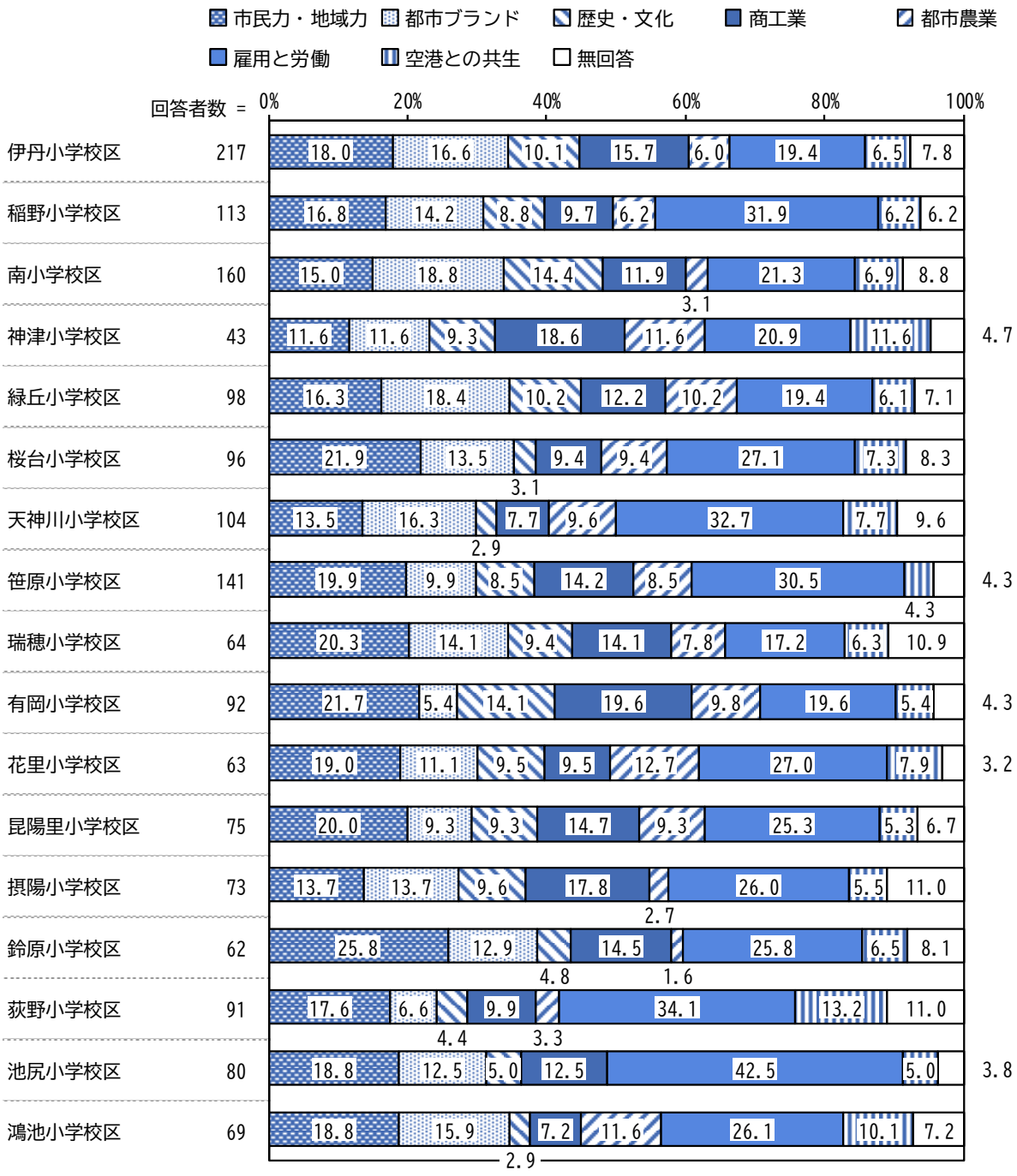
【年代別】

年代別にみると、「市民力・地域力」は 80 歳以上、「都市ブランド」は 18～19 歳、「歴史・文化」は 20～29 歳で高くなっています。また、「商工業」は 40～49 歳、「都市農業」は 80 歳以上、「雇用と労働」は 20～29 歳、「空港との共生」は 20～29 歳で高くなっています。



【居住地域別】

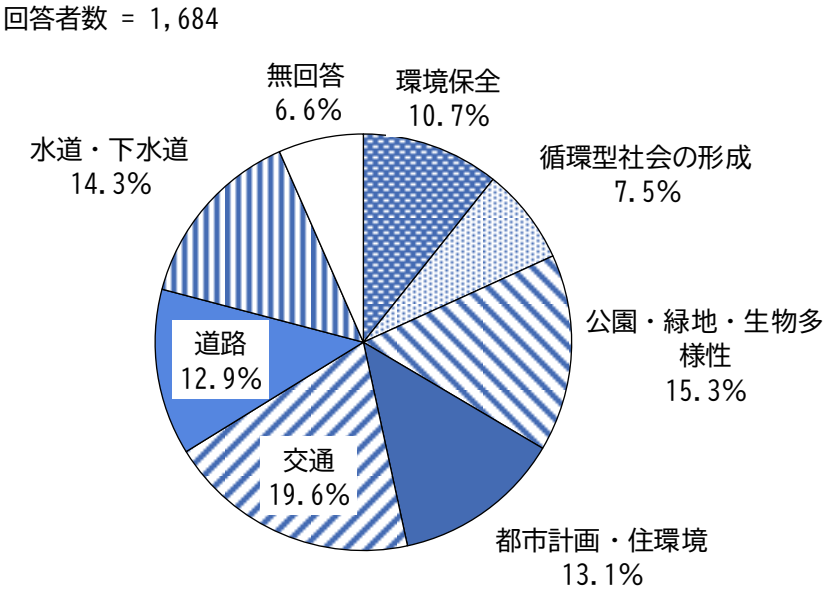
居住地域別にみると、「市民力・地域力」は鈴原小学校区、「都市ブランド」は南小学校区、「歴史・文化」は南小学校区で高くなっています。また、「商工業」は有岡小学校区、「都市農業」は花里小学校区、「雇用と労働」は池尻小学校区、「空港との共生」は荻野小学校区で高くなっています。



【主な意見】
＜市民力・地域力＞
「地域のつながりがどんどん希薄になっていると感じる。」
「地域とのつながりは大切だと思うから。」
「自治会活動で若い人達も参加しやすい様にする。」
＜都市ブランド＞
「伊丹市をもっとアピールしてもよい。」
「祭りや、イベントは中心部に偏っているので市内全域で実施して欲しい。」
「アピールできるところが多いのに全国知名度はいまいちだと実感しているから。」
＜歴史・文化＞
「お酒の伝統を守りたいから。」
「地元の歴史や文化を知ると、自然と誇りを持てるのではないかと思います。城跡があり、酒造所があり、空港もある良いまちなので愛着は持ちやすいです。」
「伊丹の歴史がわかるイベントなどがあればいいな。」
＜商工業＞
「閑散とした伊丹市になってほしくない。駅前等はいつまでも賑やかであってほしい。」
「地域経済を元気にする事で人が増え雇用も増えると思う。」
「昔ながらの商店と新しい商業が共存して地域の魅力を高めてほしい。」
＜都市農業＞
「地産地消は大切だと思う。伊丹地元産を育てて欲しい。」
「市内にも農家がありますが、引き続き守り続けられるような援助や、希望者に貸与できるような制度。」
「身近な農業を守ることは緑地を守ることにもつながる。」
＜雇用と労働＞
「老齢になっても働ける環境を作って欲しい。」
「働きたいのに働く場がない人間をなくしたい。」
「働きやすい職場づくりに力を入れてほしい。」
＜空港との共生＞
「国際線の誘致による集客効果、伊丹の活性化。」
「空港へのアクセスを増やしてほしい。」
「スカイパークをもっと活かしてほしいから。」

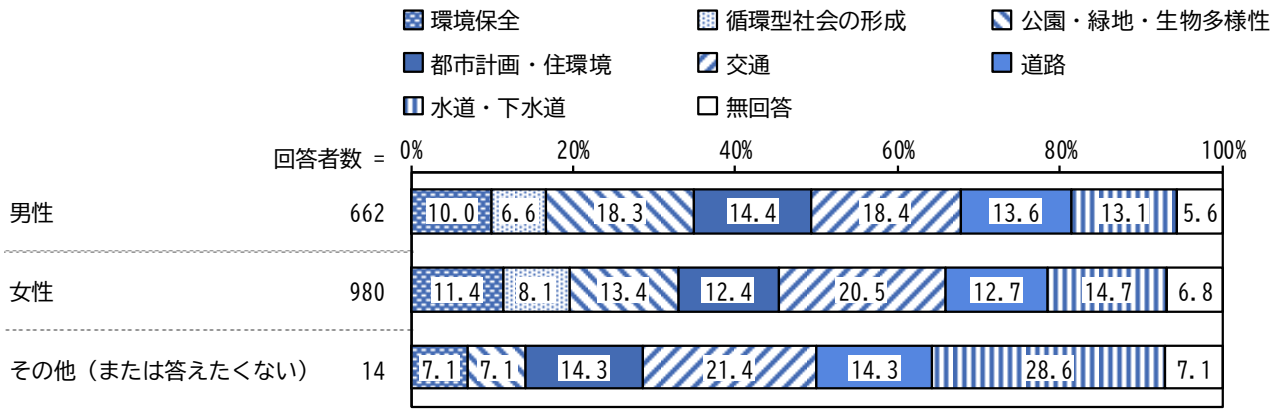
大綱５　環境・都市基盤

「交通」の割合が 19.6%と最も高く、次いで「公園・緑地・生物多様性」の割合が 15.3%、「水道・下水道」の割合が 14.3%となっています。



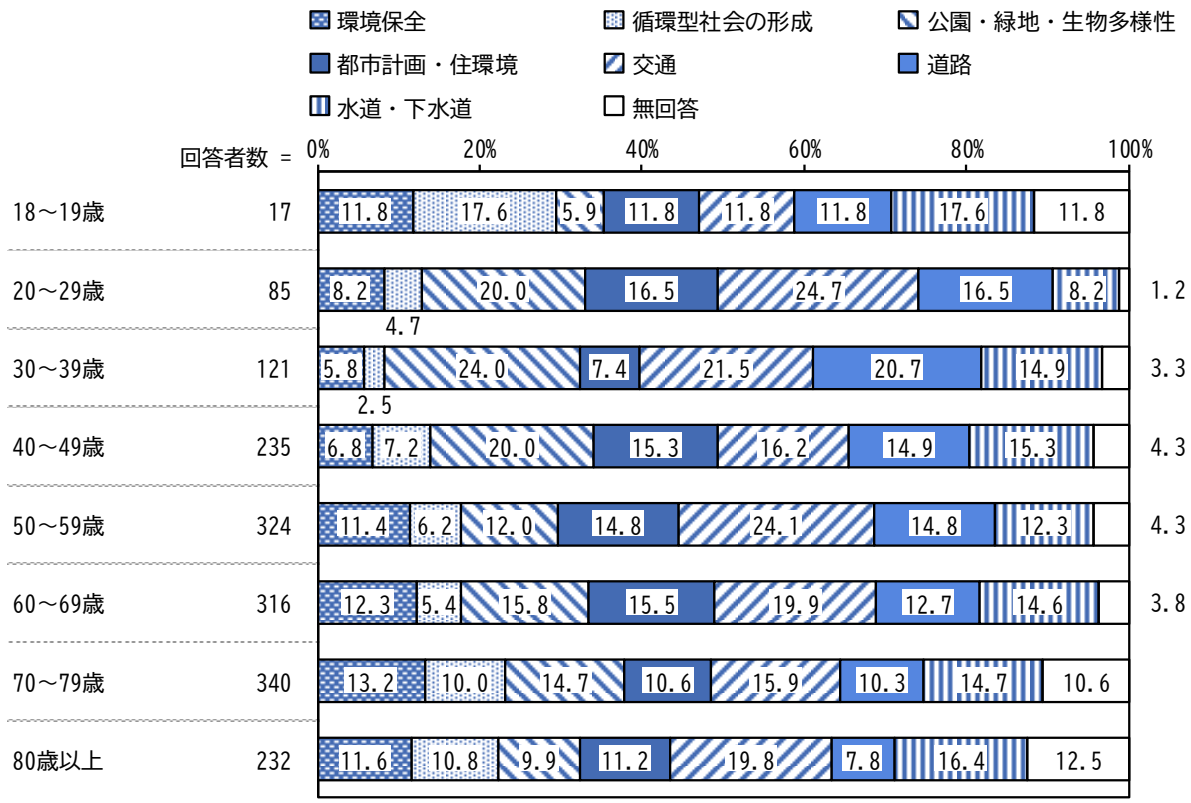
【性別】

性別にみると、男女ともに「交通」の割合が最も高く、次いで男性では「公園・緑地・生物多様性」、女性では「水道・下水道」が高くなっています。



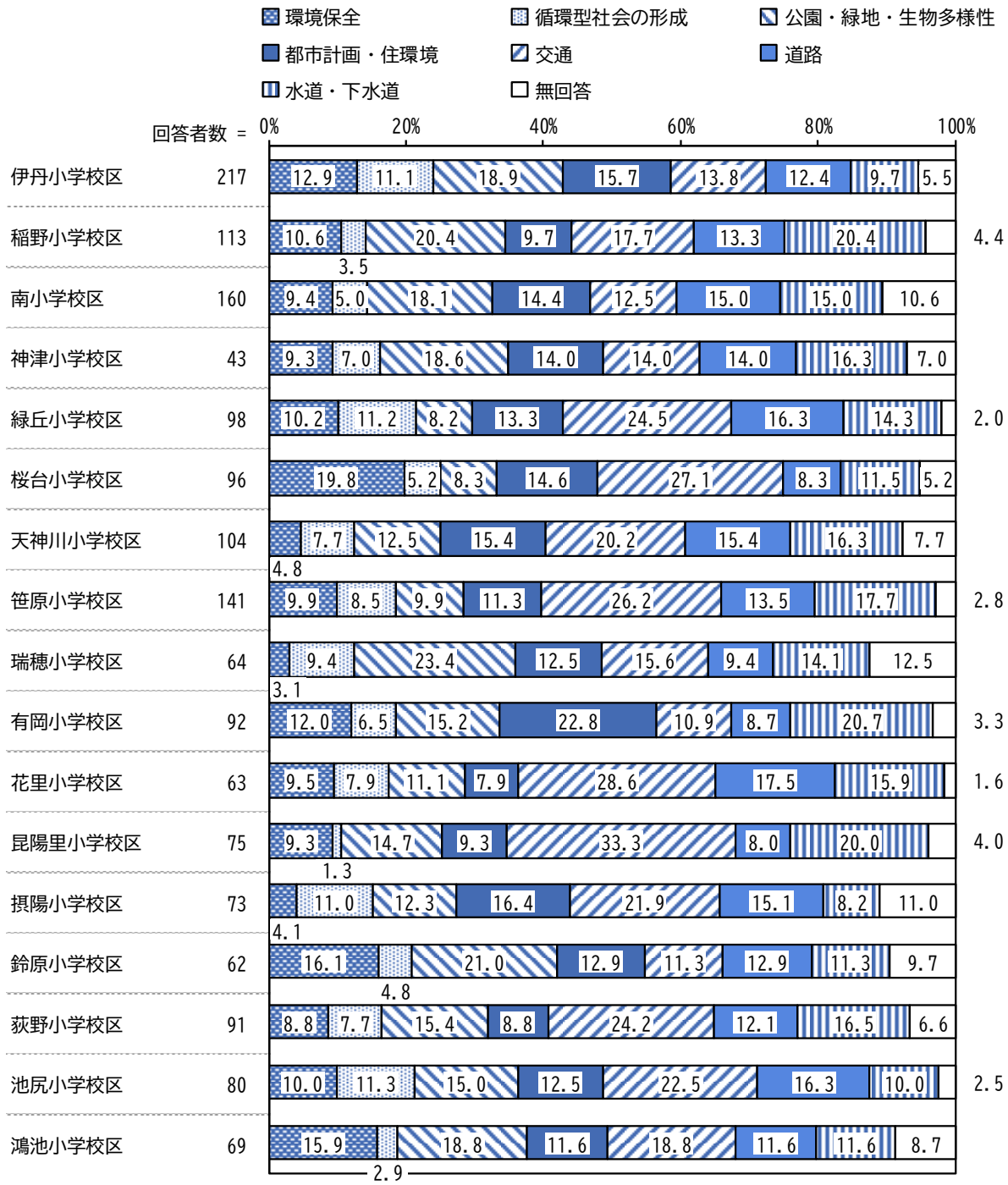
【年代別】

年代別にみると、「環境保全」は 70～79 歳、「循環型社会の形成」は 18～19 歳、「公園・緑地・生物多様性」は 30～39 歳で高くなっています。また、「都市計画・住環境」は 20～29 歳、「交通」は 20～29 歳、「道路」は 30～39 歳、「水道・下水道」は 18～19 歳で高くなっています。



【居住地域別】

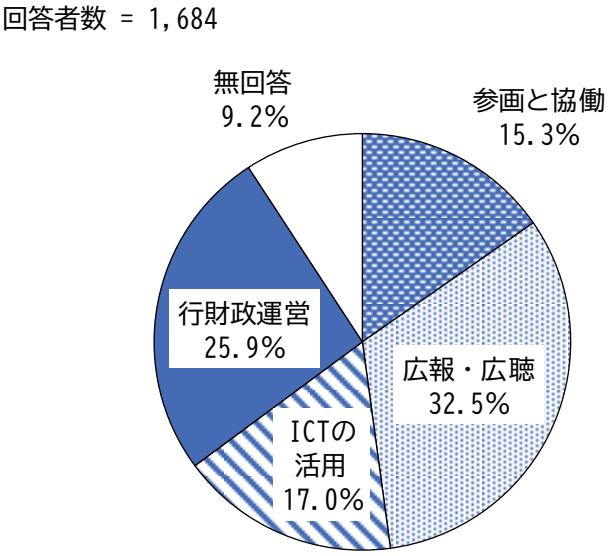
居住地域別にみると、「環境保全」は桜台小学校区、「公園・緑地・生物多様性」は瑞穂小学校区で高くなっています。また、「都市計画・住環境」は有岡小学校区、「交通」は昆陽里小学校区、「道路」は花里小学校区、「水道・下水道」は有岡小学校区で高くなっています。



【主な意見】
＜環境保全＞
「地球温暖化対策は「待ったなし」の段階だと思う。」
「環境保全が大切。」
「地球を次世代に手渡すために自分でできることがあれば動きたい。」
＜循環型社会の形成＞
「ごみを減らし、資源の大切さをもっと自覚してもらう取組を。」
「リサイクル・ものを大切に、再利用の循環。」
「ごみステーションまで行けない高齢の人の為の問題として各玄関先に置けるようにしてほしい。」
＜公園・緑地・生物多様性＞
「伊丹の緑を守っていって欲しい。」
「公園でサッカーやボール遊びが出来るような環境。」
「昆陽池や瑞ヶ池や大型公園の緑を守り、つどいやすい環境の持続をしてほしい。」
＜都市計画・住環境＞
「地震に備えたまちづくり。」
「新しい建物にばかり予算を配分するのではなく、既存の建物や施設の改修にお金をかけなければ古い施設が衰退するだけでなく、安全性も脅かされるため。」
「伊丹市として、今後、成長していくためのグランドデザインやマスタープランが必要。企業誘致など進めるうえで、どんなまちをめざすかわかりやすく、若者がワクワクするような行政計画が必要。」
＜交通＞
「もう少しバスの便を増やしてほしいと思う。」
「通勤で公共交通機関を使用する為、本数をもう少し増やして欲しい。バスを電車に合わせた時間にしていただきたい。」
「ミニバスや自動運転バス。」
＜道路＞
「自転車専用レーンの整備。」
「歩道を平にしてほしい！つぎはぎで波立っている。（夜は歩きにくい）。」
「通学路の安全を強化していただきたい。」
＜水道・下水道＞
「安全な水は健康に１番大事だと思う。」
「全国的にも、老朽化が不安視されているため。」
「最近の水害に対して、対応してほしいので。」

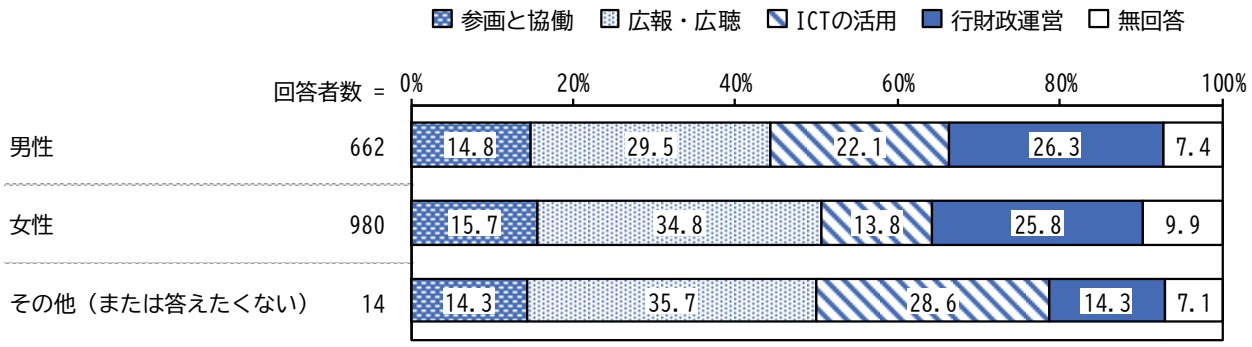
大綱６　参画と協働・行政経営

「広報・広聴」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「行財政運営」の割合が 25.9%、「ICT の活用」の割合が 17.0%となっています。



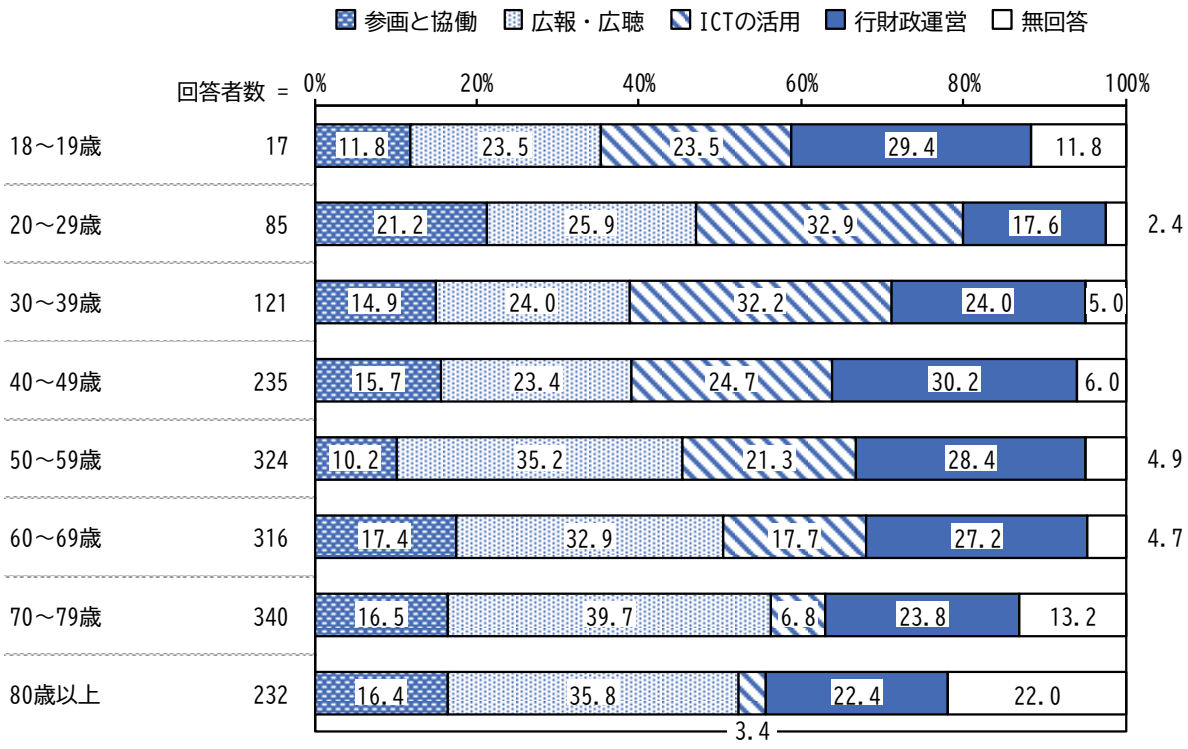
【性別】

性別にみると、男女とも「広報・広聴」の割合が最も高く、次いで「行財政運営」が高くなっています。



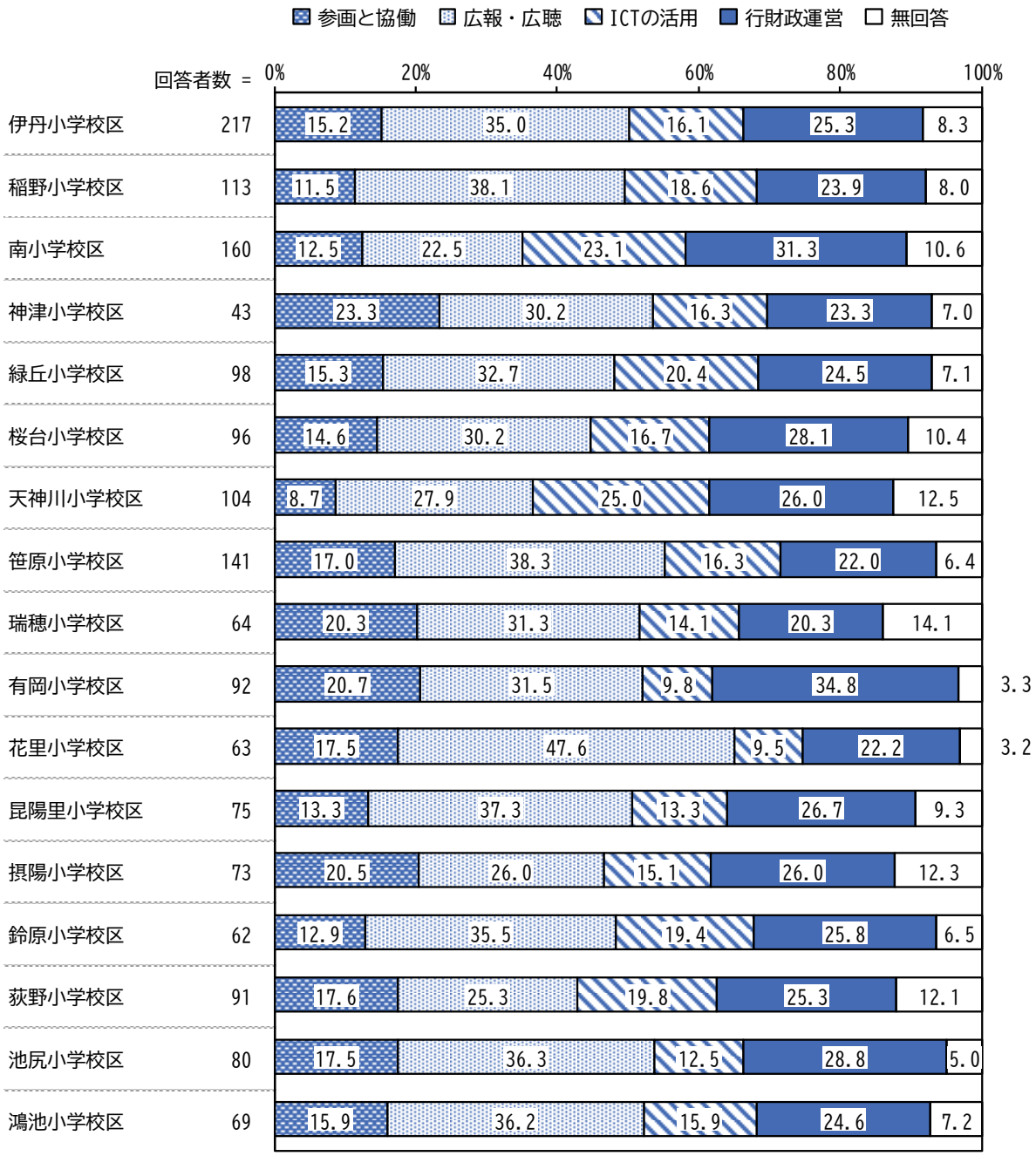
【年代別】

年代別にみると、「参画と協働」は 20～29 歳、「広報・広聴」は 70～79 歳で高くなっています。また、「ICT の活用」は 20～29 歳、「行財政運営」は 40～49 歳で高くなっています。



【居住地域別】

居住地域別にみると、「参画と協働」は神津小学校区、「広報・広聴」は花里小学校区で高くなっています。また、「ICT の活用」は天神川小学校区、「行財政運営」は有岡小学校区で高くなっています。

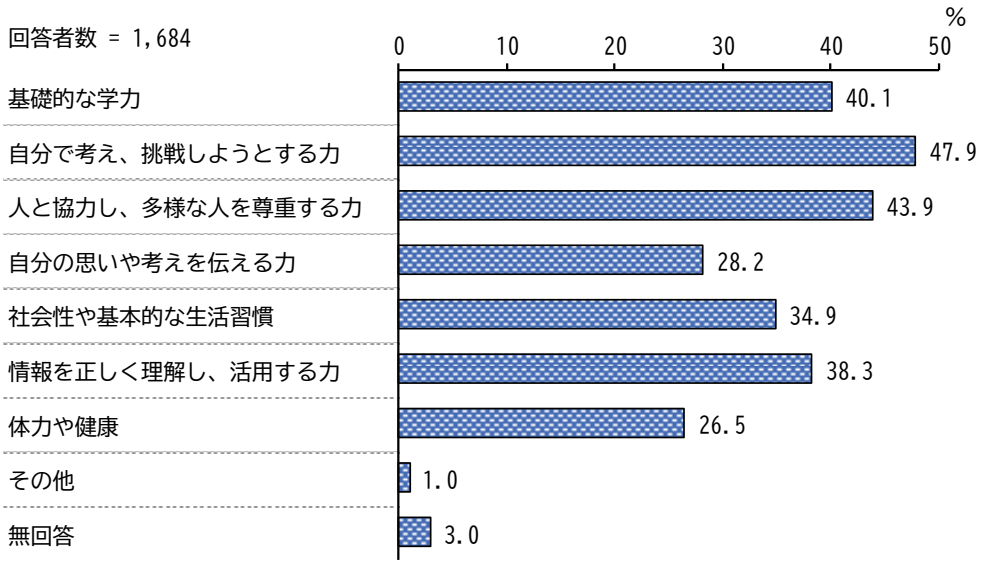


【主な意見】
＜参画と協働＞
「市民と行政が協力し共にまちづくりを進める。」
「このように、市民の意見を聞いてくださるのは大変ありがたいと思います。伊丹市民であるため、意見を出していますが無駄にせず取り入れていただけると幸いです。」
「若い世代の意見、要望をきいてほしい。」
＜広報・広聴＞
「今まで以上に広報紙をわかりやすくしてほしい。」
「デジタル技術には、ついていけない部分がありアナログの方法も併用してほしい。」
「市民の声をきいてくれるということで、印象も大分かわる。」
＜ICT の活用＞
「平日は仕事をしているので、申請関連は市役所に出向かずオンラインで完結できるのがありがたいです。」
「高齢者でもわかりやすいシステム作り。」
「マイナンバーカードの活用方法をもっと多くしてほしい。」
＜行財政運営＞
「財政が健全でないと施策の実行が出来ない。」
「必要なところに、必要な税金を使ってほしい。」
「少し貧しい人たちも多いと思うので支えて欲しいなと思います。」

3　これからの子どもたちを支える教育について

問６　社会が大きく変化する中、子どもたちが将来にわたって学び続けていくために、特に重要だと思う力は何ですか。（あてはまるもの３つまで○）

「自分で考え、挑戦しようとする力」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「人と協力し、多様な人を尊重する力」の割合が 43.9%、「基礎的な学力」の割合が 40.1%となっています。



【年代別】

年代別にみると、「自分で考え、挑戦しようとする力」は、18～59 歳の区分で最も高く、「人と協力し、多様な人を尊重する力」は 60 歳以上の区分で最も高い割合となっています。

また、「情報を正しく理解し、活用する力」は、18～19 歳、30～59 歳で比較的高い割合となっている一方で、「基礎的な学力」が 70 歳以上で高い割合になっているなど、年代によって重視する力に違いがみられます。

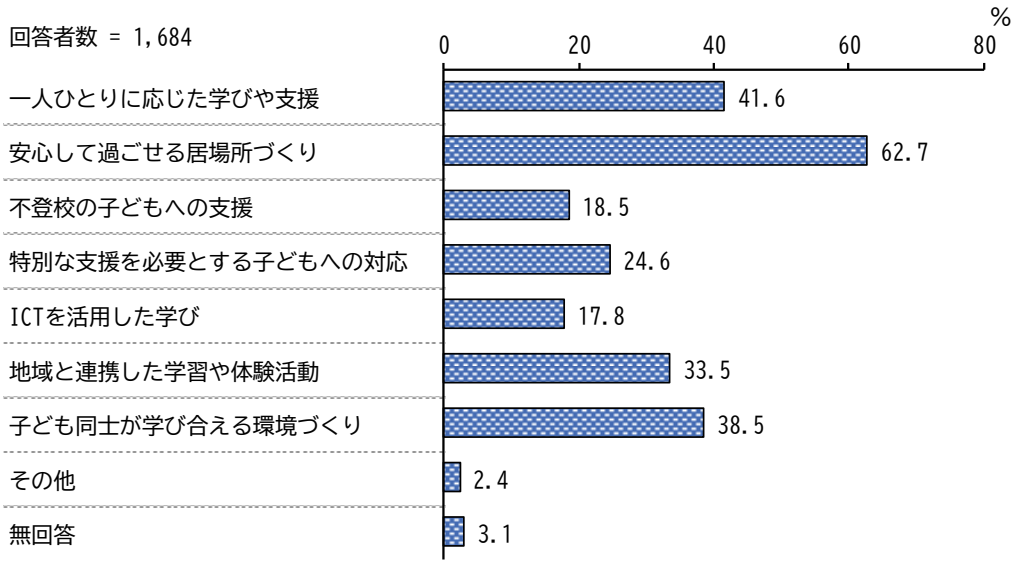
単位：%

区分	回答者数（件）	基礎的な学力	自分で考え、挑戦しようとする力	人と協力し、多様な人を尊重する力	自分の思いや考えを伝える力	社会性や基本的な生活習慣	情報を正しく理解し、活用する力	体力や健康	その他	無回答
全　体	1,684	40.1	47.9	43.9	28.2	34.9	38.3	26.5	1.0	3.0
18～19歳	17	52.9	70.6	23.5	17.6	29.4	58.8	17.6	0.0	0.0
20～29歳	85	40.0	45.9	43.5	29.4	41.2	40.0	23.5	2.4	0.0
30～39歳	121	39.7	57.9	41.3	36.4	29.8	46.3	19.8	1.7	0.0
40～49歳	235	36.6	59.6	43.0	37.0	28.9	44.7	23.4	0.9	0.9
50～59歳	324	41.4	54.3	44.1	29.6	29.9	46.6	22.2	0.0	0.6
60～69歳	316	39.6	47.5	48.7	26.6	40.5	34.2	25.6	1.6	2.2
70～79歳	340	44.1	38.5	44.7	23.8	41.8	30.6	34.4	1.2	3.8
80歳以上	232	35.8	35.3	40.9	22.0	31.0	32.3	31.0	0.4	10.3

比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

問７　子どもたちの状況や価値観が多様化する中、一人ひとりの子どもを支える教育として、特に重要だと思うことは何ですか。（あてはまるもの３つまで○）

「安心して過ごせる居場所づくり」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「一人ひとりに応じた学びや支援」の割合が 41.6%、「子ども同士が学び合える環境づくり」の割合が 38.5%となっています。



【年代別】

年代別にみると、「安心して過ごせる居場所づくり」は、いずれの年代でも比較的高く、30～39 歳では 76.0%となっています。また、「一人ひとりに応じた学びや支援」は、80 歳以上の 27.2%に対し 30～39 歳では 49.6%となっているなど、年代によって重視する内容に違いがみられます。

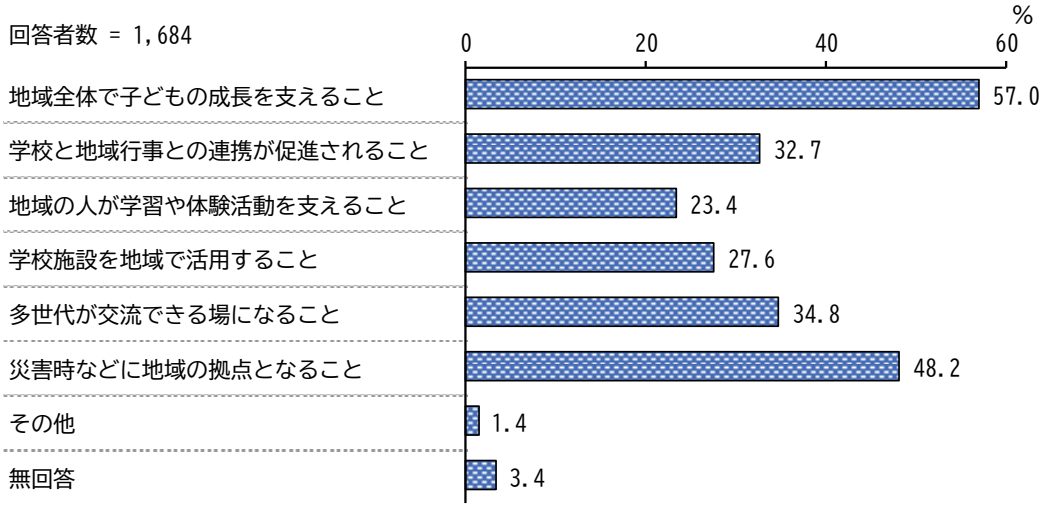
単位：%

区分	回答者数（件）	一人ひとりに応じた学びや支援	安心して過ごせる居場所づくり	不登校の子どもへの支援	特別な支援を必要とする子どもへの対応	ICTを活用した学び	地域と連携した学習や体験活動	子ども同士が学び合える環境づくり	その他	無回答
全　体	1,684	41.6	62.7	18.5	24.6	17.8	33.5	38.5	2.4	3.1
18～19歳	17	47.1	52.9	29.4	17.6	41.2	11.8	47.1	0.0	0.0
20～29歳	85	44.7	68.2	20.0	24.7	16.5	34.1	32.9	4.7	1.2
30～39歳	121	49.6	76.0	14.0	24.8	19.8	32.2	42.1	2.5	0.8
40～49歳	235	46.4	65.1	20.0	23.0	26.8	36.2	36.6	4.3	0.9
50～59歳	324	46.3	60.2	17.6	24.7	21.6	29.0	38.6	2.8	0.6
60～69歳	316	44.3	63.3	15.8	25.3	19.6	32.9	33.2	2.5	2.2
70～79歳	340	37.6	63.5	23.8	29.1	10.9	32.1	42.9	1.2	3.8
80歳以上	232	27.2	54.7	15.5	19.8	9.5	40.9	40.1	0.9	10.3

比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

問８　学校と地域との関わりについて重要だと思うことは何ですか。
（あてはまるもの３つまで○）

「地域全体で子どもの成長を支えること」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「災害時などに地域の拠点となること」の割合が 48.2%、「多世代が交流できる場になること」の割合が 34.8%となっています。



【年代別】

年代別にみると、「地域全体で子どもの成長を支えること」及び「災害時などに地域の拠点となること」は、いずれの年代でも高い割合となっており、世代を問わず重視されていることがうかがえます。

一方、「地域の人が学習や体験活動を支えること」は 80 歳以上の 15.9%に対し 20～29 歳では 34.1%、「学校施設を地域で活用すること」は 80 歳以上の 20.7%に対し 40～49 歳では 33.6%となるなど、具体的な地域との関わり方については年代による違いもみられます。

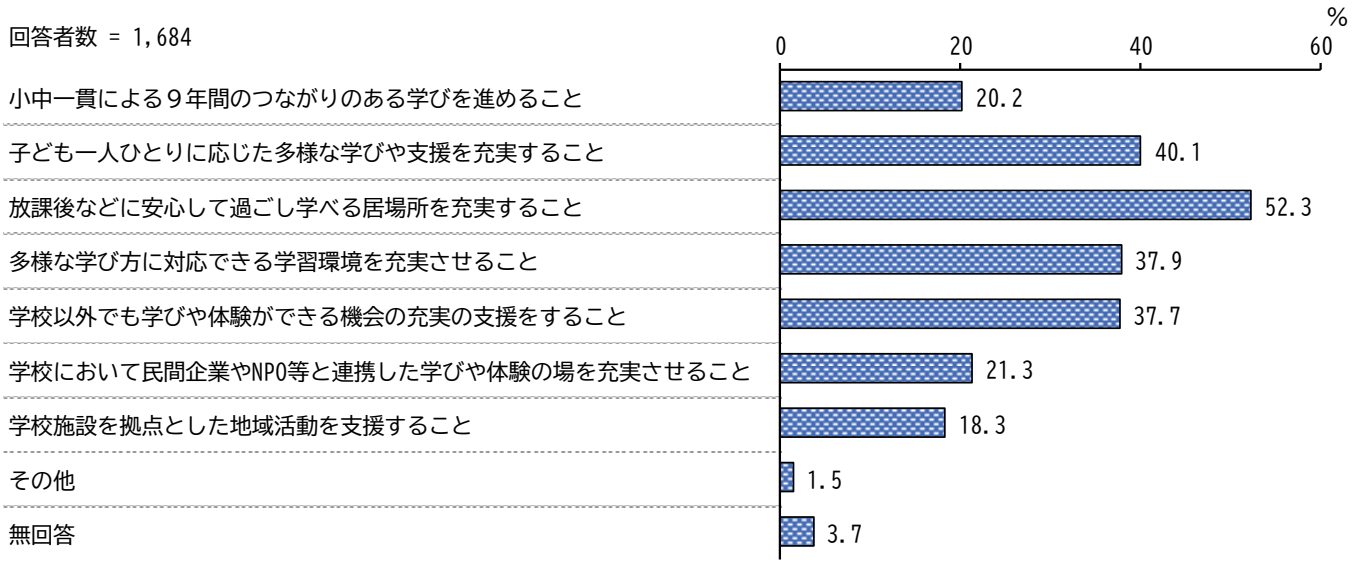
単位：%

区分	回答者数（件）	地域全体で子どもの成長を支えること	学校と地域行事との連携が促進されること	地域の人が学習や体験活動を支えること	学校施設を地域で活用すること	多世代が交流できる場になること	災害時などに地域の拠点となること	その他	無回答
全　体	1,684	57.0	32.7	23.4	27.6	34.8	48.2	1.4	3.4
18～19歳	17	64.7	58.8	17.6	23.5	29.4	41.2	0.0	0.0
20～29歳	85	55.3	36.5	34.1	21.2	30.6	42.4	0.0	1.2
30～39歳	121	59.5	44.6	29.8	33.1	28.1	47.1	0.0	0.0
40～49歳	235	62.6	34.0	28.1	33.6	29.8	49.8	3.0	0.9
50～59歳	324	55.2	30.9	25.3	28.1	39.5	49.4	0.9	0.6
60～69歳	316	57.3	28.8	19.9	29.4	38.6	45.3	1.6	3.2
70～79歳	340	56.5	32.6	22.6	25.0	33.2	54.1	1.8	4.4
80歳以上	232	54.3	29.7	15.9	20.7	36.2	44.0	1.3	10.8

比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

問９　少子化や社会環境の変化が進む中、これからの子どもたち一人ひとりの育ちや学びを支えるため、教育に必要だと思う取組は何ですか。（あてはまるもの３つまで○）

「放課後などに安心して過ごし学べる居場所を充実すること」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「子ども一人ひとりに応じた多様な学びや支援を充実すること」の割合が 40.1%、「多様な学び方に対応できる学習環境を充実させること」の割合が 37.9%となっています。



【年代別】

年代別にみると、「放課後などに安心して過ごし学べる居場所を充実すること」は、全年代で最も高い割合となっています。また、「子ども一人ひとりに応じた多様な学びや支援を充実すること」についても幅広い年代で高い割合となっています。

その他、「学校以外でも学びや体験ができる機会の充実の支援をすること」について、18～39 歳で 45%を超えるなど、比較的若い年代で高い傾向がみられます。

単位：%

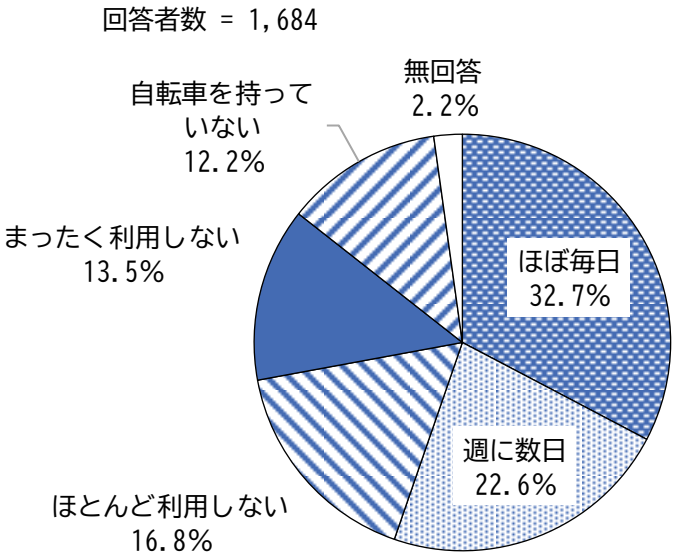
区分	回答者数（件）	小中一貫による９年間のつながりのある学びを進めること	子ども一人ひとりに応じた多様な学びや支援を充実すること	放課後などに安心して過ごし学べる居場所を充実すること	多様な学び方に対応できる学習環境を充実させること	学校以外でも学びや体験ができる機会の充実の支援をすること	学校において民間企業やNPO等と連携した学びや体験の場を充実させること	学校施設を拠点とした地域活動を支援すること	その他	無回答
全　体	1,684	20.2	40.1	52.3	37.9	37.7	21.3	18.3	1.5	3.7
18～19歳	17	35.3	47.1	64.7	47.1	47.1	11.8	11.8	0.0	0.0
20～29歳	85	20.0	47.1	55.3	35.3	45.9	16.5	9.4	1.2	2.4
30～39歳	121	18.2	47.9	59.5	45.5	46.3	14.0	14.0	1.7	0.8
40～49歳	235	21.3	42.1	51.1	45.1	43.4	23.4	15.3	2.6	1.3
50～59歳	324	13.0	45.1	50.6	38.6	37.3	25.6	20.1	1.2	0.9
60～69歳	316	19.0	41.5	54.7	42.1	33.5	22.5	16.8	1.6	2.8
70～79歳	340	24.7	34.4	52.9	32.6	39.7	22.9	19.7	1.8	4.1
80歳以上	232	25.0	31.9	46.6	28.4	27.6	15.9	25.4	0.4	11.2

比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

4　交通規範意識と自転車レーンについて

問 10　普段どのくらい自転車を利用しますか。（○は１つ）

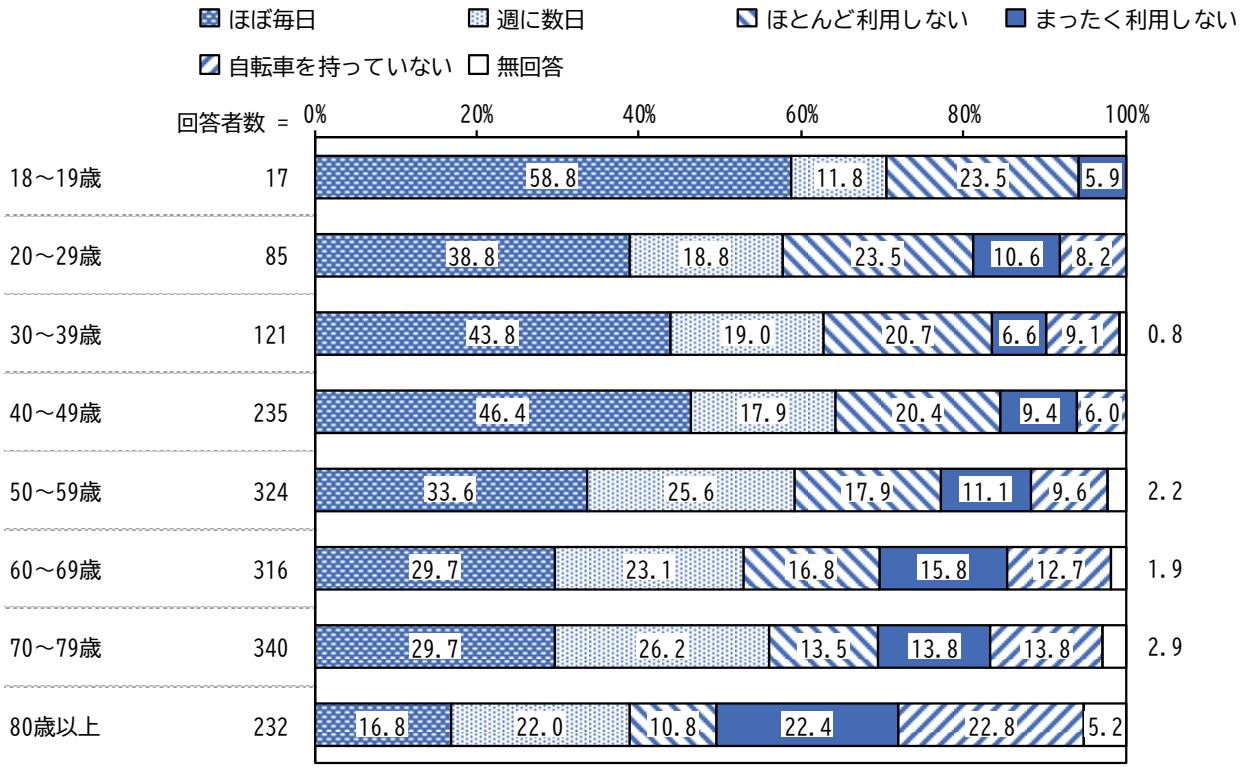
「ほぼ毎日」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「週に数日」の割合が 22.6%、「ほとんど利用しない」の割合が 16.8%となっています。



【年代別】

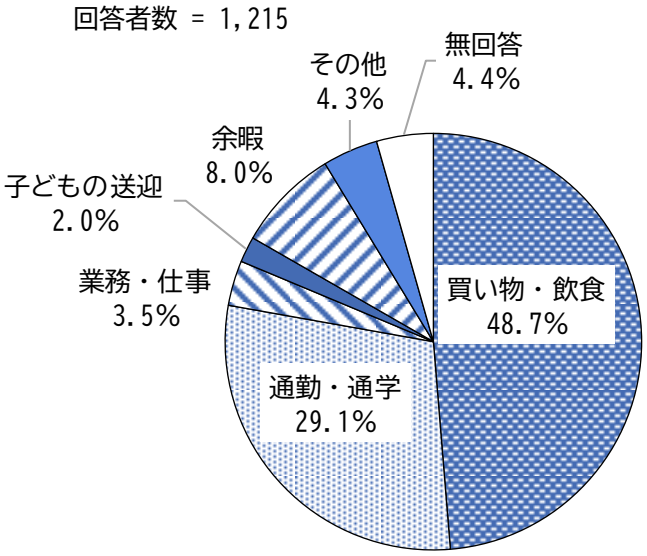
年代別にみると、「ほぼ毎日」は 80 歳以上を除く全ての年代で、最も高い割合となっています。

また、80 歳以上を除いた全ての年代で、「ほぼ毎日」「週に数日」を合わせた合計が 50.0%以上となっています。



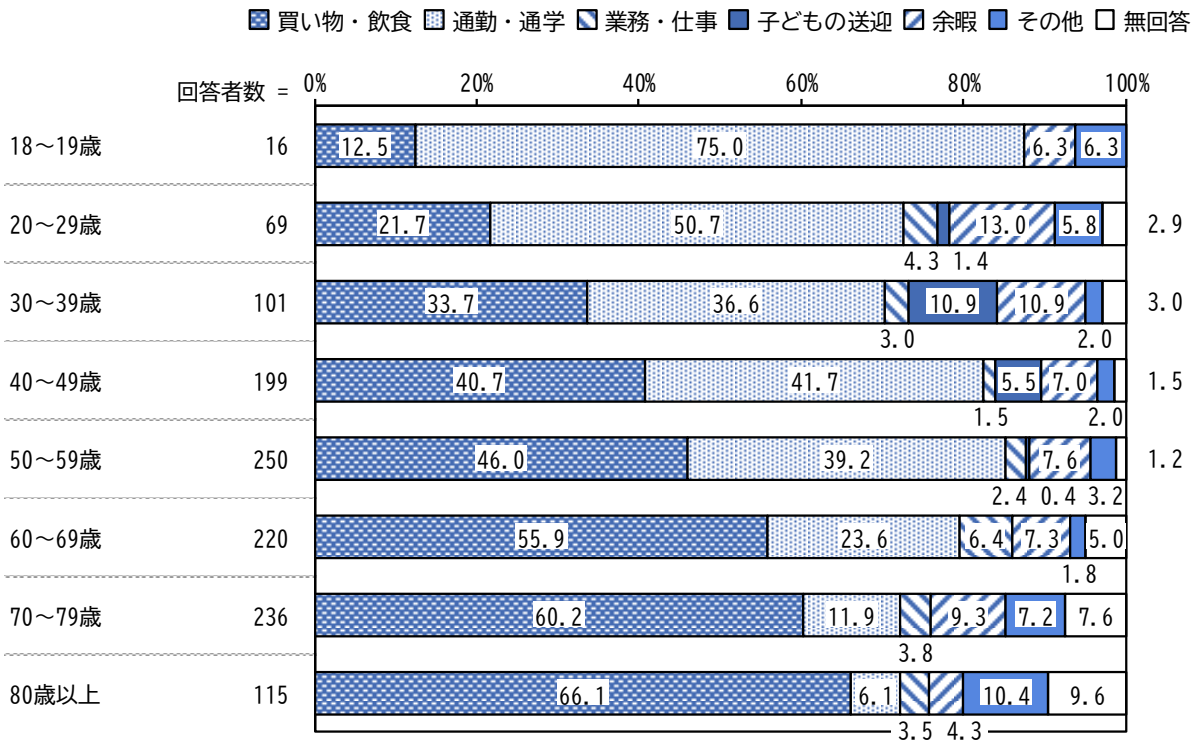
問 11　主に、どのようなときに自転車を利用しますか。（○は１つ）

「買い物・飲食」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「通勤・通学」の割合が 29.1%となっています。



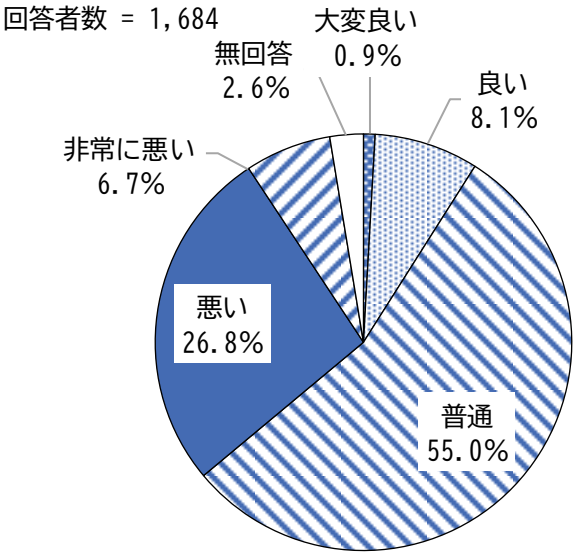
【年代別】

年代別にみると、「買い物・飲食」は 18～19 歳で 12.5%、80 歳以上で 66.1%と年代が上がるほど高くなっています。一方、「通勤・通学」は 80 歳以上で 6.1%、18～19 歳で 75.0%となり若い年代ほど高い傾向にあります。



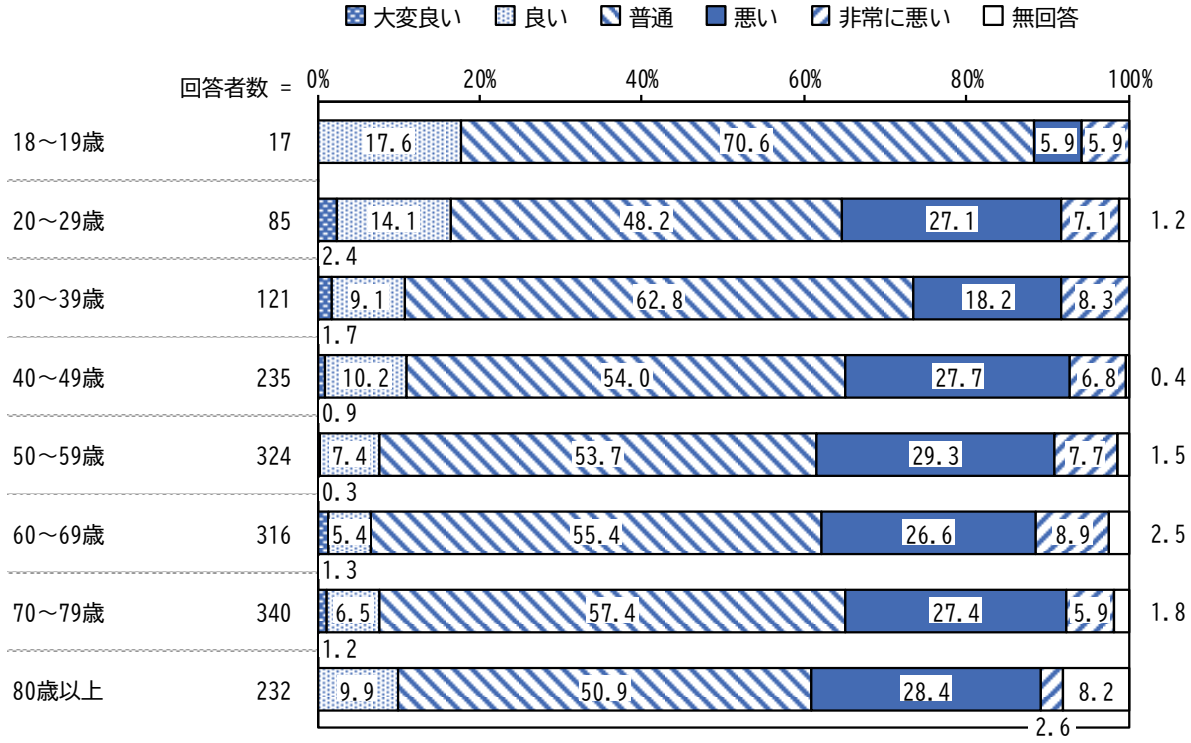
問 12　本市の自転車利用者のマナーについて伺います。（○は１つ）

「大変良い」「良い」を合わせた“良い”の割合が 9.0%、「悪い」「非常に悪い」を合わせた“悪い”の割合が 33.5%となっています。



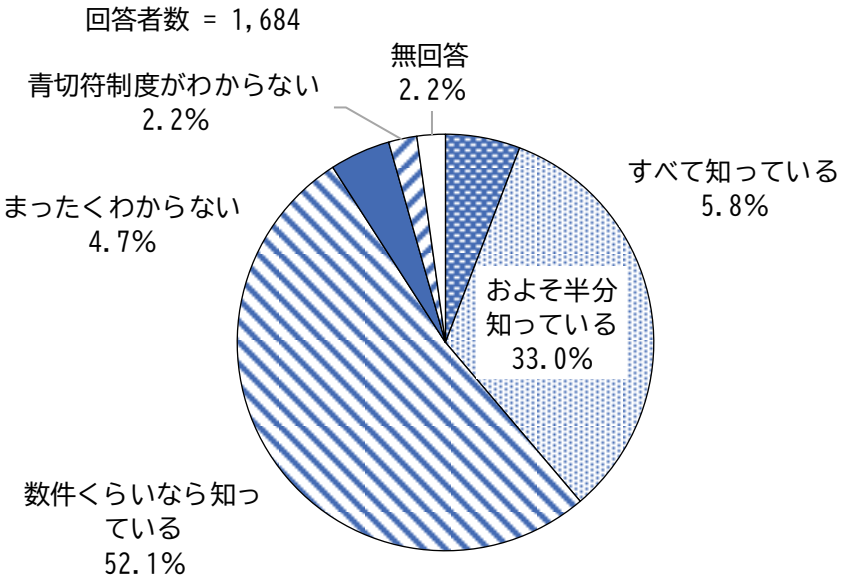
【年代別】

年代別にみると、「悪い」「非常に悪い」を合わせた割合は、50～59 歳で 37.0%と最も高く、多くの年代で 30.0%を超えています。



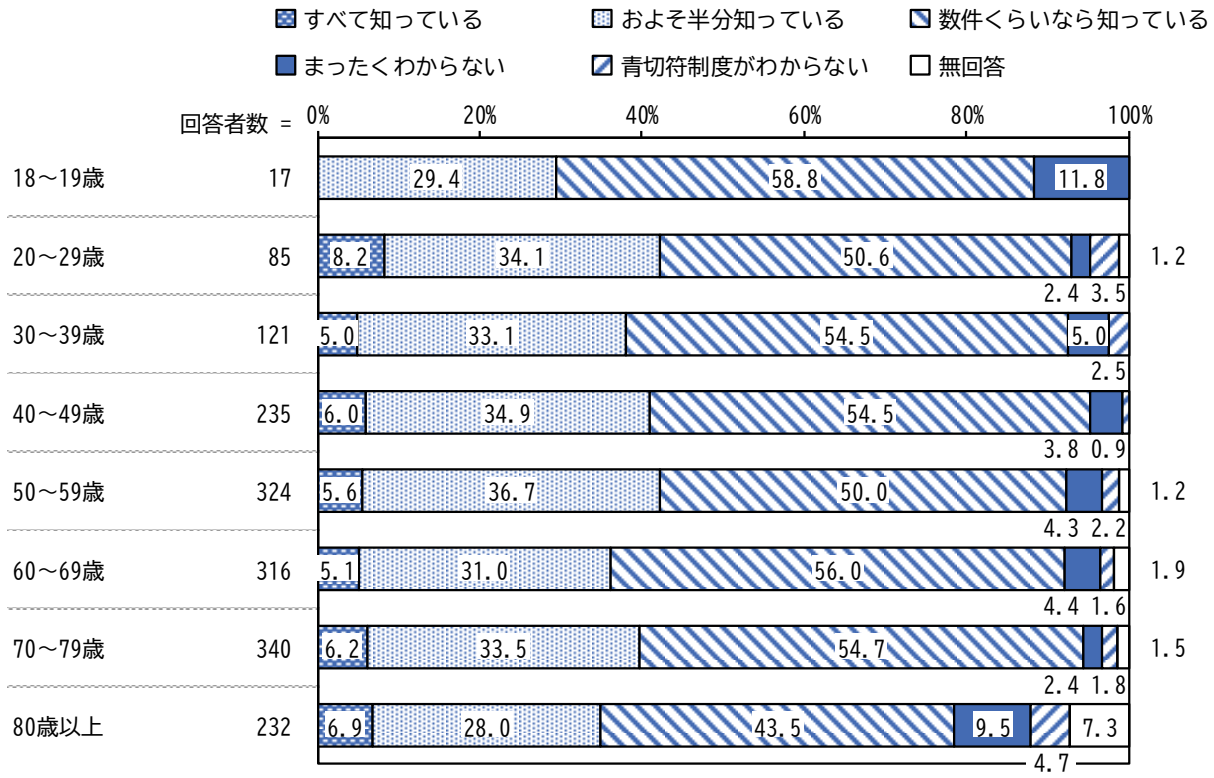
問 13　令和８年４月１日より開始された自転車に対する交通反則通告制度（いわゆる「青切符」）では、113 種類の違反行為が対象となりましたが、どの程度知っていますか。（○は１つ）

「数件くらいなら知っている」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「およそ半分知っている」の割合が 33.0%となっています。



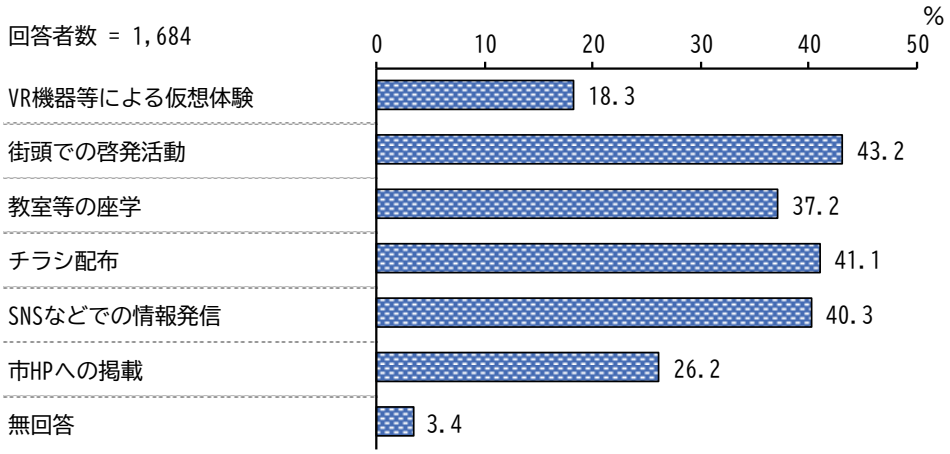
【年代別】

年代別にみると、「数件くらいなら知っている」「まったくわからない」「青切符制度がわからない」を合わせた割合は、全ての年代で 50.0%を超えています。



問 14　交通反則通告制度をはじめ自転車を取り巻く環境やルールが変化していく中、「交通安全」についてどのような手段で周知・啓発することが有効だと考えますか。
（○は３つまで）

「街頭での啓発活動」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「チラシ配布」の割合が 41.1%、「SNS などでの情報発信」の割合が 40.3%となっています。



【年代別】

年代別にみると、「街頭での啓発活動」は 60 歳以上で最も高い割合となっている一方、「SNS などでの情報発信」は 18～59 歳で最も高い割合となっています。

また、令和８年度より取り組んでいる「VR 機器等による仮想体験」は 18～19 歳で 23.5%と若い年代で高い傾向にあります。

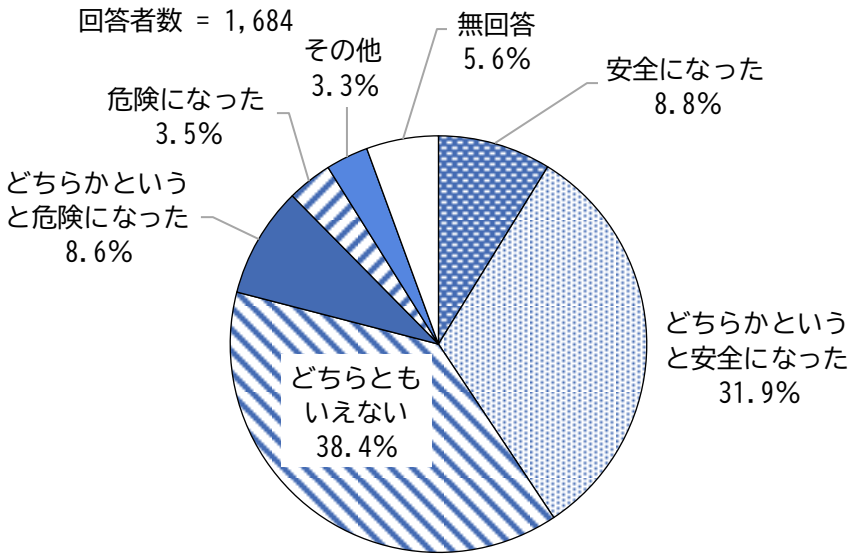
単位：%

区分	回答者数（件）	VR機器等による仮想体験	街頭での啓発活動	教室等の座学	チラシ配布	SNSなどでの情報発信	市HPへの掲載	無回答
全　体	1,684	18.3	43.2	37.2	41.1	40.3	26.2	3.4
18～19歳	17	23.5	35.3	41.2	17.6	58.8	23.5	0.0
20～29歳	85	20.0	27.1	38.8	47.1	50.6	22.4	1.2
30～39歳	121	16.5	34.7	39.7	34.7	64.5	11.6	0.0
40～49歳	235	21.7	37.4	48.5	37.9	51.1	19.6	0.0
50～59歳	324	22.2	36.7	38.0	46.3	50.0	25.3	0.9
60～69歳	316	18.7	42.4	36.4	41.8	39.2	29.7	2.5
70～79歳	340	15.3	55.9	37.4	42.1	27.6	34.1	2.6
80歳以上	232	12.5	51.3	23.3	37.9	18.5	26.7	14.7

問 15　本市では自転車専用通行帯（自転車レーン等）の整備（歩行者と分離）を進めており、安全性について教えてください。

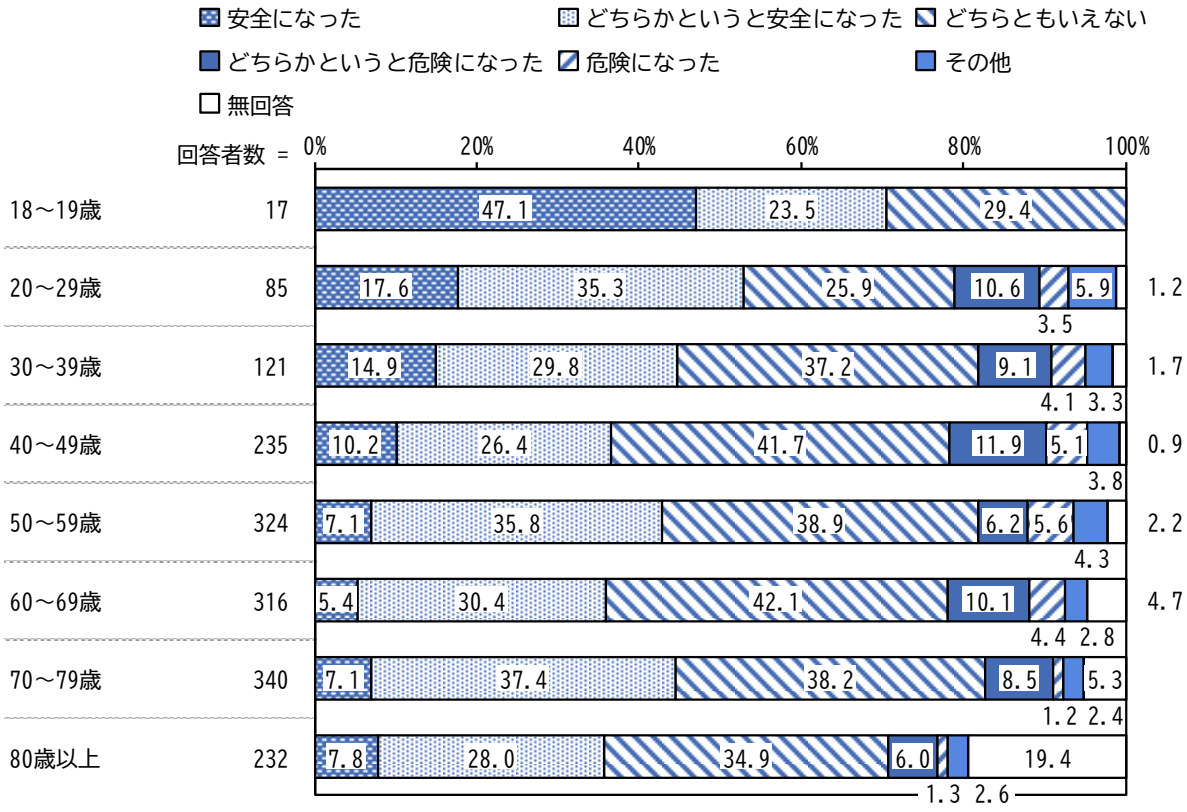
①自転車利用者の立場でお答えください。（○は１つ）

「安全になった」「どちらかというと安全になった」を合わせた“安全になった”の割合が 40.7%、「どちらかというと危険になった」「危険になった」を合わせた“危険になった”の割合が 12.1%となっています。



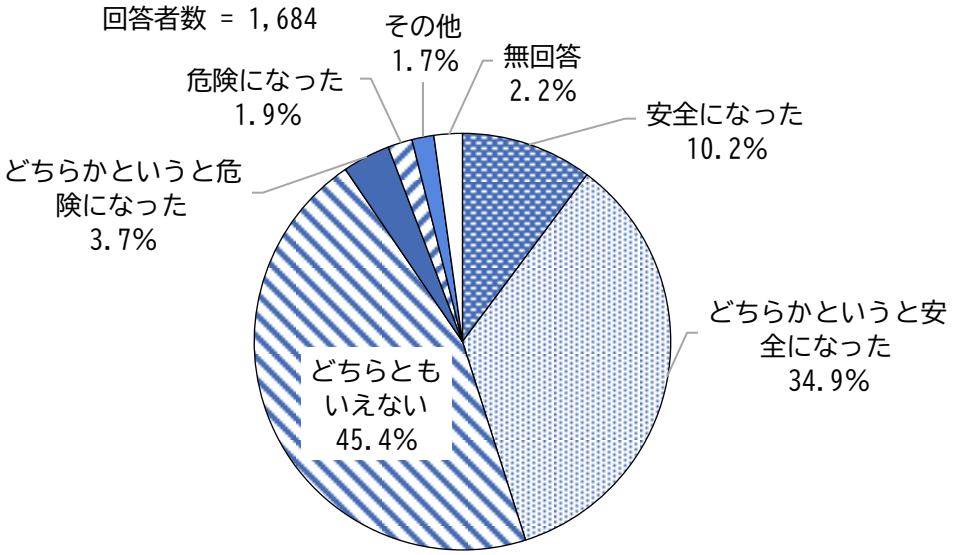
【年代別】

年代別にみると、「安全になった」の割合は 18～19 歳で 47.1%、20～29 歳で 17.6%、60 歳以上で 5.4%～7.8%となり、若い年代ほど高い傾向にあります。



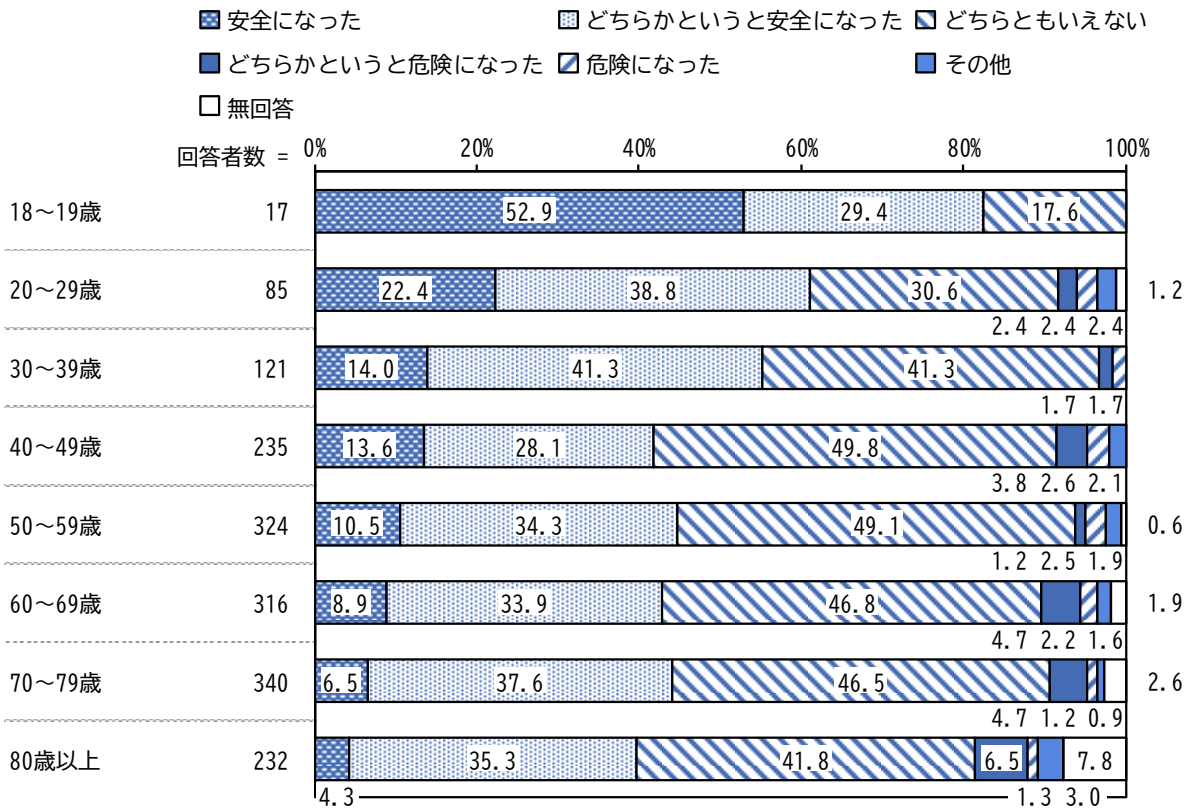
②歩行者の立場でお答えください。（○は１つ）

「安全になった」「どちらかというと安全になった」を合わせた“安全になった”の割合が 45.1%、「どちらかというと危険になった」「危険になった」を合わせた“危険になった”の割合が 5.6%となっています。



【年代別】

年代別にみると、「安全になった」の割合は 18～19 歳で 52.9%、20～29 歳で 22.4%、80 歳以上で 4.3%となり、若い年代ほど高い傾向にあります。

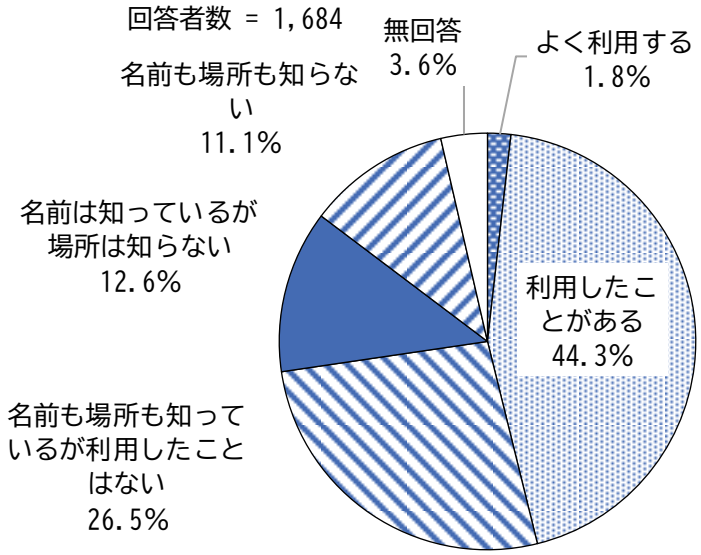


5　施設の利用状況などについて

問 16　各施設を知っていますか、また利用頻度について教えてください。
（施設ごとに○は１つ）

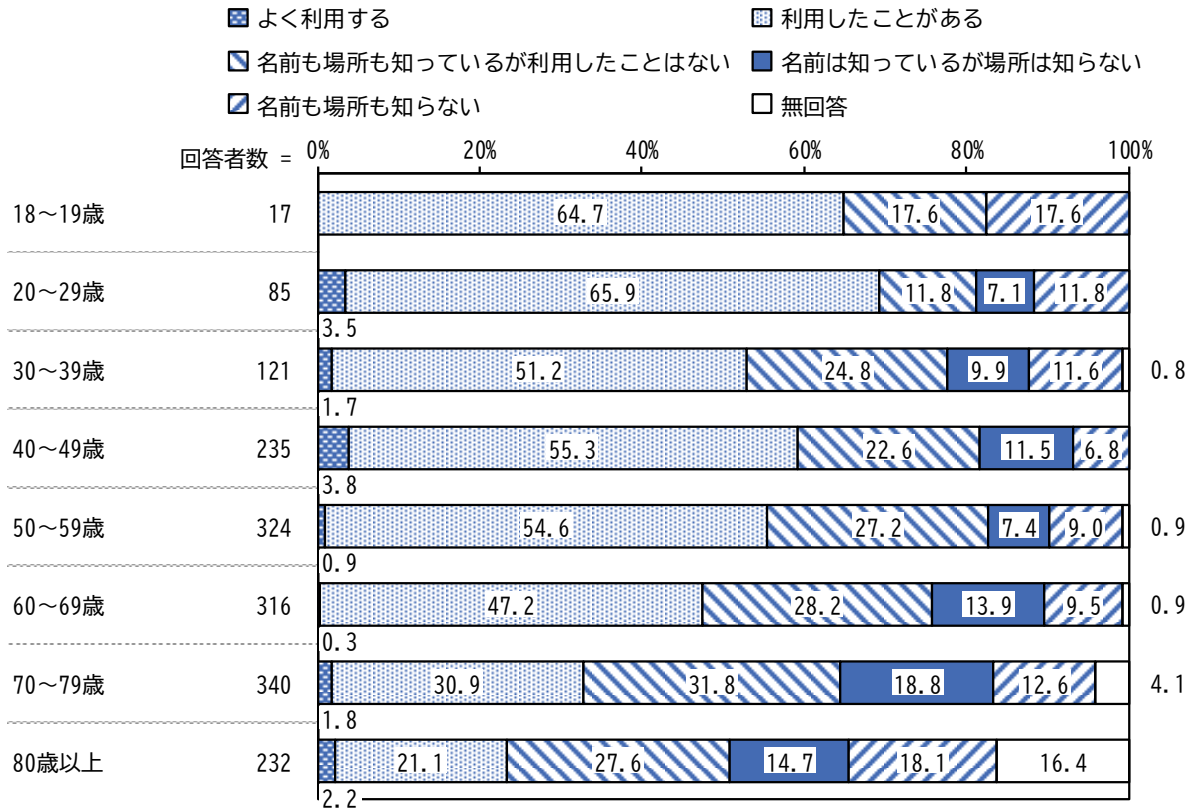
こども文化科学館

「利用したことがある」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「名前も場所も知っているが利用したことはない」の割合が 26.5%、「名前は知っているが場所は知らない」の割合が 12.6%となっています。



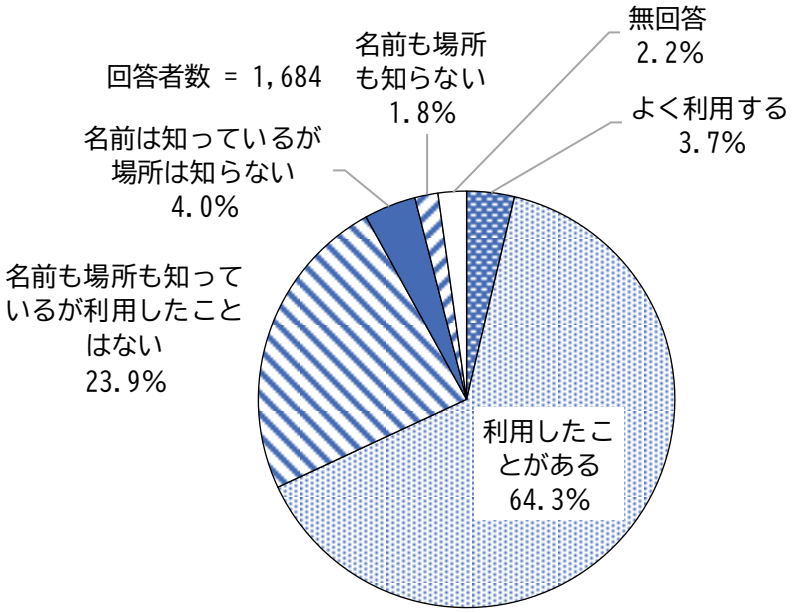
【年代別】

年代別にみると、「名前も場所も知っているが利用したことはない」は 20～29 歳で 11.8%、70～79 歳で 31.8%と高い年代で増える傾向にあります。また、「名前も場所も知らない」は 40～49 歳で 6.8%、80 歳以上で 18.1%と高くなる一方、「利用したことがある」は 40～49 歳で 55.3%、80 歳以上で 21.1%と低くなっています。



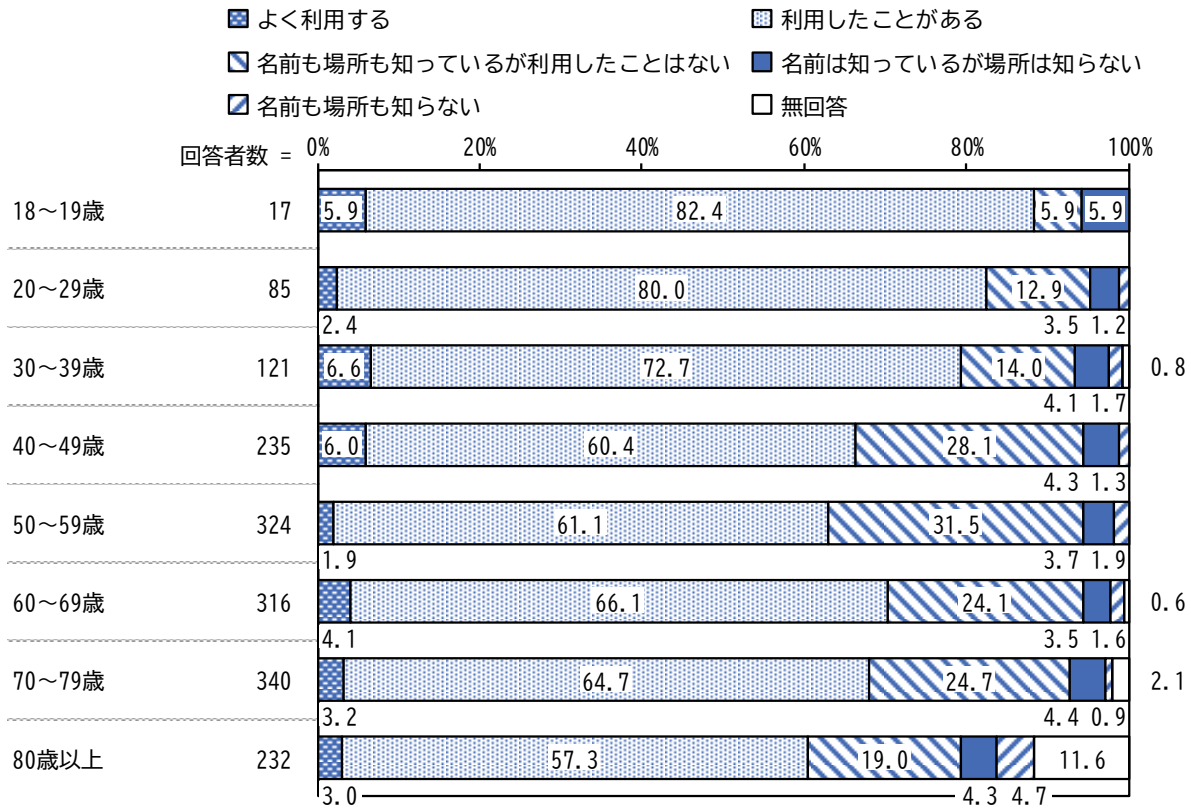
昆虫館

「利用したことがある」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「名前も場所も知っているが利用したことはない」の割合が 23.9%となっています。



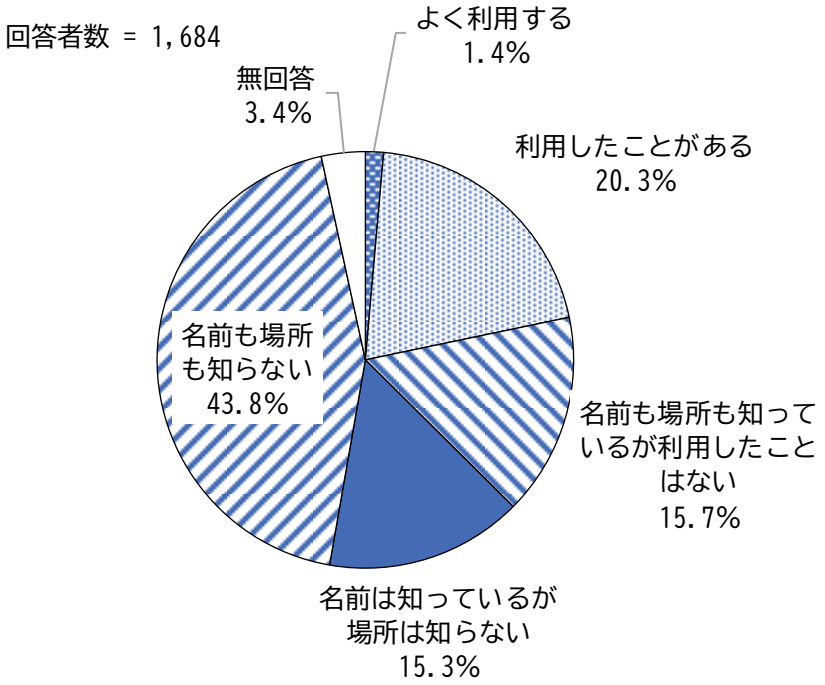
【年代別】

年代別にみると、「よく利用する」「利用したことがある」を合わせた割合は、全ての年代で 60.0%以上となっています。



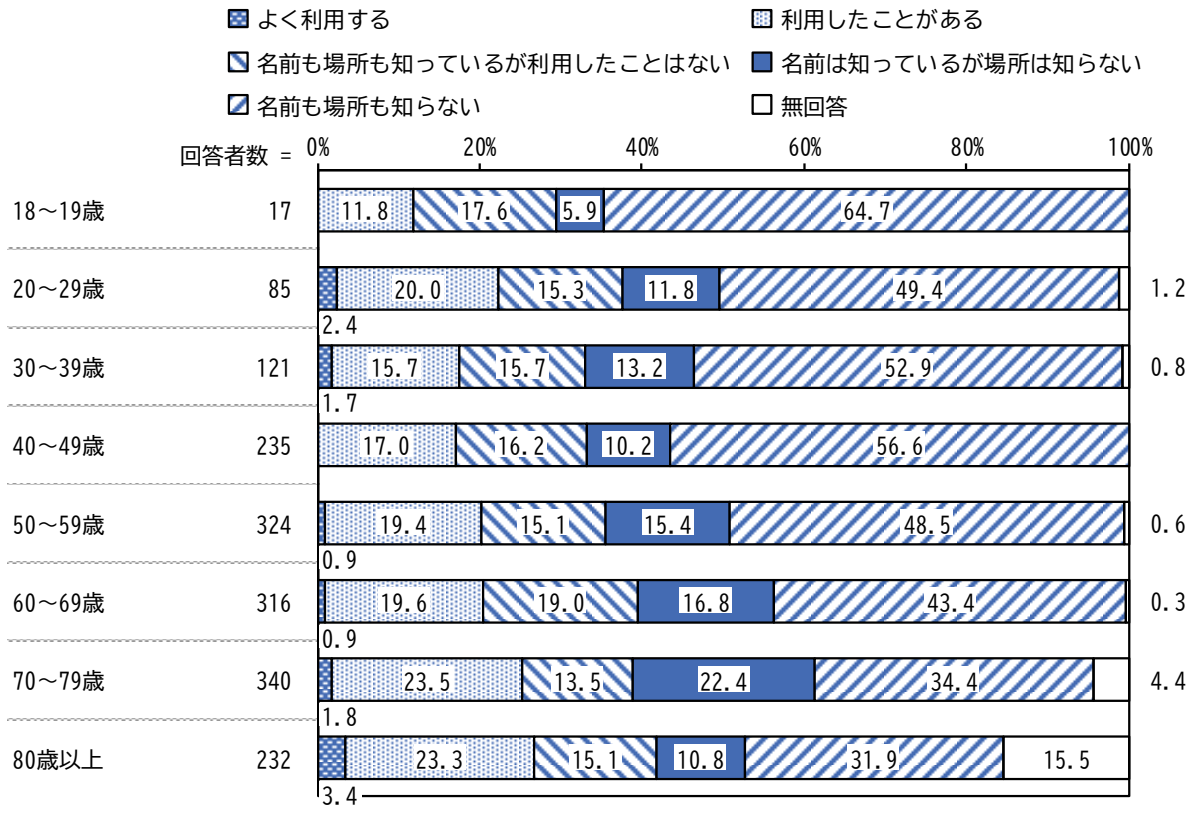
みどりのプラザ

「名前も場所も知らない」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「利用したことがある」の割合が 20.3%、「名前も場所も知っているが利用したことはない」の割合が 15.7%となっています。



【年代別】

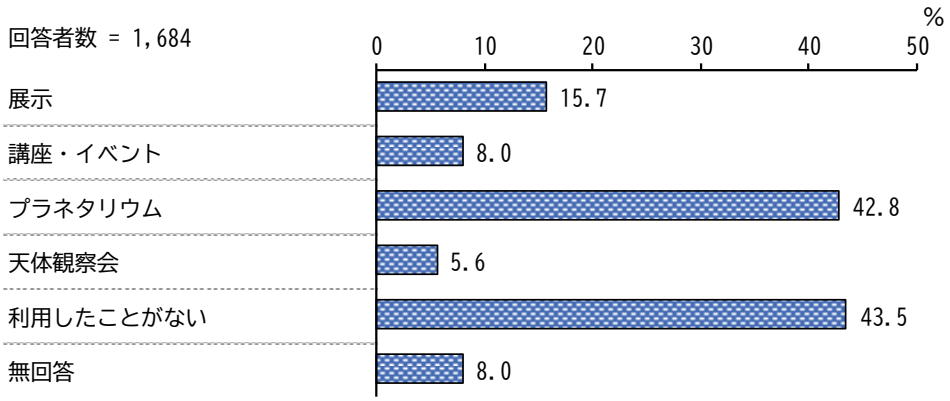
年代別にみると、どの年代も「名前も場所も知らない」が最も高い割合となっています。一方で、「利用したことがある」は、年代が上がるほど、高くなる傾向があります。



問 17　施設を利用した目的はなんですか。（施設ごとに○はいくつでも）

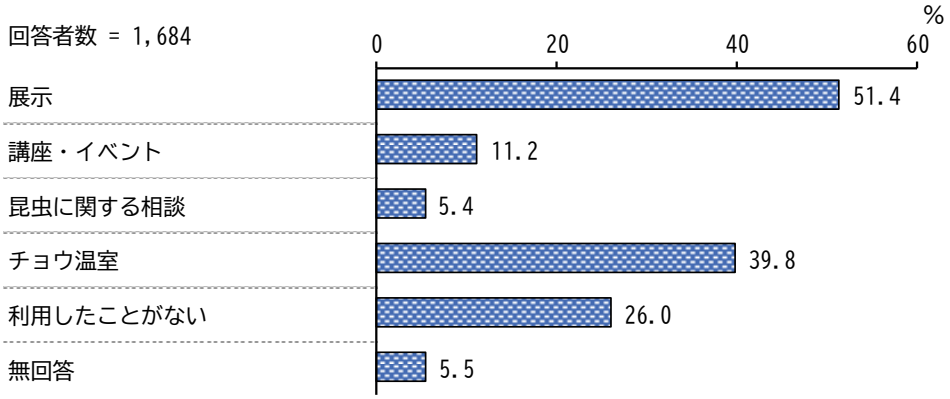
こども文化科学館

「利用したことがない」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「プラネタリウム」の割合が 42.8%、「展示」の割合が 15.7%となっています。



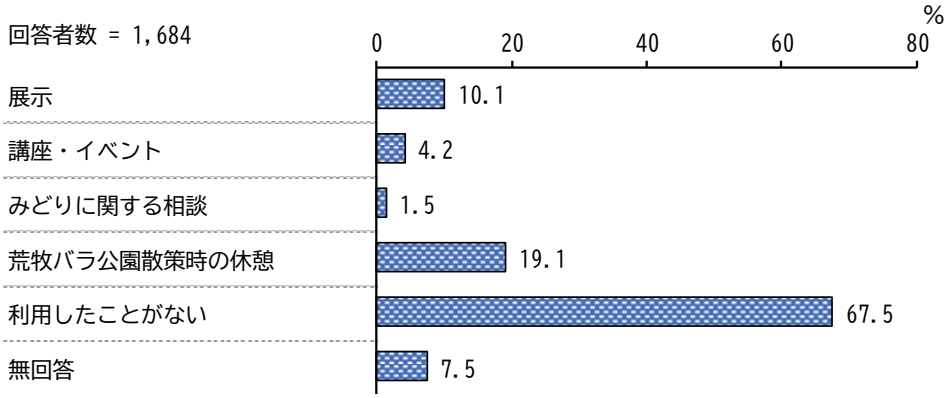
昆虫館

「展示」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「チョウ温室」の割合が 39.8%、「利用したことがない」の割合が 26.0%となっています。



みどりのプラザ

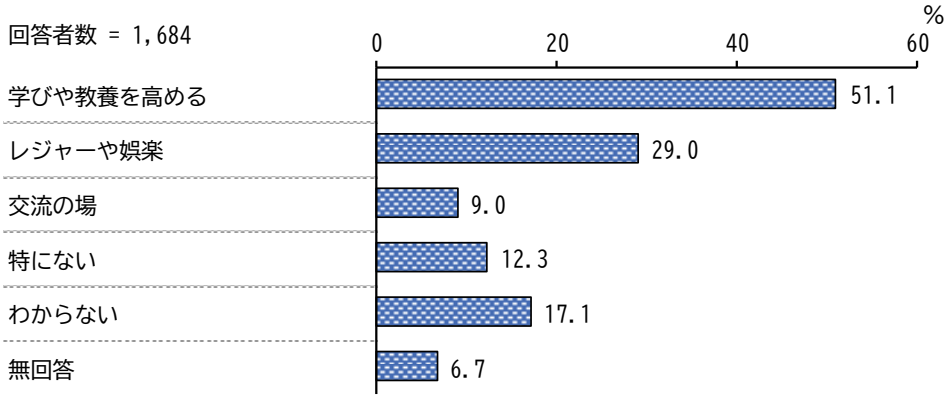
「利用したことがない」の割合が 67.5%と最も高く、次いで「荒牧バラ公園散策時の休憩」の割合が 19.1%、「展示」の割合が 10.1%となっています。



問 18　施設に期待することはなんですか。（施設ごとに○はいくつでも）

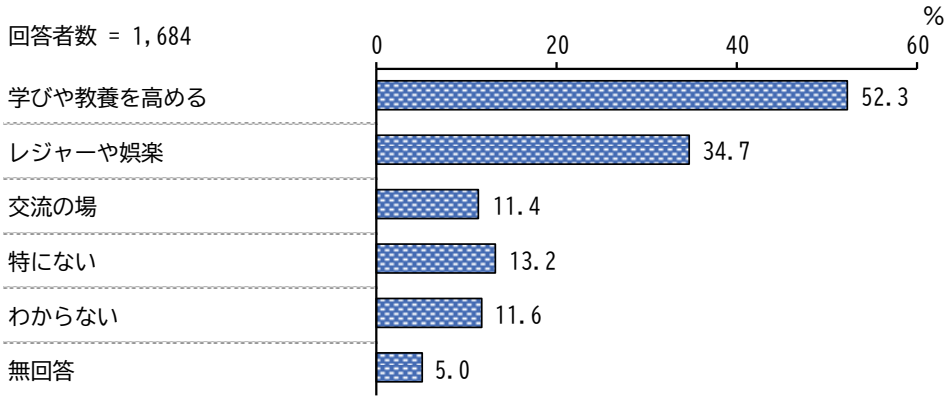
こども文化科学館

「学びや教養を高める」の割合が 51.1%、「レジャーや娯楽」の割合が 29.0%、「交流の場」の割合が 9.0%となっています。



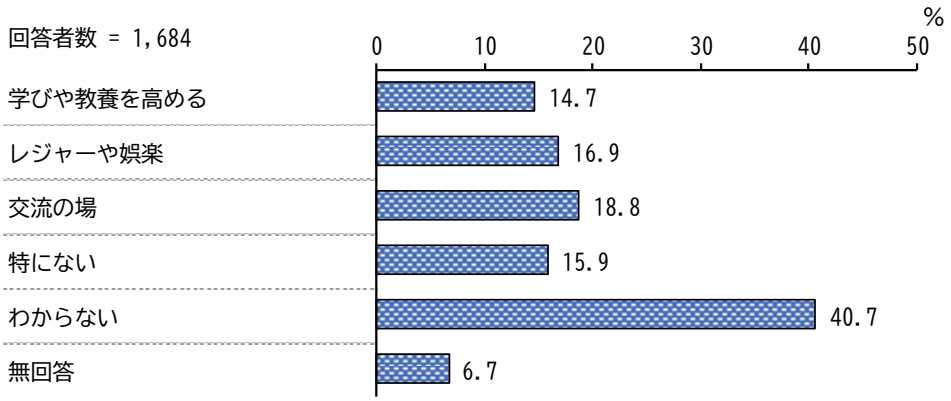
昆虫館

「学びや教養を高める」の割合が 52.3%、「レジャーや娯楽」の割合が 34.7%、「交流の場」の割合が 11.4%となっています。



みどりのプラザ

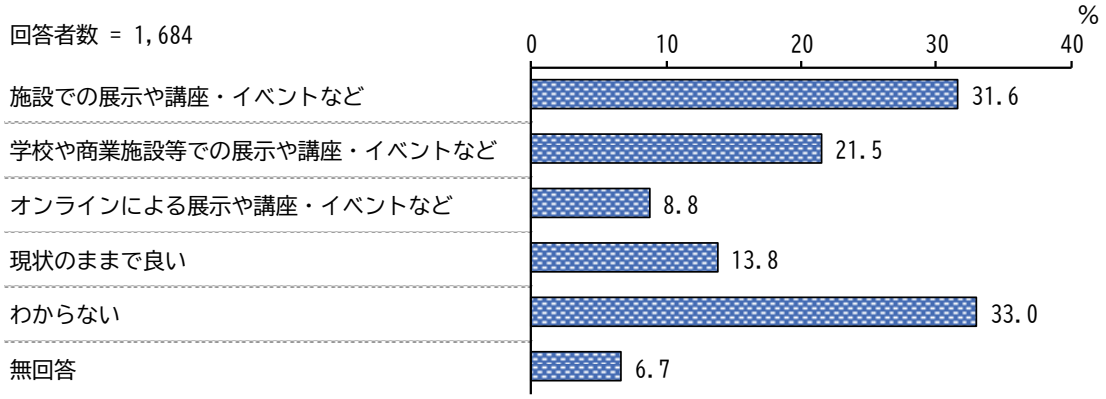
「学びや教養を高める」の割合が 14.7%、「レジャーや娯楽」の割合が 16.9%、「交流の場」の割合が 18.8%となっています。



問 19　充実した方が良いと感じる機能（サービス）はなんですか。
（施設ごとに○はいくつでも）

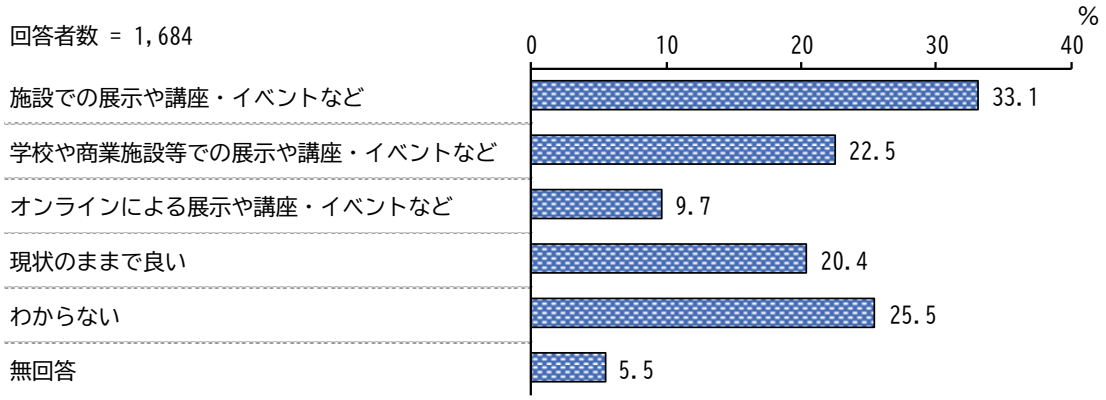
こども文化科学館

「施設での展示や講座・イベントなど」の割合が 31.6%、「学校や商業施設等での展示や講座・イベントなど」の割合が 21.5%、「現状のままで良い」の割合が 13.8%となっています。



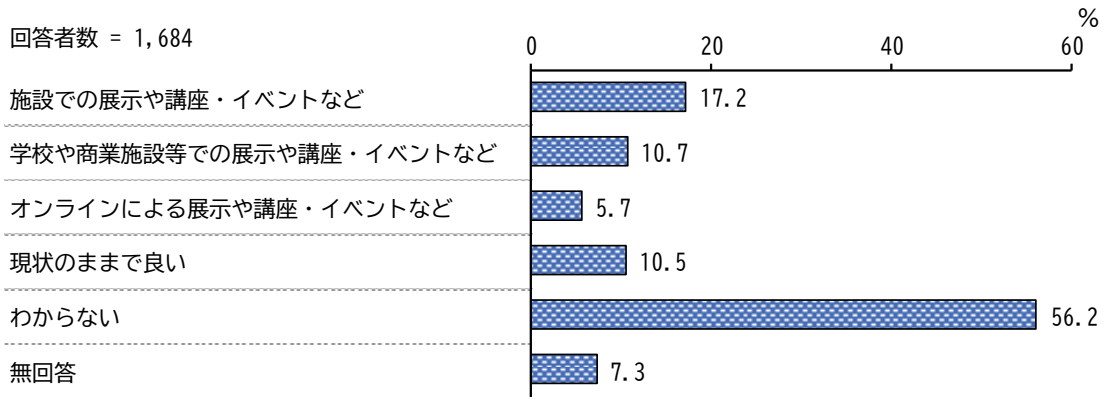
昆虫館

「施設での展示や講座・イベントなど」の割合が 33.1%、「学校や商業施設等での展示や講座・イベントなど」の割合が 22.5%、「現状のままで良い」の割合が 20.4%となっています。



みどりのプラザ

「施設での展示や講座・イベントなど」の割合が 17.2%、「学校や商業施設等での展示や講座・イベントなど」の割合が 10.7%、「現状のままで良い」の割合が 10.5%となっています。



問 20　施設に具体的に期待することや、課題だと思うこと、その他ご意見をご記入ください。（自由記述）

全体で 232 件のご意見がありました。内訳は、こども文化科学館に関するご意見が 47 件、昆虫館に関するご意見が 45 件、みどりのプラザに関するご意見が 22 件、施設全体に関するご意見が 111 件、その他のご意見が 38 件です。

なお、1 つのご意見で複数の施設に言及されている場合、各施設へのご意見として 1 件ずつ集計していますので、各施設の合計意見数と全体意見数は一致しません。

主なご意見は次のとおり。

こども文化科学館

「こども文化科学館のプラネタリウムはもっと最新技術を駆使してあっと驚くような映像を期待しています。」

「科学館のリニューアルは切実にお願いしたい。老朽化、展示の陳腐化が目立つ。せっかく国内有数の空港の隣にあるのだから、そちらとコラボした展示に絞るなど、伊丹市の科学館としての優位性を踏まえてほしい。」

「こども文化科学館のプラネタリウムに興味あるが、”こども”と名称にあるので行きづらい。こどもをネーミングからはずしてくれたら、と思います。」

「大人でも楽しめる内容では無いと思う。宇宙等大人にも学べる企画展示がほしい。」

「こども文化科学館には駐車場がないので、欲しい。または近くのパーキングの割引とか 1 時間無料とかがほしい。」

「市内にプラネタリウムがあることが嬉しい。これからも存続してほしい。」

「大阪や神戸のように、もっと充実した施設にしてほしい。」

昆虫館

「昆虫館は他市に無い特色の有る良い施設です。最近の子は虫嫌いの子が多いので、自然と結びつく視野を広めるイベントを期待します。」

「昆虫館は一年を通して昆虫に触れ合うことができ、自然が少なくなる中で、貴重な施設です。」

「昆虫館のチョウ温室は伊丹市が住み良い市である大いなるアピールになるので、もっと大きなドームにして他市の人に来てもらいたい。」

「昆虫館の存在は他県にも知られており、ユニークな展示等、すばらしいと思います。」

「昆虫館の駐車場から館までの距離が長い。雨降りの時は本当に行きたくなくなる。」

「昆虫を苦手に感じる子供が多い中、昆虫の魅力を感じられるような施設であってほしい。」

「昆虫館は昆虫食展など独特な展示やイベントを今後も期待しています。」

みどりのプラザ

「荒牧バラ公園は利用させていただいていますが、みどりのプラザは何をする場所なのか分からず、このアンケートで初めて知りました。何を目的とした施設なのかをもう少しわかりやすくした方がいいと思います。」

「みどりの相談が常時できるスタッフがいると良い。」

「みどりのプラザは少しずつみどりに関するイベントが増してきているものの、インパクトに欠ける。展示物も変化がない。他の施設に比べて発信力に欠ける。」

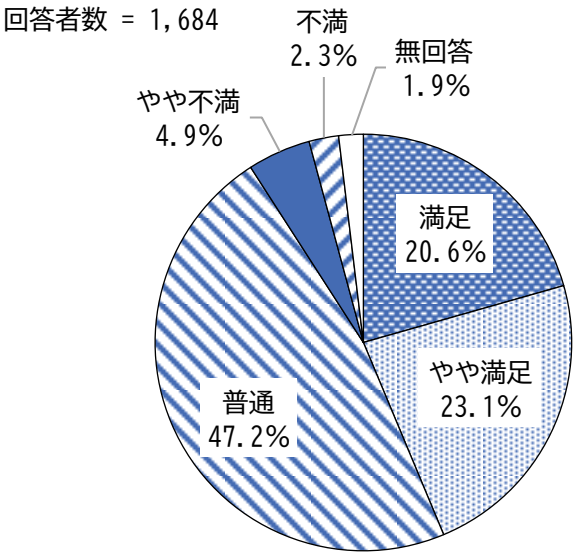
「みどりのプラザで庭木の相談で知識がある方が対応と広報に記載されていたので足を運びましたが、期待外れだった。利用しようと思いません。」
「伊丹の緑の環境を生かして、みどりのプラザの活動がもっと活発になればいいと思います。市内の素敵なお庭を広報などで紹介する企画をやってほしいです。」
「みどりのプラザは運営費が無駄である。」

全体（3 施設全体・複数施設に言及）
「ムダをなくすために新しく作らない。今ある施設のポテンシャルをひきだして、運営すること。」
「存在すら知らない施設があるのはもったいない。もっといろんな世代に周知するようイベントを含めたプレゼンをするべき。」
「費用対効果を見える化して市民に公開してほしい。」
「3 つの施設は大事だと思うのでなくなることがないようにしてほしい。」
「こども文化科学館とみどりのプラザを廃止し昆虫館を充実させるのが良いのでは。もしくはすべて廃止して全国的にも話題になるような子供たちの室内公園を一つ作るのが良いのではないでしょうか。」
「伊丹は施設が多く赤字が続いていると思うが、内容はどれもよい展示なので採算とれるよう観光にも力をいれてほしい。駐車場・駐輪場の充実、SNS への投稿など。」
「定期的に 3 施設を巡るツアーがあるとよい。参加することで理解が深まるだろう。」
「科学館・昆虫館などは近くの市や町に周知して利用してもらう様にしてほしい。3 つの施設の年次別の入場者数を市の広報に掲載してほしい。」

6　その他、みどり・自然や防災などについて

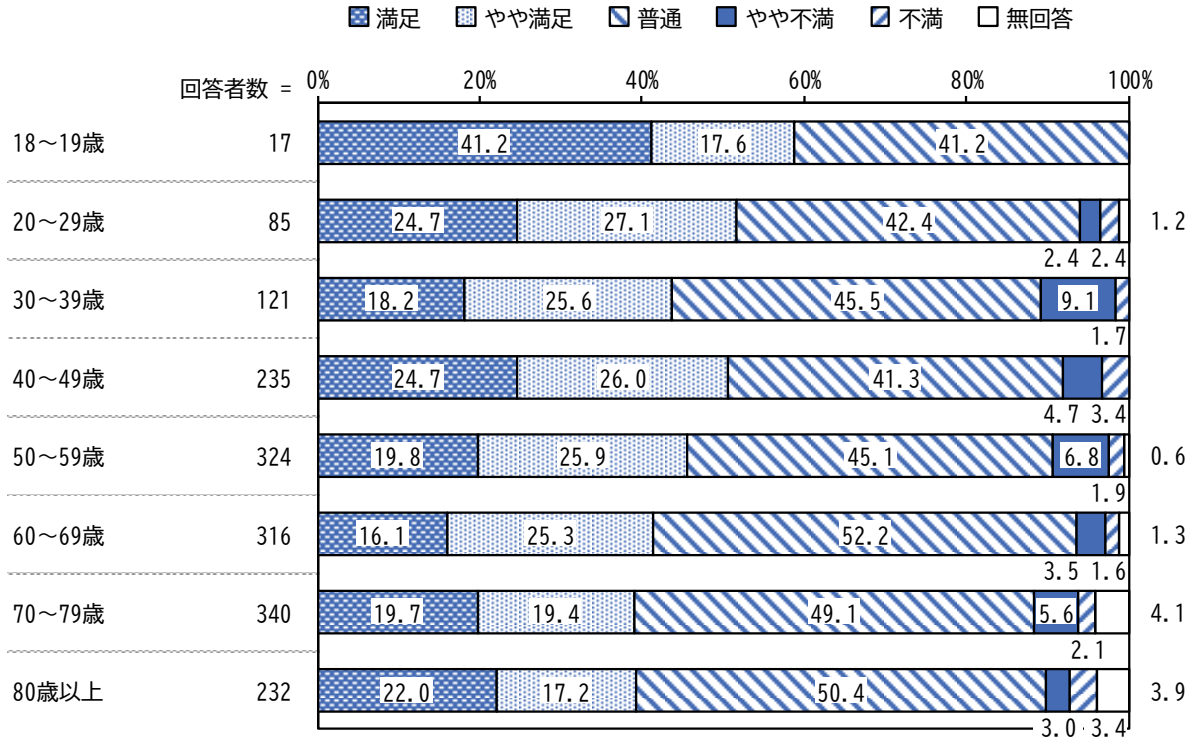
問 21　伊丹市の「みどり・自然」には満足していますか。（○は１つ）

「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の割合が 43.7%、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が 7.2%となっています。



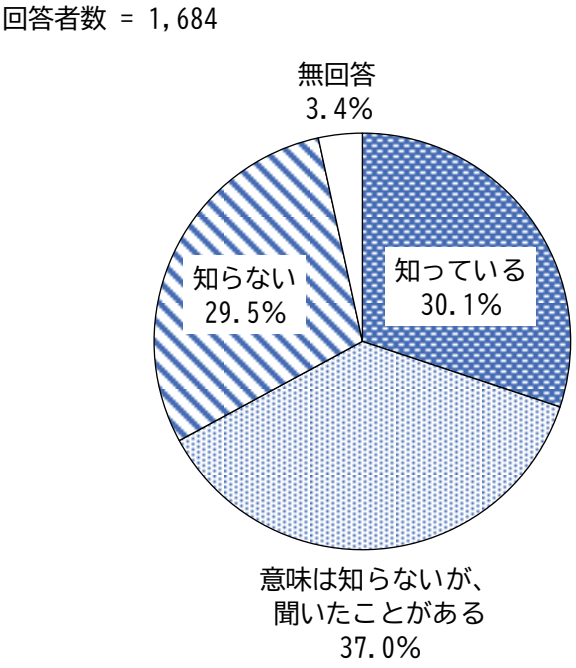
【年代別】

年代別にみると、「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の割合は、18～19 歳で 58.8%と最も高く、20～29 歳で 51.8%、40～49 歳で 50.7%となっています。



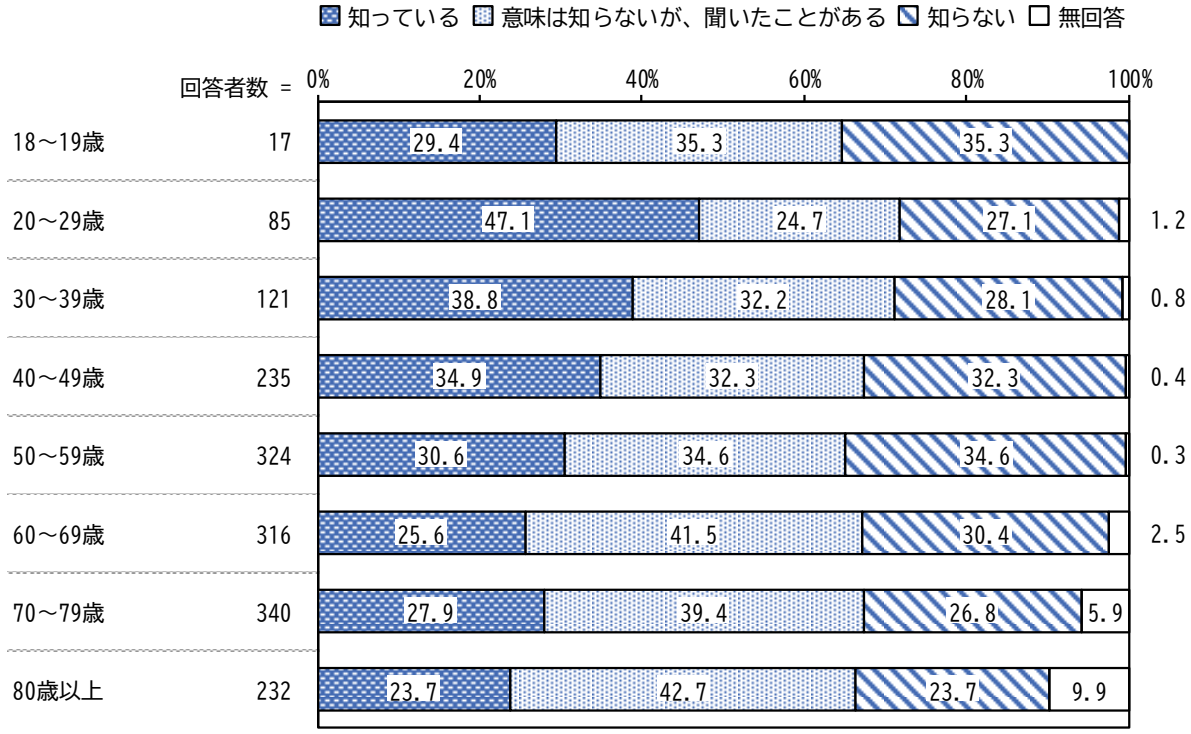
問 22　生物多様性という言葉の意味についてご存じですか。（○は１つ）

「知っている」の割合が 30.1%、「意味は知らないが、聞いたことがある」の割合が 37.0%、「知らない」の割合が 29.5%となっています。



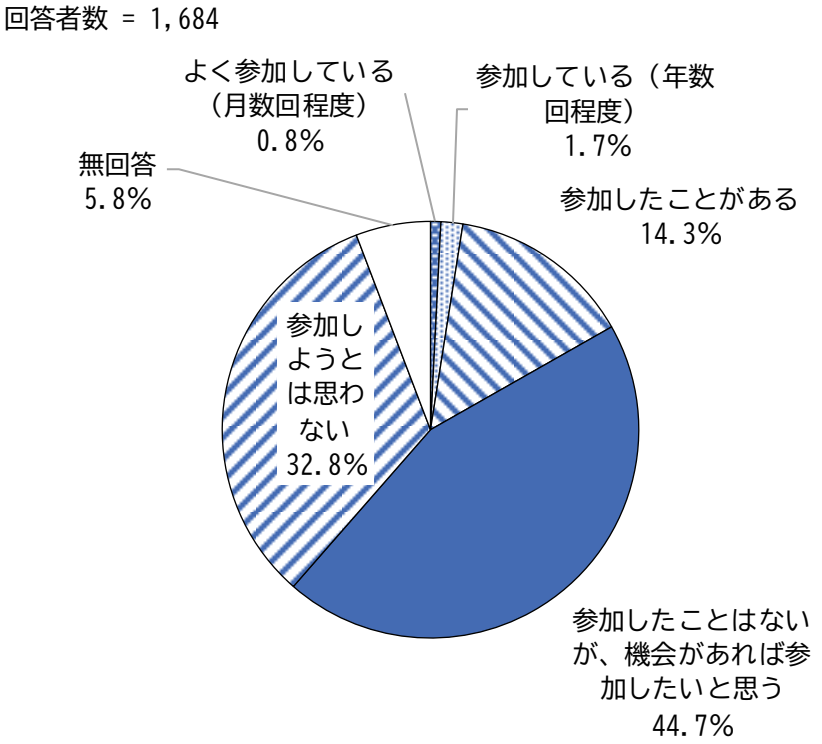
【年代別】

どの年代も、「知っている」「意味は知らないが、聞いたことがある」を合わせた割合は 64.7～71.8%となっており、18～19 歳で 64.7%、20～29 歳で 71.8%など、いずれの年代も 60%を超えています。



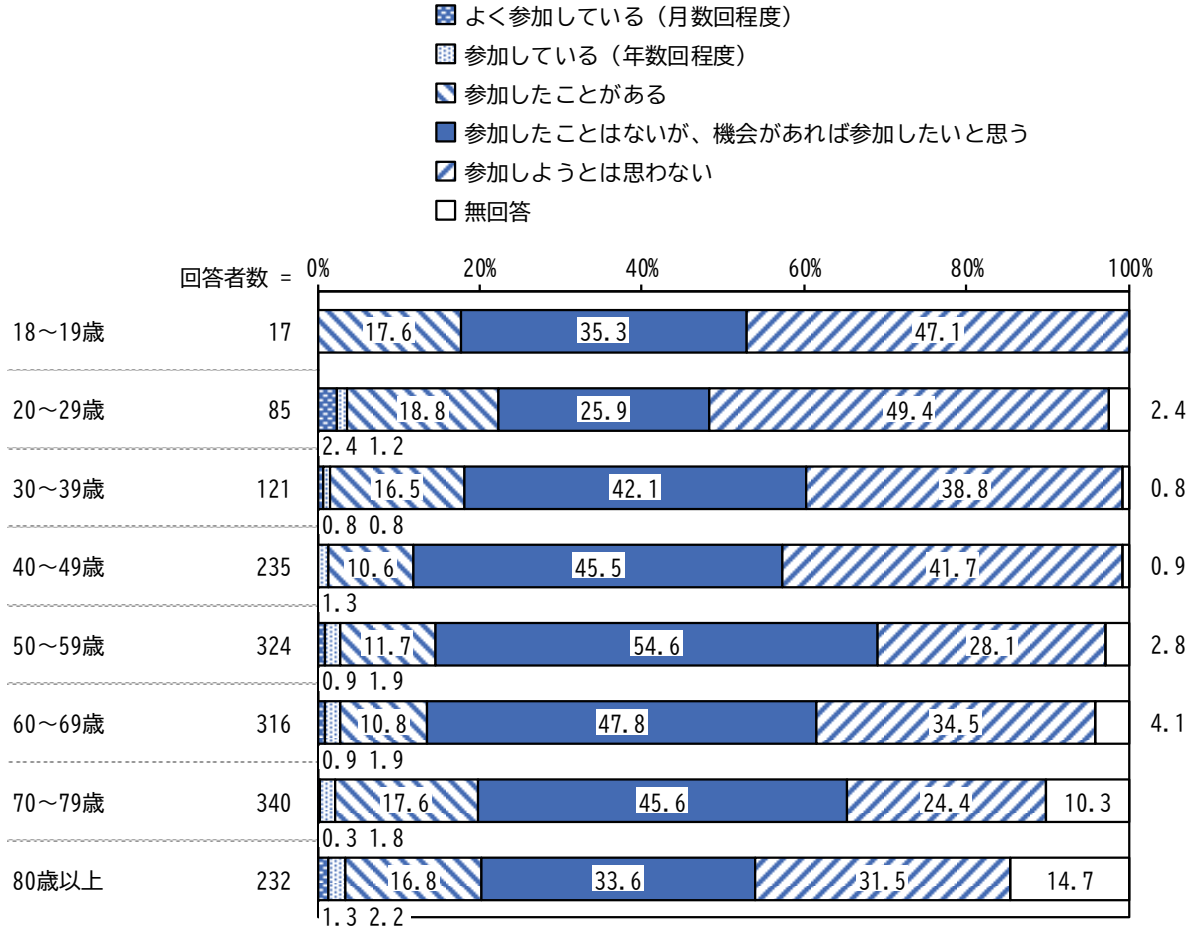
問 23　緑化活動や自然の保護活動に参加したことはありますか。（○は１つ）

「参加したことはないが、機会があれば参加したいと思う」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「参加しようとは思わない」の割合が 32.8%、「参加したことがある」の割合が 14.3%となっています。



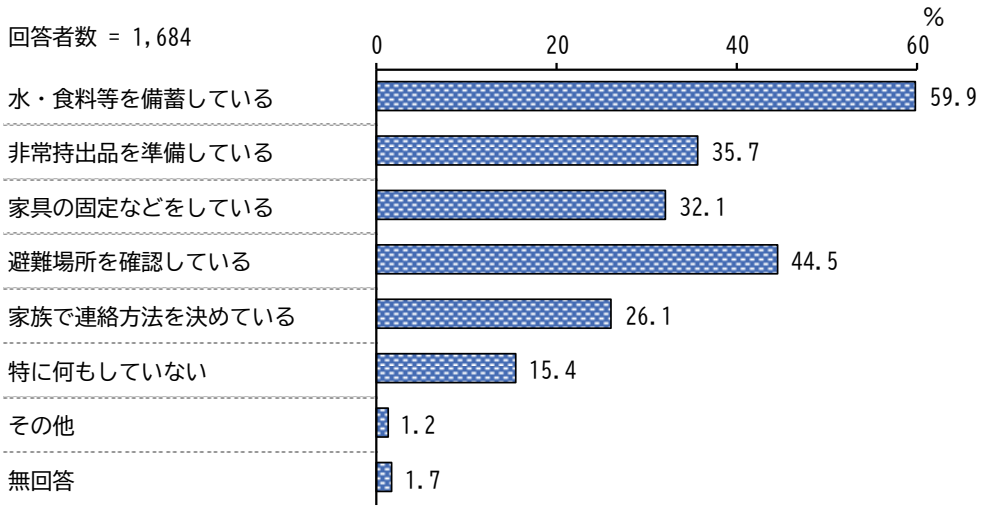
【年代別】

年代別にみると、「参加したことはないが、機会があれば参加したいと思う」は 30～79 歳で 40%以上の割合となっており、特に 50～59 歳で 54.6%と最も高くなっています。



問 24　あなたは、災害に備えてどのような取組をしていますか。（○はいくつでも）

「水・食料等を備蓄している」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「避難場所を確認している」の割合が 44.5%、「非常持出品を準備している」の割合が 35.7%となっています。



【年代別】

すべての年代で「水・食料等を備蓄している」が最も高く、次いで「避難場所を確認している」となっています。一方、「特に何もしていない」割合も 15.4%となっており、18～19 歳を除く年代で、11.4%以上の割合となっています。

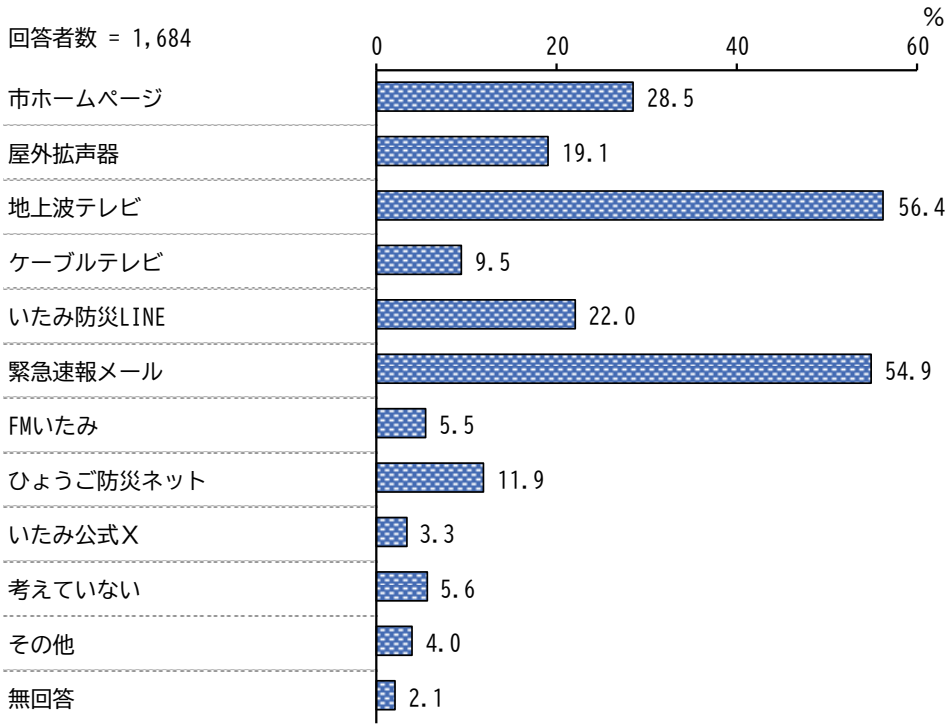
単位：%

区分	回答者数（件）	水・食料等を備蓄している	非常持出品を準備している	家具の固定などをしている	避難場所を確認している	家族で連絡方法を決めている	特に何もしていない	その他	無回答
全　体	1,684	59.9	35.7	32.1	44.5	26.1	15.4	1.2	1.7
18～19歳	17	76.5	47.1	29.4	52.9	23.5	5.9	0.0	0.0
20～29歳	85	47.1	37.6	30.6	45.9	30.6	16.5	1.2	1.2
30～39歳	121	57.0	41.3	33.9	43.0	33.1	14.9	1.7	0.0
40～49歳	235	66.0	37.4	31.9	48.9	31.5	16.2	1.3	0.0
50～59歳	324	64.2	34.9	34.6	50.6	29.9	11.4	0.9	0.6
60～69歳	316	57.6	33.2	32.3	42.4	26.9	16.5	0.6	1.3
70～79歳	340	61.2	35.3	30.0	42.1	20.0	16.5	0.9	3.2
80歳以上	232	53.0	32.8	30.2	34.9	18.5	19.0	2.6	3.9

比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

問 25　あなたは、災害時どの手段で情報を入手するか教えてください。（○はいくつでも）

「地上波テレビ」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「緊急速報メール」の割合が 54.9%、「市ホームページ」の割合が 28.5%となっています。



【年代別】

年代別にみると、「地上波テレビ」と「緊急速報メール」がほとんどの年代の上位を占めていますが、80 歳以上における「緊急速報メール」は、39.7%と全年代で最も低くなっています。

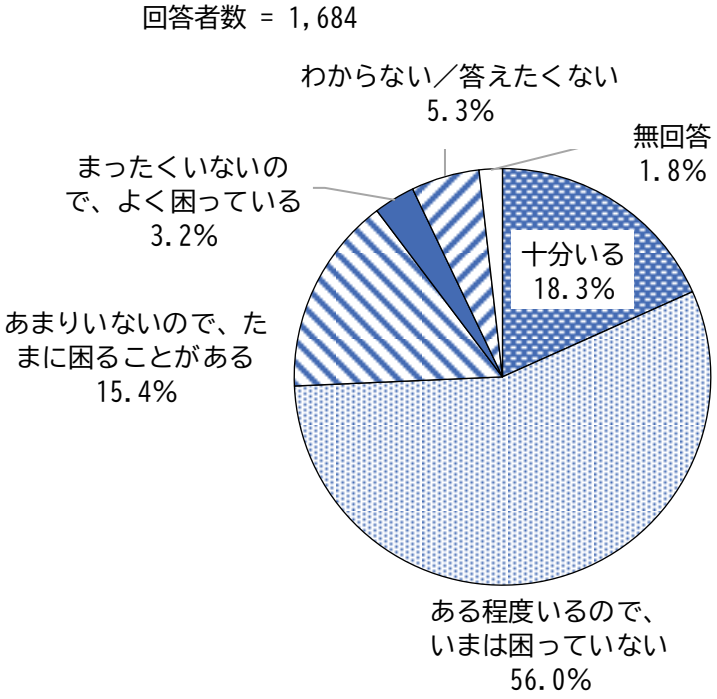
単位：%

区分	回答者数（件）	市ホームページ	屋外拡声器	地上波テレビ	ケーブルテレビ	いたみ防災LINE	緊急速報メール	FMいたみ	ひょうご防災ネット	いたみ公式X	考えていない	その他	無回答
全　体	1,684	28.5	19.1	56.4	9.5	22.0	54.9	5.5	11.9	3.3	5.6	4.0	2.1
18～19歳	17	47.1	11.8	41.2	0.0	0.0	47.1	5.9	17.6	5.9	5.9	5.9	0.0
20～29歳	85	23.5	21.2	50.6	5.9	8.2	44.7	3.5	5.9	9.4	17.6	3.5	1.2
30～39歳	121	32.2	13.2	48.8	3.3	23.1	47.9	4.1	19.0	8.3	6.6	6.6	0.0
40～49歳	235	31.9	16.6	55.7	5.1	16.6	58.7	3.0	15.7	4.7	9.8	3.8	0.9
50～59歳	324	32.1	17.9	58.6	9.9	23.5	59.9	5.2	13.9	2.8	4.6	4.9	0.3
60～69歳	316	34.2	15.2	58.5	11.7	27.2	60.4	5.4	11.4	2.5	1.9	4.4	1.3
70～79歳	340	22.6	23.8	62.6	11.5	22.6	58.5	6.5	8.2	0.9	3.5	2.1	4.7
80歳以上	232	18.5	22.8	48.3	11.6	22.4	39.7	7.3	9.1	1.7	6.5	3.9	4.3

比率が最も高い項目　　比率が２番目に高い項目

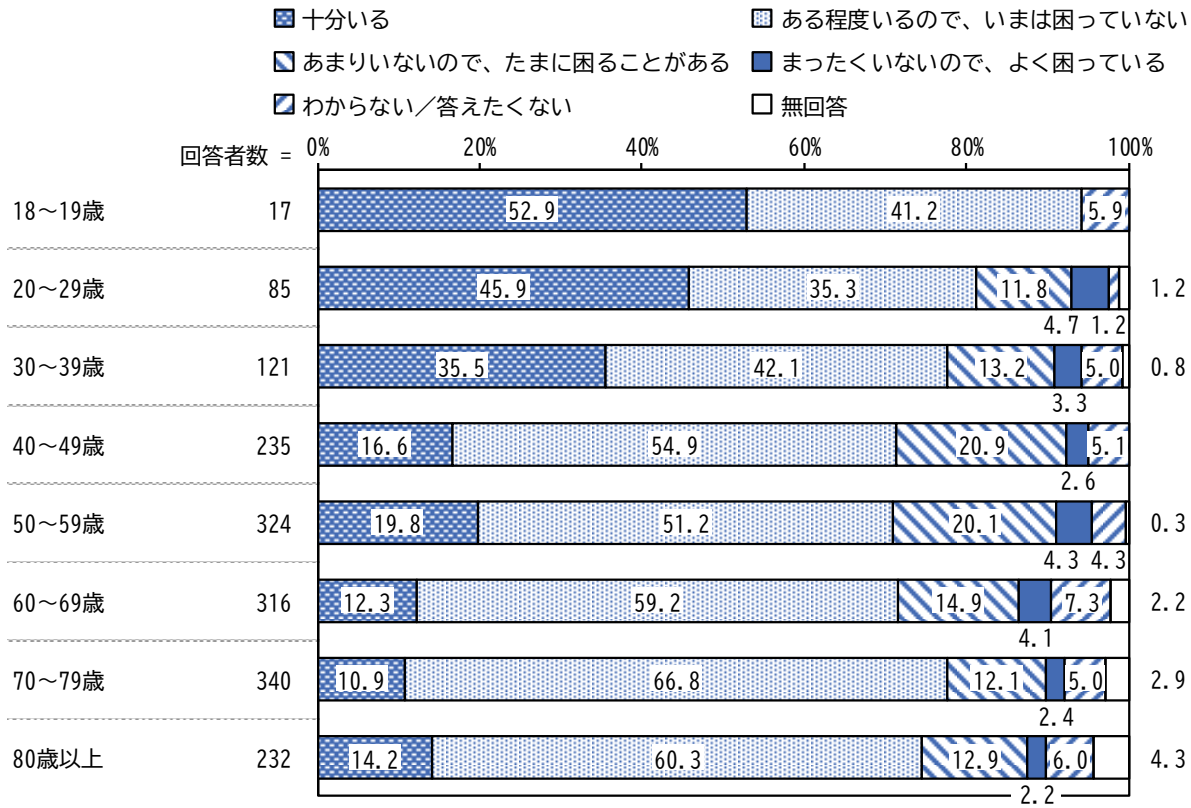
問 26　あなたは、何か困ったことが起きた際、実際に助けを求めたり、相談したりできる人が身近にいますか。（○は１つ）

「ある程度いるので、いまは困っていない」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「十分いる」の割合が 18.3%、「あまりいないので、たまに困ることがある」の割合が 15.4%となっています。



【年代別】

年代別にみると、全体的に「十分いる」、「ある程度いるので、いまは困っていない」の割合が高くなっています。一方で、40～49 歳・50～59 歳で「あまりいないので、たまに困ることがある」、「まったくいないので、よく困っている」の割合がその他の世代より高くなっています。



7　自由記述について

■　自由記述欄　最後に、これからの伊丹のまちづくりに関してご意見がございましたらお書きください。

これからの伊丹のまちづくりに関して、全 287 件のご意見がありました。
主な意見は次のとおり。

「市民病院や市立中学校は災害時の避難対応仕様にしていただきたい。」
「子ども達が安心して暮らせて、安全に自転車等で移動できるまちづくりをお願いしたいです。簡単ではないと思いますがよろしくお願いします。」
「子どもが集える場所やスペースを増やして欲しい。勉強スペース。高架下で暑さや雨の日でも遊べるスペース。」
「以前と比べて子どもの数が減ってきています。安心して結婚し子育てが出来るよう支援が大事かと思います。」
「自宅近くで預けられる認可保育園の待機児童があまりに多い。早急に対応望む。」
「地域クラブの受皿となる教室の告知が少ないため、生徒が受けとれる情報が非常に少ない。」
「1 日だけの講座や、1 日だけ声を出して歌ってみようなどの高齢者の集うきっかけを作ってほしい。」
「卓球など年齢が上の人でも地域の人とコミュニケーションができる取り組みがあれば参加してみたい。」
「小学校で全員が手話が出来るように学びがあれば良い。」
「健康面に関しては、安価で健診を受けたり、健康教育に参加でき、活用させて頂き、ありがたいです。今後も継続してほしいです。」
「市民病院の完成を心待ちにしています。」
「高齢になった今、以前は考えた事もなかったのですが、暮らし・病気・法律的な事など相談しやすい場があったら良いと思う。もちろん今かかりつけ医、見守りとかありますがもう少し垣根の低い相談する何かがあったら良いと思う。」
「子ども、高齢者、障害者のいずれにも偏ることなく福祉全体を充実させる市政を期待しています。」
「高齢化が進む中で介護や認知症への備えなど、高齢者とその家族が安心して暮らせる仕組みづくりも、これまで以上に重要になると考えます。」
「障がいがある人達への福祉に力を入れて欲しいです。メンタル面の支えがあるような町で将来不安にならないよう生きていける、援助が欲しいです。」
「つながりやすい地域であってほしいと願っています。」
「兵庫県の市であることを全国に知ってもらいたい。」
「アクセスは非常に良い市なので、市の魅力をもっと打ち出して下さい。（特に文化、歴史）」
「音楽イベントを増やして欲しい。」
「税収を増やすために、魅力的なふるさと納税の商品や企画を望みます。」
「畑がなくなって家が多く建っている。緑が減っています。」
「子どもだけでなく、20 代若者の支援ももう少し増やしてほしい。」
「飛行場をもっと活用出来ないか。」

「空港の国際線を復活させてほしい。」
「街がきれいで住みよい街をお願いします。」
「ゴミの集積所の整備。公共の施設として、充実して欲しい。」
「市内の公園等、緑豊かなところが大好きです。しかし、街路樹は少なく、子どもの通学路にもっと日陰があればいいのになぁと思います。」
「ボール遊びができる公園がほしいです。」
「最近、あちこちで空地・空家が見うけられる様になりました、何らかの対策が必要では。伊丹市の農地の保全にも尽力してほしい。」
「自転車専用レーンをもっと多く広げて欲しい。レンタルサイクルの設置スポットを増やして欲しい。」
「高齢化がかなり進んでおり、市バスの路線が今までのままでいいのか考えて欲しい。市民病院、駅、買い物の場所へのアクセス。」
「川沿いに街灯がほぼないため、整備してほしい。」
「道路の整備を強化して欲しいです。自転車専用道路も増やして欲しいです。」
「これからも安全かつ安心出来るまちづくり、宜しくお願いします。」
「自分のまわりから整えていく。そして個々の輪を広げてゆく。行政はそれに対しての支援、アドバイス等をしてほしい。いつも市民のためにありがとうございます。」
「今後もこの様なアンケート調査を実施してほしい。」
「市の広報を、読んでいるので、更なる充実を、わかりやすくお願いします。」
「デジタル格差の是正。」
「伊丹市の財政は、とても健全であると聞きました。感心しました。これからもそのままでお願いします。」

資料編

調査票

令和８年度 伊 丹 市 民 意 識 調 査 票

市民のみなさまには、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、市民のみなさまの暮らしに対するご意見を幅広くお伺いし、今後のまちづくりや行政運営の参考にさせていただくため、本市にお住まいの満18歳以上の方を無作為に3，000人選ばせていただき、「市民意識調査」を実施させていただきます。

皆様からお寄せいただく貴重なご意見は、より良い伊丹市を築くための重要な土台となります。お忙しいところ恐縮ですが、本調査にご理解ご協力いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和8年（2026年）7月　　伊丹市長　　中田　慎也

【 調査票の回答について 】

令和 8年 7月 24日（金）までに、調査の回答をお願いいたします。

回答時間目安　約１０分

【 回答方法 】

＜郵送の場合＞

この調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ郵便ポストへ

＜インターネットの場合＞

インターネットで右側の QR コードまたは下記 URL にアクセスのうえ回答

ID ：

URL：https://questant.jp/q/JT9ZVGGQ

※このIDは、二重回答を防ぐためのもので、個人を特定するものではありません。

【 その他 】

＊この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果は統計的に処理し、市政運営のための目的以外で使用いたしません。

＊封筒のあて名の方、ご本人が回答してください。

＊ご本人が引っ越しや単身赴任、入院等で、不在の場合は破棄してください。（代筆不要）

＊この調査は、令和8年5月末時点の住民基本台帳をもとに、無作為に抽出させていただいた市民のみなさまにご協力をお願いしております。

＊調査票には、鉛筆またはボールペンで記入してください。

この調査に関するお問い合わせは・・・

伊丹市総合政策部政策室　電話 072－784－8007（直通）

■　あなたの性別・年齢をおたずねします。※統計上必要ですのでおたずねしています。

問１　あなたの性別をお知らせください。（**○は１つ**）

1　男性	2　女性	3　その他(または答えたくない)

問２　あなたの年齢をお知らせください。（**○は１つ**）

1　18～19歳	3　30～39歳	5　50～59歳	7　70～79歳
2　20～29歳	4　40～49歳	6　60～69歳	8　80歳以上

■　住みやすさについておたずねします。

問３　あなたは伊丹市が住みやすいまちだと思いますか。（**○は１つ**）

1　非常に住みやすい	3　どちらともいえない	5　非常に住みにくい
2　住みやすい	4　住みにくい	

■　定住志向についておたずねします。

問４　あなたは今後も伊丹市に住み続けたいと思いますか。（**○は１つ**）

1　伊丹市内に住み続けたい	2　市外へ移りたい	3　どちらでもない

問4－1
「住み続けたい」理由について、次の中からあてはまるものを選んでください。
（**○はいくつでも**）

1　安全・安心なまちである
2　子育てしやすい環境がある※1
3　教育環境が充実している※2
4　保健・医療サービスが充実している
5　高齢者向けサービスが充実している
6　地域のつながりがある
7　日常の買い物が便利である
8　歴史・文化を感じるまちなみがある
9　自然環境が豊かである
10　通勤・通学などの交通の便が良い
11　多様な生き方・価値観が尊重される
12　その他(　　)

問4－2
「市外へ移りたい」理由について、次の中からあてはまるものを選んでください。
（**○はいくつでも**）

1　安全・安心なまちだと感じない
2　子育てしやすい環境がない※1
3　教育環境が充実していない※2
4　保健・医療サービスが充実していない
5　高齢者向けサービスが充実していない
6　地域のつながりがない
7　日常の買い物が不便である
8　歴史・文化を感じるまちなみがない
9　自然環境が豊かでない
10　通勤・通学などの交通の便が悪い
11　多様な生き方・価値観が尊重されない
12　その他(　　)

※1　子育てしやすい環境：保育所や幼稚園等の保育サービス、子育て支援、病院、遊び場が充実しているなどの観点からお考えください。
※2　教育環境：幼稚園、小学校、中学校、高校等まで安心して通わせる状況にあるかなどの観点からお考えください。

■　これからの市の取組について、優先的に取り組んでほしいと思うものをおたずねします。

問５　伊丹市では、６つの大綱を軸に様々な施策にチャレンジしています。
各分野において、優先的に取り組んで欲しいと思う番号を１つご記入ください。
また、その理由があればご記入ください。

第６次伊丹市総合計画は、
こちらのQRコードから確認できます。→

大綱１　安全・安心

① 災害対策
地震や台風などの災害から命と暮らしを守る取組

② 消防・救急
火災や急病のとき迅速に対応できる体制を整える取組

③ 交通安全・地域防犯
交通事故や犯罪を減らし安心して暮らせるまちにする取組



番号（1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

大綱２　育ち・学び・共生社会

① 子育て・子育ち
安心して子どもを産み育てられる環境を充実させる取組

② 青少年の健全育成
子どもや若者が健やかに成長できる環境をつくる取組



③ 幼児教育・保育
質の高い幼児教育・保育を提供し安心して子どもを育てられる環境をつくる取組

④ 学校教育
学力と豊かな心を育む学校教育を進める取組

⑤ 教育環境
学校園・家庭・地域社会が連携して子どもたちを育む取組

⑥ 生涯学習・スポーツ
誰もが学びやスポーツに親しめる機会を広げる取組

⑦ 人権
すべての人の人権が尊重される社会をつくる取組



⑧ 男女共同参画
性別に関わらず、全ての人が個性と能力を発揮でき、生き生きと暮らせる社会を実現する取組

⑨ 多文化共生・平和
国籍や文化の違いを認め合いながら暮らし平和を大切にする取組

番号（1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

大綱３　健康・医療・福祉

① 健康づくり
病気を予防し心身ともに健康に暮らせるよう支える取組

② 地域医療
身近な地域で安心して医療を受けられる体制を整える取組

③ 地域福祉
地域で支え合い困りごとを助け合える仕組みをつくる取組

④ 高齢者福祉
高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支える取組

⑤ 障がい者福祉
障がいのある人が自分らしく生活できるよう支える取組



番号（1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

大綱４　市民力・にぎわい・活力

① 市民力・地域力
市民活動や地域のつながりを広げまちの活力を高める取組

② 都市ブランド
市民がまちの魅力を実感し愛着や誇りを持てるように発信する取組

③ 歴史・文化
伊丹の歴史や文化芸術を守り育てていく取組

④ 商工業
市内企業や商店を支え地域経済をさらに元気にする取組

⑤ 都市農業
身近な農業を守り地元産の農産物を広める取組

⑥ 雇用と労働
働きたい人が安心して働ける環境を整える取組

⑦ 空港との共生
空港と共生し安全で快適な環境を守る取組





番号（1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

大綱５　環境・都市基盤

① 環境保全
良好な環境を保全し地球温暖化対策を進める取組

② 循環型社会の形成
ごみを減らし資源を大切に使う社会をつくる取組

③ 公園・緑地・生物多様性
公園や緑を守り自然と生き物を大切にする取組

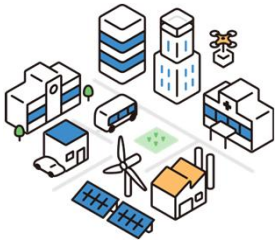
④ 都市計画・住環境
良質な都市空間や建物の耐震化など安全な住環境をつくる取組



⑤ 交通
安全で快適に移動できる交通手段を整える取組

⑥ 道路
安全性、快適性に配慮した道路整備（改築・維持補修）に関する取組

⑦ 水道・下水道
安全な水を届け下水を適切に処理する取組



番号 （1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

大綱６　参画と協働・行政経営

① 参画と協働
市民と行政が協力し共にまちづくりを進める取組



② 広報・広聴
市の情報が分かりやすく伝わり、市民の意見が市政に反映される取組

③ ICTの活用
オンライン申請等デジタル技術を活用し便利な行政サービスを提供する取組

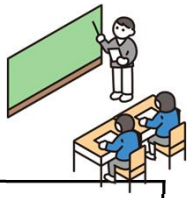


④ 行財政運営
健全な財政を保つとともに、効率よく安定した市政運営の基盤となる組織を構築する取組

番号 （1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

■　【テーマ別①】これからの子どもたちを支える教育についておたずねします。

少子化や社会環境の変化が進む中、子どもたちを取り巻く環境や学びのあり方も多様化しています。本市では、子どもたち一人ひとりの育ちや学びを支えるこれからの教育のあり方についての検討を進めており、今後の参考とするため、市民のみなさまのお考えをお聞きするものです。



問６　これからの子どもたちにとって重要だと思う力

社会が大きく変化する中、子どもたちが将来にわたって学び続けていくために、特に重要だと思う力は何ですか。（**あてはまるもの３つまで○**）

1	基礎的な学力	5	社会性や基本的な生活習慣
2	自分で考え、挑戦しようとする力	6	情報を正しく理解し、活用する力
3	人と協力し、多様な人を尊重する力	7	体力や健康
4	自分の思いや考えを伝える力	8	その他(　　)

問７　これからの子どもの学びを支える学校教育について

子どもたちの状況や価値観が多様化する中、一人ひとりの子どもを支える教育として、特に重要だと思うことは何ですか。（**あてはまるもの３つまで○**）

1	一人ひとりに応じた学びや支援	5	ICT を活用した学び
2	安心して過ごせる居場所づくり	6	地域と連携した学習や体験活動
3	不登校の子どもへの支援	7	子ども同士が学び合える環境づくり
4	特別な支援を必要とする子どもへの対応	8	その他(　　)

問８　これからの学校と地域の関わりについて



学校と地域との関わりについて重要だと思うことは何ですか。

（**あてはまるもの３つまで○**）

1	地域全体で子どもの成長を支えること	5	多世代が交流できる場になること
2	学校と地域行事との連携が促進されること	6	災害時などに地域の拠点となること
3	地域の人が学習や体験活動を支えること	7	その他(　　)
4	学校施設を地域で活用すること		

問９　これからの教育に必要となる取組について

少子化や社会環境の変化が進む中、これからの子どもたち一人ひとりの育ちや学びを支えるため、教育に必要だと思う取組は何ですか。（**あてはまるもの３つまで○**）

1	小中一貫による9年間のつながりのある学びを進めること	5	学校以外でも学びや体験ができる機会の充実の支援をすること
2	子ども一人ひとりに応じた多様な学びや支援を充実すること	6	学校において民間企業やNPO等と連携した学びや体験の場を充実させること
3	放課後などに安心して過ごし学べる居場所を充実すること	7	学校施設を拠点とした地域活動を支援すること
4	多様な学び方に対応できる学習環境を充実させること	8	その他(　　)

■　【テーマ別②】交通規範意識と自転車レーンについておたずねします。

問１０　普段どのくらい自転車を利用しますか。（**○は１つ**）

1	ほぼ毎日	4	まったく利用しない
2	週に数日	5	自転車を持っていない
3	ほとんど利用しない		※ ４、５ に○をした方は問12へ



問１１　主に、どのようなときに自転車を利用しますか。（**○は１つ**）

1	買い物･飲食	4	子どもの送迎
2	通勤･通学	5	余暇
3	業務･仕事	6	その他(　　)

問１２　本市の自転車利用者のマナーについて伺います。（**○は１つ**）

1	大変良い	4	悪い
2	良い	5	非常に悪い
3	普通		

問１３　令和８年４月１日より開始された自転車に対する交通反則通告制度（いわゆる「青切符」）では、１１３種類の違反行為が対象となりましたが、どの程度知っていますか。（**○は１つ**）

1	すべて知っている	4	まったくわからない
2	およそ半分知っている	5	青切符制度がわからない
3	数件くらいなら知っている		



問１４　交通反則通告制度（いわゆる「青切符」）をはじめ自転車を取り巻く環境やルールが変化していく中、「交通安全」についてどのような手段で周知・啓発することが有効だと考えますか。（**○は３つまで**）

1	VR機器等による仮想体験	4	チラシ配布
2	街頭での啓発活動	5	SNSなどでの情報発信
3	教室等の座学	6	市HPへの掲載

問１５　本市では自転車専用通行帯（自転車レーン等）の整備（歩行者と分離）を進めており、安全性について教えてください。



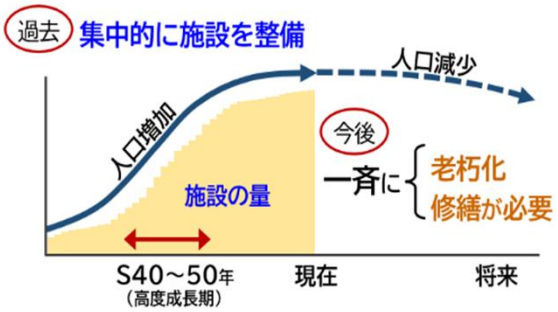
①　自転車利用者の立場でお答えください。（**○は１つ**）

1	安全になった	4	どちらかというと危険になった
2	どちらかというと安全になった	5	危険になった
3	どちらともいえない	6	その他(　　)

②　歩行者の立場でお答えください。（**○は１つ**）

1	安全になった	4	どちらかというと危険になった
2	どちらかというと安全になった	5	危険になった
3	どちらともいえない	6	その他(　　)

■　【テーマ別③】施設の利用状況などについておたずねします。



本市では、高度経済成長期以降、人口の急増にあわせて公共施設を整備してきました。

これらの施設は、次々と大規模改修や建替えといった更新時期を迎え、全てを同じ規模で更新する場合、その費用は膨大な額になることが予測されています。

そこで、施設の維持管理・運営、民間活力の活用など再配置の基本的な考え方を示した「伊丹市公共施設再配置基本計画」において、２０３０年度までにあり方検討を進めることとしている以下の３施設の参考とするためにお聞きします。

＜対象施設＞

施設名	こども文化科学館	昆虫館	みどりのプラザ
建築年	1988年(文化センター) 1990年(プラネタリウム)	1990年	2001年
施設概要	プラネタリウムや宇宙に関する体験展示を常設する科学館	昆虫をはじめとする生きものや自然環境について楽しみ、学ぶことができる博物館	憩いの場の提供、緑化の啓発や園芸等の振興を行う施設
施設外観			

伊丹市公共施設再配置基本計画は、
こちらのQRコードから確認できます。　→

問１６　各施設を知っていますか、また利用頻度について教えてください。
（**施設ごとに○は１つ**）

	よく利用する	利用したことがある	名前も場所も知っているが利用したことはない	名前は知っているが場所は知らない	名前も場所も知らない
こども文化科学館	1	2	3	4	5
昆虫館	1	2	3	4	5
みどりのプラザ	1	2	3	4	5

問１７　施設を利用した目的はなんですか。（**施設ごとに○はいくつでも**）

こども文化科学館	展示	講座・イベント	プラネタリウム	天体観察会	利用したことがない
	1	2	3	4	5
昆虫館	展示	講座・イベント	昆虫に関する相談	チョウ温室	利用したことがない
	1	2	3	4	5
みどりのプラザ	展示	講座・イベント	みどりに関する相談	荒牧バラ公園散策時の休憩	利用したことがない
	1	2	3	4	5

問１８　施設に期待することはなんですか。（**施設ごとに○はいくつでも**）

	学びや教養を高める	レジャーや娯楽	交流の場	特にない	わからない
こども文化科学館	1	2	3	4	5
昆虫館	1	2	3	4	5
みどりのプラザ	1	2	3	4	5

問１９　充実した方が良いと感じる機能（サービス）はなんですか。
（**施設ごとに○はいくつでも**）

	施設での展示や講座・イベントなど	学校や商業施設等での展示や講座・イベントなど	オンラインによる展示や講座・イベントなど	現状のままで良い	わからない
こども文化科学館	1	2	3	4	5
昆虫館	1	2	3	4	5
みどりのプラザ	1	2	3	4	5

問２０　施設に具体的に期待することや、課題だと思うこと、その他ご意見をご記入ください。（自由記述）

■　【テーマ別④】その他、みどり・自然や防災などについておたずねします。

問２１　伊丹市の「みどり・自然」には満足していますか。（**○は１つ**）



1	満足	3	普通	5	不満
2	やや満足	4	やや不満		

問２２　生物多様性という言葉の意味についてご存じですか。（**○は１つ**）

1	知っている	2	意味は知らないが、聞いたことがある	3	知らない

問２３　緑化活動や自然の保護活動に参加したことはありますか。（**○は１つ**）

1	よく参加している（月数回程度）	4	参加したことはないが、機会があれば参加したいと思う
2	参加している（年数回程度）	5	参加しようとは思わない
3	参加したことがある		

問２４　あなたは、災害に備えてどのような取組をしていますか。
（**○はいくつでも**）



1	水･食料等を備蓄している	5	家族で連絡方法を決めている
2	非常持出品を準備している	6	特に何もしていない
3	家具の固定などをしている	7	その他（　　）
4	避難場所を確認している		

問２５　あなたは、災害時どの手段で情報を入手するか教えてください。
（**○はいくつでも**）

1	市ホームページ	5	いたみ防災LINE	9	いたみ公式X
2	屋外拡声器	6	緊急速報メール	10	考えていない
3	地上波テレビ	7	FMいたみ	11	その他
4	ケーブルテレビ	8	ひょうご防災ネット		（　　）

問２６　あなたは、何か困ったことが起きた際、実際に助けを求めたり、相談したりできる人が身近にいますか。（**○は１つ**）

1	十分いる	3	あまりいないので、 たまに困ることがある	5	わからない/答えたくない
2	ある程度いるので、 いまは困っていない	4	まったくいないので、 よく困っている		

■　あなた自身のことについておたずねします。※統計上必要ですのでおたずねしています。

問２７　あなたの世帯構成をお知らせください。（**○は１つ**）

1	ひとり暮らし	5	親と同居(自身は子)
2	夫婦のみ	6	三世代同居
3	子(18歳未満)と同居(自身は親)	7	その他(　　)
4	子(18歳以上)と同居(自身は親)		

問２８　あなたのご家庭の状況についておたずねします。（**○はいくつでも**）

1	未就学児を育てている	3	高校生以上の子を育てている	5	子育てや介護はしていない
2	小･中学生を育てている	4	介護が必要な家族がいる		

問２９　あなたの職業をお知らせください。（**○は１つ**）

1	会社員等(パート･アルバイト含む)	4	学生
2	自営業(農業含む)･自由業	5	無職(家事専業除く)
3	家事専業	6	その他(　　)

問３０　あなたの通学・通勤先を教えてください。（**○は１つ**）

1	伊丹市	4	西宮市	7	三田市	10	その他兵庫県	13	その他大阪府
2	川西市	5	尼崎市	8	猪名川町	11	大阪市	14	兵庫県･大阪府以外
3	宝塚市	6	芦屋市	9	神戸市	12	北摂エリア (池田市、箕面市、豊中市、吹田市、茨木市、高槻市)		

問３１　あなたは、伊丹市に通算して何年間住んでいますか。（**○は１つ**）

1	1年未満	4	10年以上～20年未満
2	1年以上～5年未満	5	20年以上
3	5年以上～10年未満		

問３２　あなたは、どの小学校区にお住まいですか。なお、お住まいの小学校区がわからない場合は、下の欄に町丁名をご記入ください。（**○は１つ**）

1	伊丹小学校区	7	天神川小学校区	13	摂陽小学校区
2	稲野小学校区	8	笹原小学校区	14	鈴原小学校区
3	南　小学校区	9	瑞穂小学校区	15	荻野小学校区
4	神津小学校区	10	有岡小学校区	16	池尻小学校区
5	緑丘小学校区	11	花里小学校区	17	鴻池小学校区
6	桜台小学校区	12	昆陽里小学校区		

お住まいの小学校区がわからない場合
（記入例→千僧１丁目）

■　自由記述欄

最後に、これからの伊丹のまちづくりに関して
ご意見がございましたらお書きください。

以上でアンケート調査は終了です。長時間、ご協力いただきありがとうございました。
令和8年7月24日(金)までに返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします。
（WEB回答の場合も同日までにご回答をお願いいたします。）

＊＊

令和８年（２０２６年）度　伊丹市民意識調査

報　告　書

伊丹市総合政策部政策室

〒６６４-８５０３　伊丹市千僧１丁目１番地

電話　０７２-７８４-８００７（直通）

令和８年（２０２６年）１１月